

基本計画書

基本計画									
事項		記入欄						備考	
計画の区分		学部の学科の設置							
フリガナ 設置者		ガッコウホウゲン トウカイイダウ 学校法人 東海大学							
フリガナ 大学の名称		トウカイイダウ 東海大学 (Tokai University)							
大学本部の位置		神奈川県平塚市北金目4-1-1							
大学の目的		本学は、人道に根ざした深い教養をもつ有能な人材を養成すると同時に、高度の学問技術を研究教授することにより、人類社会の福祉に貢献することをもって目的とする。							
新設学部等の目的		本学科は、大学・学部の教育目的に沿って、日々変化していく技術や新しい価値を捉える力を受容し、社会を支えていく人材を社会に排出することを目指し、「超スマート社会実現のために解決が急務の課題を発見する力」「情報メディアに関する幅広い知識を用いてその解決方法を創造する力」「それを情報メディア技術を駆使して実現、実践する力」を持ち、世界が今後直面するであろう課題を発見し解決していく力を有する人材を養成することを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	情報理工学部 [Undergraduate School of Information Science and Technology]	年	人	年次人	人		年 月 第 年次		
	情報メディア学科 [Department of Information Media Technology]	4	100	—	400	学士（工学） [Bachelor of Engineering]	令和4年4月 第1年次	神奈川県平塚市 北金目4-1-1	
	計		100	—	400				
同一設置者内における変更状況 （定員の移行、名称の変更等）		別紙のとおり							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計				
	情報理工学部情報メディア学科	20科目	29科目	6科目	55科目	124単位			

教	学 部 等 の 名 称		専任教員等						兼任 教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
員	新	情報理工学部情報メディア学科	6 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	6 (6)	令和3年3月認可申請
		児童教育学部児童教育学科	9 (7)	5 (5)	6 (5)	1 (1)	21 (18)	0 (0)	20 (9)	
	設	経営学部経営学科	9 (9)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	12 (12)	令和3年4月届出予定
		国際学部国際学科	7 (7)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	11 (11)	令和3年4月届出予定
		情報通信学部情報通信学科	10 (10)	7 (7)	6 (6)	1 (1)	24 (24)	0 (0)	10 (10)	令和3年4月届出予定
		工学部生物工学科	5 (5)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	20 (20)	令和3年4月届出予定
		工学部機械システム工学科	5 (5)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	18 (18)	令和3年4月届出予定
		工学部医工学科	5 (5)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	8 (8)	0 (0)	21 (21)	令和3年4月届出予定
		建築都市学部建築学科	8 (8)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	15 (15)	0 (0)	7 (7)	令和3年4月届出予定
		建築都市学部土木工学科	5 (5)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	15 (15)	令和3年4月届出予定
組	人文学部人文学科	6 (6)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	11 (11)	令和3年4月届出予定	
	海洋学部海洋理工学科	15 (15)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	20 (20)	令和3年4月届出予定	
	文理融合学部経営学科	7 (7)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	12 (12)	令和3年4月届出予定	
	文理融合学部地域社会学科	7 (7)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	13 (13)	令和3年4月届出予定	
	文理融合学部人間情報工学科	9 (9)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	17 (17)	令和3年4月届出予定	
	農学部農学科	4 (4)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	13 (13)	令和3年4月届出予定	
	農学部動物科学科	4 (4)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	16 (16)	令和3年4月届出予定	
	農学部食生命科学科	6 (6)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	22 (22)	令和3年4月届出予定	
	分	計	127 (125)	63 (63)	43 (42)	7 (7)	240 (237)	0 (0)	—	
		既	文学部文明学科	3 (3)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	14 (14)
の	設	文学部歴史学科	8 (8)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	23 (23)	
		文学部日本文学科	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	16 (16)	
	文学部英語文化コミュニケーション学科	7 (7)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	8 (8)		
	文化社会学部アジア学科	5 (5)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	20 (20)		
	文化社会学部ヨーロッパ・アメリカ学科	5 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	12 (12)		
	文化社会学部北欧学科	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	7 (7)		
	文化社会学部文芸創作学科	4 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	3 (3)		
	文化社会学部広報メディア学科	6 (6)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	2 (2)		
	文化社会学部心理・社会学科	7 (7)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	13 (13)		
	概	設	政治経済学部政治学科	10 (10)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	5 (5)
政治経済学部経済学科			8 (8)	2 (2)	4 (4)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	11 (11)	
法学部法律学科		12 (12)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	2 (2)		
教養学部人間環境学科		9 (9)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	27 (27)		
教養学部芸術学科		7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	88 (88)		
体育学部体育学科		10 (10)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	5 (5)		
体育学部競技スポーツ学科		6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	11 (11)		
体育学部武道学科		6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	10 (10)		
体育学部生涯スポーツ学科		5 (5)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	10 (10)	0 (0)	6 (6)		
分		体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	4 (4)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	

教 員 組 織 の 概 要	既 員 組 織	健康学部健康マネジメント学科	10 (10)	6 (6)	6 (6)	2 (2)	24 (24)	0 (0)	2 (2)
		理学部数学科	6 (6)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	3 (3)
		理学部情報数理学科	7 (7)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	11 (11)
		理学部物理学科	11 (11)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	12 (12)
		理学部化学科	9 (9)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	0 (0)
		理学部 基礎教育研究室	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)
		情報理工学部情報科学科	6 (6)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	10 (10)	0 (0)	8 (8)
		情報理工学部コンピュータ応用工学科	5 (5)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	10 (10)	0 (0)	11 (11)
		工学部応用化学科	6 (6)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	3 (3)
		工学部電気電子工学科	7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	5 (5)
		工学部機械工学科	8 (7)	4 (4)	4 (0)	0 (0)	16 (11)	0 (0)	13 (13)
		工学部航空宇宙学科	12 (12)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	18 (18)	0 (0)	5 (5)
		観光学部観光学科	7 (7)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	10 (10)
		海洋学部水産学科	7 (7)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	11 (11)
		海洋学部海洋生物学科	8 (8)	7 (7)	0 (0)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	5 (5)
		海洋学部 海洋フロンティア教育センター	1 (1)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	7 (7)
		医学部医学科	127 (127)	106 (106)	205 (205)	396 (396)	834 (834)	0 (0)	131 (131)
		医学部看護学科	8 (8)	8 (8)	14 (14)	4 (4)	34 (34)	0 (0)	47 (47)
		国際文化学部地域創造学科	9 (9)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	14 (14)
		国際文化学部国際コミュニケーション学科	6 (6)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	9 (9)
	設 置 の 概 要	生物学部生物学科	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	14 (14)
		生物学部海洋生物科学科	5 (5)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	1 (1)
		計	403 (402)	231 (231)	296 (292)	411 (411)	1341 (1336)	0 (0)	— —
		現代教養センター	4 (4)	12 (12)	5 (5)	1 (1)	22 (22)	0 (0)	20 (20)
		国際教育センター	17 (17)	20 (20)	20 (20)	3 (3)	60 (60)	0 (0)	160 (160)
		情報教育センター	2 (2)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	19 (19)
		課程資格教育センター	6 (6)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	46 (46)
		先進生命科学研究所	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		教育開発研究センター	4 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)
		スポーツ医科学研究所	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
		総合科学技術研究所	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
		情報技術センター	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		総合社会科学研究所	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		高輪教養教育センター	4 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	43 (43)
		清水教養教育センター	9 (9)	10 (10)	5 (5)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	55 (55)
		海洋研究所	2 (2)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)
		総合医学研究所	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		九州教養教育センター	4 (4)	8 (8)	4 (4)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	23 (23)
		総合農学研究所	2 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	分	札幌教養教育センター	7 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	33 (33)
		計	64 (64)	66 (66)	47 (47)	8 (8)	185 (185)	0 (0)	— —
		合 計	594 (591)	360 (360)	386 (381)	426 (426)	1766 (1758)	0 (0)	— —

教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計											
	事 務 職 員		779 (779)		269 (269)		1048 (1048)											
	技 術 職 員		57 (57)		2 (2)		59 (59)											
	図 書 館 専 門 職 員		44 (44)		22 (22)		66 (66)											
	そ の 他 の 職 員		8 (8)		0 (0)		8 (8)											
	計		888 (888)		293 (293)		1181 (1181)											
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の学校等の専用		計		東海大学付属望星高等学校と共用 名称：東海大学付属望星高等学校（通信制） 収容定員：3,000名 校地面積基準：なし							
	校 舎 敷 地		1,770,691.41 m ²		2,052.88 m ²		0.00 m ²		1,772,744.29 m ²			内借用地：55,045.86m ²						
	運 動 場 用 地		396,797.97 m ²		0.00 m ²		0.00 m ²		396,797.97 m ²			内借用地：47,282.12m ²						
	小 計		2,167,489.38 m ²		2,052.88 m ²		0.00 m ²		2,169,542.26 m ²									
	そ の 他		211,174.76 m ²		0.00 m ²		0.00 m ²		211,174.76 m ²			内借用地：153,717.23m ²						
	合 計		2,378,664.14 m ²		2,052.88 m ²		0.00 m ²		2,380,717.02 m ²			借用期間：2～30年						
校 舎			専 用		共 用		共用する他の学校等の専用		計									
			532,456.15 m ² (532,456.15 m ²)		0.00 m ² (0.00 m ²)		0.00 m ² (0.00 m ²)		532,456.15 m ² (532,456.15 m ²)									
教室等		講義室		演習室		実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体						
		480 室		328 室		1,260 室		79 室 (補助職員 20 人)		6 室 (補助職員 0 人)								
専任教員研究室				新設学部等の名称				室 数				9 室						
				情報理工学部情報メディア学科														
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点		機械・器具 点		標本 点		大学全体での共用として、 電子データベースは37種〔うち国外16種〕 学術雑誌（電子ジャーナル含む）は約45,000種〔うち国外約42,200種〕 電子ブックは約12,700点〔うち国外約7,000点〕が利用可能。			
	情報理工学部情報メディア学科		41,390 [3,920] (40,709 [3,864])		1,028 [420] (982 [400])		213 [125] (191 [114])		205 (193)		0 [0] (0 [0])		0 [0] (0 [0])					
	計		41,390 [3,920] (40,709 [3,864])		1,028 [420] (982 [400])		213 [125] (191 [114])		205 (193)		0 [0] (0 [0])		0 [0] (0 [0])					
図書館			面積			閲覧座席数			収 納 可 能 冊 数			大学全体						
			21,687.00 m ²			3,734 席			2,318,166 冊									
体育館			面積			体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体						
			24,060.79 m ²			トレーニングセンター			25mプール									
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分		開設前年度		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第5年次		第6年次		図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等				330千円		330千円		330千円		330千円		— 千円		— 千円		
		共同研究費等				630千円		630千円		630千円		630千円		— 千円		— 千円		
		図書購入費		200千円		250千円		300千円		350千円		400千円		— 千円		— 千円		
		設備購入費		5,988千円		2,994千円		2,994千円		2,994千円		2,994千円		— 千円		— 千円		
	学生1人当り納付金		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第5年次		第6年次					
		1,554千円		1,354千円		1,354千円		1,354千円		— 千円		— 千円						
学生納付金以外の維持方法の概要				私立大学等経常経費補助金、手数料等														

既設	工学部		1,390	—	5,560		1.01	昭和25年	神奈川県平塚市北金目4-1-1
	生命化学科	4	100	—	400	学士(工学)	0.99	平成13年	〃
	応用化学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.00	平成13年	〃
	光・画像工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.02	平成18年	〃
	原子力工学科	4	40	—	160	学士(工学)	0.89	平成18年	〃
	電気電子工学科	4	140	—	560	学士(工学)	1.04	平成18年	〃
	材料科学科	4	80	—	320	学士(工学)	0.98	昭和41年	〃
	建築学科	4	200	—	800	学士(工学)	1.07	昭和41年	〃
	土木工学科	4	120	—	480	学士(工学)	1.05	昭和41年	〃
	精密工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.06	昭和46年	〃
	機械工学科	4	140	—	560	学士(工学)	0.99	昭和46年	〃
	動力機械工学科	4	150	—	600	学士(工学)	0.99	昭和46年	〃
	航空宇宙学科		140	—	560		0.99	昭和42年	〃
	航空宇宙学専攻	4	90	—	360	学士(工学)	1.03	昭和42年	〃
	航空操縦学専攻	4	50	—	200	学士(工学)	0.93	昭和42年	〃
医用生体工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.04	平成22年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 神奈川県伊勢原市下糟屋143	
大	観光学部		200	—	800		1.03	平成22年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4
	観光学科	4	200	—	800	学士(観光学)	1.03	平成22年	〃
学	情報通信学部		320	—	1,280		1.02	平成20年	東京都港区高輪2-3-23
	情報メディア学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.00	平成20年	〃
	組込みソフトウェア工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.07	平成20年	〃
	経営システム工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.00	平成20年	〃
	通信ネットワーク工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.04	平成20年	〃
	海洋学部		530	—	2,120		1.00	昭和37年	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1
等	海洋文明学科	4	80	—	320	学士(海洋学)	1.00	平成16年	〃
	環境社会学科	4	80	—	320	学士(海洋学)	1.06	平成23年	〃
	海洋地球科学科	4	80	—	320	学士(海洋学)	1.01	平成23年	〃
	水産学科	4	120	—	480	学士(海洋学)	1.04	平成18年	〃
	海洋生物学科	4	90	—	360	学士(海洋学)	1.03	平成18年	〃
	航海工学科		80	—	320		0.83	平成23年	〃
	航海学専攻	4	20	—	80	学士(海洋学)	0.96	平成23年	〃
	海洋機械工学専攻	4	60	—	240	学士(海洋学)	0.78	平成23年	〃
の	医学部		203	—	1,048		0.90	昭和49年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 神奈川県伊勢原市下糟屋143
	医学科	6	118	—	708	学士(医学)	0.88	昭和49年	〃
	看護学科	4	85	—	340	学士(看護学)	0.97	平成30年	〃
	健康科学部		—	—	—		—	平成7年	神奈川県伊勢原市下糟屋143
	看護学科	4	—	—	—	学士(看護学)	—	平成7年	〃
の	社会福祉学科	4	—	—	—	学士(社会福祉学)	—	平成7年	〃
	経営学部		230	—	920		0.99	平成25年	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1
	経営学科	4	150	—	600	学士(経営学)	1.04	平成25年	〃
状況	観光ビジネス学科	4	80	—	320	学士(経営学)	0.92	平成25年	〃
	基盤工学部		140	—	560		0.74	平成25年	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1
	電気電子情報工学科	4	80	—	320	学士(工学)	0.73	平成25年	〃
	医療福祉工学科	4	60	—	240	学士(工学)	0.77	平成25年	〃
	農学部		230	—	920		0.89	平成20年	熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽
	応用植物科学科	4	80	—	320	学士(農学)	0.95	平成20年	〃
	応用動物科学科	4	80	—	320	学士(農学)	0.88	平成20年	〃
	バイオサイエンス学科	4	70	—	280	学士(農学)	0.86	平成20年	〃
	国際文化学部		260	—	1,040		1.01	平成20年	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1
	地域創造学科	4	110	—	440	学士(教養学)	1.05	平成20年	〃
国際コミュニケーション学科	4	80	—	320	学士(教養学)	1.05	平成20年	〃	
デザイン文化学科	4	70	—	280	学士(教養学)	0.89	平成24年	〃	
況	生物学部		140	—	560		1.02	平成24年	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1
	生物学科	4	70	—	280	学士(理学)	0.99	平成24年	〃
	海洋生物科学科	4	70	—	280	学士(理学)	1.05	平成24年	〃

既	《大学院》											
	総合理工学研究科							平成17年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	令和3年度より学生募集停止 令和3年度より学生募集停止		
	総合理工学専攻	博士課程	3	35	—	105	博士(理学)・博士(工学)	0.47	平成17年		〃	
	地球環境科学研究科								平成17年		神奈川県平塚市北金目4-1-1	
地球環境科学専攻	博士課程	3	—	—	—	博士(理学)・博士(工学)	—	平成17年	〃			
設	生物科学研究科								平成17年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
	生物科学専攻	博士課程	3	10	—	30	博士(理学)・博士(農学) 博士(看護学)	0.10	平成17年	〃		
	文学研究科								昭和44年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
	文明研究専攻	博士課程前期	2	8	—	16	修士(文学)	0.31	昭和49年	〃		
	文明研究専攻	博士課程後期	3	4	—	12	博士(文学)	0.41	昭和51年	〃		
	史学専攻	博士課程前期	2	8	—	16	修士(文学)	0.06	昭和44年	〃		
	史学専攻	博士課程後期	3	4	—	12	博士(文学)	0.00	昭和46年	〃		
	日本文学専攻	博士課程前期	2	8	—	16	修士(文学)	0.81	昭和49年	〃		
	日本文学専攻	博士課程後期	3	4	—	12	博士(文学)	0.50	昭和51年	〃		
	英文学専攻	博士課程前期	2	4	—	8	修士(文学)	0.12	昭和44年	〃		
	英文学専攻	博士課程後期	3	2	—	6	博士(文学)	0.00	昭和46年	〃		
	コミュニケーション学専攻	博士課程前期	2	8	—	16	修士(文学)	0.43	昭和49年	〃		
コミュニケーション学専攻	博士課程後期	3	4	—	12	博士(文学)	0.00	昭和51年	〃			
観光学専攻	修士課程	2	8	—	16	修士(観光学)	0.43	平成26年	〃			
学	政治学研究科								昭和46年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
	政治学専攻	博士課程前期	2	10	—	20	修士(政治学)	0.05	昭和46年	〃		
	政治学専攻	博士課程後期	3	5	—	15	博士(政治学)	0.00	昭和48年	〃		
	経済学研究科								昭和54年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
応用経済学専攻	博士課程前期	2	10	—	20	修士(経済学)	0.10	昭和54年	〃			
応用経済学専攻	博士課程後期	3	5	—	15	博士(経済学)	0.00	昭和56年	〃			
法学研究科									平成2年		神奈川県平塚市北金目4-1-1	
法律学専攻	博士課程前期	2	10	—	20	修士(法学)	0.00	平成16年	〃			
等	法律学専攻	博士課程後期	3	5	—	15	博士(法学)	0.00	平成5年	〃		
	人間環境学研究科								平成19年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
	人間環境学専攻	修士課程	2	10	—	20	修士(学術)	0.45	平成19年	〃		
	芸術学研究科									昭和48年		神奈川県平塚市北金目4-1-1
音響芸術専攻	修士課程	2	4	—	8	修士(芸術学)	0.37	昭和48年	〃			
造型芸術専攻	修士課程	2	4	—	8	修士(芸術学)	0.37	昭和48年	〃			
体育学研究科									昭和51年		神奈川県平塚市北金目4-1-1	
体育学専攻	博士課程前期	2	20	—	35	修士(体育学)	1.36	昭和51年	〃			
の	体育学専攻	博士課程後期	3	3	—	3	博士(体育学)	—	令和3年	〃		
	理学研究科									昭和43年		神奈川県平塚市北金目4-1-1
	数理科学専攻	修士課程	2	8	—	16	修士(理学)	0.56	昭和43年	〃		
	物理学専攻	修士課程	2	12	—	24	修士(理学)	1.37	昭和43年	〃		
状	化学専攻	修士課程	2	12	—	24	修士(理学)	0.49	昭和43年	〃		
	工学研究科									昭和38年		神奈川県平塚市北金目4-1-1
	電気電子工学専攻	修士課程	2	50	—	100	修士(工学)	1.03	平成28年	〃		
	応用理化学専攻	修士課程	2	45	—	90	修士(工学)	1.24	平成28年	〃		
況	建築土木工学専攻	修士課程	2	25	—	50	修士(工学)	1.16	平成28年	〃		
	機械工学専攻	修士課程	2	75	—	150	修士(工学)	1.21	平成28年	〃		
	医学生体工学専攻	修士課程	2	8	—	16	修士(工学)	0.37	平成26年	神奈川県伊勢原市下糟屋143		
	情報通信学研究科									平成24年		東京都港区高輪2-3-23
	情報通信学専攻	修士課程	2	30	—	60	修士(情報通信学)	0.99	平成24年	〃		
	海洋学研究科									昭和42年		静岡県静岡市清水区折戸3-20-1
	海洋学専攻	修士課程	2	20	—	40	修士(海洋学)	0.65	平成27年	〃		

既 設 大 学 等 の 状 況	医学研究科								昭和55年	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
	医科学専攻	修士課程	2	10	—	20	修士(医科学)	0.80	平成7年	〃	
	先端医科学専攻	博士課程	4	35	—	140	博士(医学)	0.49	平成17年	〃	
	健康科学研究科								平成11年	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
	看護学専攻	修士課程	2	10	—	20	修士(看護学)	0.85	平成11年	〃	
	保健福祉学専攻	修士課程	2	10	—	20	修士(保健福祉学)	0.15	平成11年	〃	
	農学研究科								平成20年	熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽	
	農学専攻	修士課程	2	12	—	24	修士(農学)	0.87	平成20年	〃	
	生物学研究科								令和2年	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
	生物学専攻	修士課程	2	8	—	16	修士(理学)	0.25	令和2年	〃	
	大 学 の 名 称		東海大学短期大学部								
	学 部 等 の 名 称		修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
			年	人	年次 人	人		倍			
	食物栄養学科		2	—	—	—	短期大学士(食物栄養学)	—	昭和41年	静岡県静岡市葵区宮前町101	令和2年度より学生募集停止
	児童教育学科		2	—	—	—	短期大学士(児童教育学)	—	昭和44年	〃	令和2年度より学生募集停止
	大 学 の 名 称		東海大学医療技術短期大学								
	学 部 等 の 名 称		修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
			年	人	年次 人	人		倍			
	看護学科		3	—	—	—	短期大学士(看護学)	—	昭和49年	神奈川県平塚市北金目4-1-2	令和2年度より学生募集停止

附属施設の概要	名 称：東海大学医学部付属病院 目的：医療機関 所 在 地：神奈川県伊勢原市下糟屋143 設置年月：昭和50年2月 規 模 等：土地 116,282.91㎡、建物 83,850.19㎡	
	名 称：東海大学医学部付属東京病院 目的：医療機関 所 在 地：東京都渋谷区代々木1-2-5 設置年月：昭和58年12月 規 模 等：土地 2,498.45㎡、建物 7,550.91㎡	
	名 称：東海大学医学部付属大磯病院 目的：医療機関 所 在 地：神奈川県中郡大磯町月京21-1 設置年月：昭和59年4月 規 模 等：土地 23,286.72㎡、建物 19,752.88㎡	
	名 称：東海大学医学部付属八王子病院 目的：医療機関 所 在 地：東京都八王子市石川町1838 設置年月：平成14年3月 規 模 等：土地 47,708.39㎡、建物 44,334.88㎡	
	名 称：望星丸 目的：海洋調査研修 所 在 地：東京都（船籍港） 設置年月：平成5年3月（進水の年月） 規 模 等：総トン数1,777トン、国際総トン数2,174トン 全長全長87.98m、型幅12.80m、型深さ8.10m	

【別紙】同一設置者内における変更状況

政治経済学部経営学科（廃止）（△ 160）	※令和4年4月学生募集停止
教養学部国際学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
工学部生命化学科（廃止）（△ 100）	※令和4年4月学生募集停止
工学部光・画像工学科（廃止）（△ 60）	※令和4年4月学生募集停止
工学部原子力工学科（廃止）（△ 40）	※令和4年4月学生募集停止
工学部材料科学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
工学部建築学科（廃止）（△ 200）	※令和4年4月学生募集停止
工学部土木工学科（廃止）（△ 120）	※令和4年4月学生募集停止
工学部精密工学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
工学部動力機械工学科（廃止）（△ 150）	※令和4年4月学生募集停止
工学部医用生体工学科（廃止）（△ 60）	※令和4年4月学生募集停止
情報通信学部情報メディア学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
情報通信学部組込みソフトウェア工学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
情報通信学部経営システム工学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
情報通信学部通信ネットワーク工学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
海洋学部海洋文明学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
海洋学部環境社会学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
海洋学部海洋地球科学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
海洋学部航海工学科航海学専攻（廃止）（△ 20）	※令和4年4月学生募集停止
海洋学部航海工学科海洋機械工学専攻（廃止）（△ 60）	※令和4年4月学生募集停止
経営学部（廃止）	※令和4年4月学生募集停止
経営学科（廃止）（△ 150）	※令和4年4月学生募集停止
観光ビジネス学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
基盤工学部（廃止）	※令和4年4月学生募集停止
電気電子情報工学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
医療福祉工学科（廃止）（△ 60）	※令和4年4月学生募集停止
農学部応用植物科学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
農学部応用動物科学科（廃止）（△ 80）	※令和4年4月学生募集停止
農学部バイオサイエンス学科（廃止）（△ 70）	※令和4年4月学生募集停止
国際文化学部デザイン文化学科（廃止）（△ 70）	※令和4年4月学生募集停止
児童教育学部（令和3年3月認可申請）	
児童教育学科（150）	
経営学部（令和3年4月届出予定）	
経営学科（230）	
国際学部（令和3年4月届出予定）	
国際学科（200）	
工学部生物工学科（100）（令和3年4月届出予定）	
工学部機械システム工学科（140）（令和3年4月届出予定）	
工学部医工学科（80）（令和3年4月届出予定）	
建築都市学部（令和3年4月届出予定）	
建築学科（240）	
土木工学科（100）	
情報通信学部情報通信学科（240）（令和3年4月届出予定）	
人文学部（令和3年4月届出予定）	
人文学科（180）	
海洋学部海洋理工学科海洋理工学専攻（130）（令和3年4月届出予定）	
海洋学部海洋理工学科航海学専攻（20）（令和3年4月届出予定）	
文理融合学部（令和3年4月届出予定）	
経営学科（130）	
地域社会学科（100）	
人間情報工学科（70）	
農学部農学科（80）（令和3年4月届出予定）	
農学部動物科学科（80）（令和3年4月届出予定）	
農学部食生命科学科（70）（令和3年4月届出予定）	
政治経済学部	
政治学科〔定員増〕（40）（令和4年4月）	
経済学科〔定員増〕（40）（令和4年4月）	
教養学部	
人間環境学科〔定員減〕（△ 40）（令和4年4月）	
芸術学科〔定員減〕（△ 20）（令和4年4月）	
体育学部	
体育学科〔定員増〕（10）（令和4年4月）	
競技スポーツ学科〔定員増〕（30）（令和4年4月）	
生涯スポーツ学科〔定員増〕（10）（令和4年4月）	
スポーツ・レジャーマネジメント学科〔定員増〕（10）（令和4年4月）	
工学部	
応用化学科〔定員増〕（20）（令和4年4月）	
電気電子工学科〔定員減〕（△ 20）（令和4年4月）	
海洋学部	
海洋生物学科〔定員減〕（△ 10）（令和4年4月）	
医学部	
看護学科〔定員増〕（10）（令和4年4月）	
生物学部	
生物学科〔定員増〕（5）（令和4年4月）	
海洋生物科学科〔定員増〕（5）（令和4年4月）	

学校法人東海大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和3年度

東海大学						
学 部	学科・専攻・課程		入学定員	編入学定員	収容定員	備考
文学部	文明学科		60	—	240	
	歴史学科	日本史専攻	50	—	200	
		西洋史専攻	50	—	200	
		考古学専攻	30	—	120	
	日本文学科		90	—	360	
	英語文化コミュニケーション学科		90	—	360	
文化社会学部	アジア学科		70	—	280	
	ヨーロッパ・アメリカ学科		70	—	280	
	北欧学科		60	—	240	
	文芸創作学科		60	—	240	
	広報メディア学科		100	—	400	
	心理・社会学科		90	—	360	
政治経済学部	政治学科		160	—	640	
	経済学科		160	—	640	
	経営学科		160	—	640	
法学部	法律学科		300	—	1200	
教養学部	人間環境学科	自然環境課程	65	—	260	
		社会環境課程	95	—	380	
	芸術学科	音楽学課程	32	—	128	
		美術学課程	20	—	80	
		デザイン学課程	38	—	152	
	国際学科		80	—	320	
体育学部	体育学科		110	—	440	
	競技スポーツ学科		140	—	560	
	武道学科		60	—	240	
	生涯スポーツ学科		110	—	440	
	スポーツレジャーマネジメント学科		60	—	240	
健康学部	健康マネジメント学科		200	—	800	
理学部	数学科		80	—	320	
	情報数理学科		80	—	320	
	物理学科		80	—	320	
	化学科		80	—	320	
情報理工学部	情報科学科		100	—	400	
	コンピュータ応用工学科		100	—	400	
工学部	生命化学科		100	—	400	
	応用化学科		80	—	320	
	光・画像工学科		60	—	240	
	原子力工学科		40	—	160	
	電気電子工学科		140	—	560	
	材料科学科		80	—	320	
	建築学科		200	—	800	
	土木工学科		120	—	480	
	精密工学科		80	—	320	
	機械工学科		140	—	560	
	動力機械工学科		150	—	600	
	航空宇宙学科	航空宇宙学専攻	90	—	360	
		航空操縦学専攻	50	—	200	
	医用生体工学科		60	—	240	
観光学部	観光学科		200	—	800	
情報通信学部	情報メディア学科		80	—	320	
	組込みソフトウェア工学科		80	—	320	
	経営システム工学科		80	—	320	
	通信ネットワーク工学科		80	—	320	
海洋学部	海洋文明学科		80	—	320	
	環境社会学科		80	—	320	
	海洋地球科学科		80	—	320	
	水産学科		120	—	480	
	海洋生物学科		90	—	360	
	航海工学科	航海学専攻	20	—	80	
		海洋機械工学専攻	60	—	240	
医学部	医学科		118	—	708	118名は令和3年度入学生まで
	看護学科		85	—	340	
経営学部	経営学科		150	—	600	
	観光ビジネス学科		80	—	320	
基盤工学部	電気電子情報工学科		80	—	320	
	医療福祉工学科		60	—	240	

令和4年度

東海大学						
学 部	学科・専攻・課程		入学定員	編入学定員	収容定員	備考 変更の事由
文学部	文明学科		60	—	240	
	歴史学科	日本史専攻	50	—	200	
		西洋史専攻	50	—	200	
		考古学専攻	30	—	120	
	日本文学科		90	—	360	
	英語文化コミュニケーション学科		90	—	360	
文化社会学部	アジア学科		70	—	280	
	ヨーロッパ・アメリカ学科		70	—	280	
	北欧学科		60	—	240	
	文芸創作学科		60	—	240	
	広報メディア学科		100	—	400	
	心理・社会学科		90	—	360	
政治経済学部	政治学科		200	—	800	定員変更(40)
	経済学科		200	—	800	定員変更(40)
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
経営学部	経営学科		230	—	920	学部の設置(届出)
法学部	法律学科		300	—	1200	
教養学部	人間環境学科		120	—	480	定員変更(△40)
	芸術学科		70	—	280	定員変更(△20)
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	
国際学部	国際学科		200	—	800	学部の設置(届出)
児童教育学部	児童教育学科		150	—	600	学部の設置(認可申請)
体育学部	体育学科		120	—	480	定員変更(10)
	競技スポーツ学科		170	—	680	定員変更(30)
	武道学科		60	—	240	
	生涯スポーツ学科		120	—	480	定員変更(10)
	スポーツレジャーマネジメント学科		70	—	280	定員変更(10)
健康学部	健康マネジメント学科		200	—	800	
理学部	数学科		80	—	320	
	情報数理学科		80	—	320	
	物理学科		80	—	320	
	化学科		80	—	320	
情報理工学部	情報科学科		100	—	400	
	コンピュータ応用工学科		100	—	400	
	情報メディア学科		100	—	400	学部の学科の設置(届出)
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	生物工学科		100	—	400	学部の学科の設置(届出)
	応用化学科		100	—	400	定員変更(20)
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	電気電子工学科		120	—	480	定員変更(△20)
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	機械システム工学科		140	—	560	学部の学科の設置(届出)
	機械工学科		140	—	560	
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	航空宇宙学科	航空宇宙学専攻	90	—	360	
		航空操縦学専攻	50	—	200	
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	医工学科		80	—	320	学部の学科の設置(届出)
建築都市学部	建築学科		240	—	960	
	土木工学科		100	—	400	学部の設置(届出)
観光学部	観光学科		200	—	800	
情報通信学部			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	情報通信学科		240	—	960	学部の学科の設置(届出)
人文学部	人文学科		180	—	720	学部の設置(届出)
海洋学部			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	水産学科		120	—	480	
	海洋生物学科		80	—	320	定員変更(△10)
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	
	海洋理工学科	海洋理工学専攻 航海学専攻	130 20	—	520 80	学部の学科の設置(届出)
医学部	医学科		110	—	660	臨時定員増(8)は令和3年度まで
	看護学科		95	—	380	定員変更(10)
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
			0	—	0	令和4年4月学生募集停止
文理融合学部	経営学科		130	—	520	
	地域社会学科		100	—	400	学部の設置(届出)
	人間情報工学科		70	—	280	

令和3年度					
農学部	応用植物科学科	80	—	320	
	応用動物科学科	80	—	320	
	バイオサイエンス学科	70	—	280	
国際文化学部	地域創造学科	110	—	440	
	国際コミュニケーション学科	80	—	320	
	デザイン文化学科	70	—	280	
生物学部	生物学科	70	—	280	
	海洋生物科学科	70	—	280	
計		6773	—	27328	

東海大学大学院

研究科	専攻		入学定員	編入学定員	収容定員	備考
総合理工学研究科	総合理工学専攻	(D)	35	—	105	
生物科学研究科	生物科学専攻	(D)	10	—	30	
文学研究科	文明研究専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
	史学専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
	日本文学専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
	英文学専攻	(M)	4	—	8	
		(D)	2	—	6	
	コミュニケーション学専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
	観光学専攻	(M)	8	—	16	
政治学研究科	政治学専攻	(M)	10	—	20	
		(D)	5	—	15	
経済学研究科	応用経済学専攻	(M)	10	—	20	
		(D)	5	—	15	
法学研究科	法律学専攻	(M)	10	—	20	
		(D)	5	—	15	
人間環境学研究科	人間環境学専攻	(M)	10	—	20	
芸術学研究科	音響芸術専攻	(M)	4	—	8	
	造型芸術専攻	(M)	4	—	8	
体育学研究科	体育学専攻	(M)	20	—	40	
		(D)	3	—	9	
理学研究科	数理科学専攻	(M)	8	—	16	
	物理学専攻	(M)	12	—	24	
	化学専攻	(M)	12	—	24	
工学研究科	電気電子工学専攻	(M)	50	—	100	
	応用理化学専攻	(M)	45	—	90	
	建築土木工学専攻	(M)	25	—	50	
	機械工学専攻	(M)	75	—	150	
	医用生体工学専攻	(M)	8	—	16	
情報通信学研究科	情報通信学専攻	(M)	30	—	60	
海洋学研究科	海洋学専攻	(M)	20	—	40	
医学研究科	医科学専攻	(M)	10	—	20	
	先端医科学専攻(4年制D)	(D)	35	—	140	
健康科学研究科	看護学専攻	(M)	10	—	20	
	保健福祉学専攻	(M)	10	—	20	
農学研究科	農学専攻	(M)	12	—	24	
生物学研究科	生物学専攻	(M)	8	—	16	
計			563	—	1277	

令和4年度					
農学部		<u>0</u>	—	<u>0</u>	令和4年4月学生募集停止
	農学科	80	—	320	学部の学科の設置(届出)
		<u>0</u>	—	<u>0</u>	令和4年4月学生募集停止
	動物科学科	80	—	320	学部の学科の設置(届出)
		<u>0</u>	—	<u>0</u>	令和4年4月学生募集停止
	食生命科学科	70	—	280	学部の学科の設置(届出)
国際文化学部	地域創造学科	110	—	440	
	国際コミュニケーション学科	80	—	320	
		<u>0</u>	—	<u>0</u>	令和4年4月学生募集停止
生物学部	生物学科	75	—	300	定員変更(5)
	海洋生物科学科	75	—	300	定員変更(5)
計		6855	—	27640	

東海大学大学院

研究科	専攻		入学定員	編入学定員	収容定員	備考	変更の事由
総合理工学研究科	総合理工学専攻	(D)	35	—	105		
生物科学研究科	生物科学専攻	(D)	10	—	30		
文学研究科	文明研究専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
	史学専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
	日本文学専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
	英文学専攻	(M)	4	—	8		
		(D)	2	—	6		
	コミュニケーション学専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
	観光学専攻	(M)	8	—	16		
政治学研究科	政治学専攻	(M)	10	—	20		
		(D)	5	—	15		
経済学研究科	応用経済学専攻	(M)	10	—	20		
		(D)	5	—	15		
法学研究科	法律学専攻	(M)	10	—	20		
		(D)	5	—	15		
人間環境学研究科	人間環境学専攻	(M)	10	—	20		
芸術学研究科	音響芸術専攻	(M)	4	—	8		
	造型芸術専攻	(M)	4	—	8		
体育学研究科	体育学専攻	(M)	20	—	40		
		(D)	3	—	9		
理学研究科	数理科学専攻	(M)	8	—	16		
	物理学専攻	(M)	12	—	24		
	化学専攻	(M)	12	—	24		
工学研究科	電気電子工学専攻	(M)	50	—	100		
	応用理化学専攻	(M)	45	—	90		
	建築土木工学専攻	(M)	25	—	50		
	機械工学専攻	(M)	75	—	150		
	医用生体工学専攻	(M)	8	—	16		
情報通信学研究科	情報通信学専攻	(M)	30	—	60		
海洋学研究科	海洋学専攻	(M)	20	—	40		
医学研究科	医科学専攻	(M)	10	—	20		
	先端医科学専攻(4年制D)	(D)	35	—	140		
健康科学研究科	看護学専攻	(M)	10	—	20		
	保健福祉学専攻	(M)	10	—	20		
農学研究科	農学専攻	(M)	12	—	24		
生物学研究科	生物学専攻	(M)	8	—	16		
計			563	—	1277		

教 育 課 程 等 の 概 要															
(情報理工学部 情報メディア学科)															
科目 区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅰ 現代文明	現代文明論		2前・後	2			○								兼1
	小計（1科目）		—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼1
Ⅱ 現代教養科目	基礎教養科目	入門ゼミナールA	1前	2				○		6	3				
		入門ゼミナールB	1後	2				○		6	3				
		小計（2科目）	—	4	0	0	—			6	3	0	0	0	
	発展教養科目	シティズンシップ	1前・後	2			○								兼1
		地域・国際理解	1前・後	2			○								兼1
		現代教養講義	2前・後	2			○								兼1
		小計（3科目）	—	6	0	0	—			0	0	0	0	0	兼1
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前・後	1					○						兼1
		生涯スポーツ理論実習	1前・後	1					○						兼1
		小計（2科目）	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼1
Ⅲ 英語科目	英語コミュニケーション科目	英語リスニング&スピーキング	1前・後	2					○						兼1
		英語リーディング&ライティング	1前・後	2					○						兼1
		小計（2科目）	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼1
Ⅳ 主専攻科目	情報メディアプロジェクト科目	情報メディアプロジェクト入門	1後		2			○		1	2				
		情報メディアプロジェクト実践1	2前		2			○		2	1				
		情報メディアプロジェクト実践2	2後		2			○		3					
		情報メディアゼミナール	3後	2				○		6	3				
		情報メディア卒業プロジェクト1	4前	4				○		6	3				
		情報メディア卒業プロジェクト2	4後	4				○		6	3				
		小計（6科目）	—	10	6	0	—			6	3	0	0	0	
	情報メディア基盤科目	情報メディア概論A	1前	2			○			1					
		情報メディア概論B	1後		2		○			1					
		情報メディア社会論	3後		2		○			1					
		情報メディア先端技術論	3後		2		○			1					
		小計（4科目）	—	2	6	0	—			2	0	0	0	0	

教 育 課 程 等 の 概 要														
(情報理工学部 情報メディア学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
IV 主専攻科目	コンピュータ基礎・プログラミング科目	情報メディア基礎テクノロジー 1	1前	2		○			1					
		情報メディア基礎テクノロジー 2	1後	2		○			1					
		コンピュータリテラシー	1前	2			○		1	1				
		メディアプログラミング基礎	1前	2			○		2					
		メディアプログラミング 1	1後	2			○		1	1				
		メディアプログラミング 2 A	2前	2			○		1					
		メディアプログラミング 2 B	2前	2			○			1				
		A I とデータサイエンス 1	2後	2		○			1					
		A I とデータサイエンス 2	3前	2		○			1					
		小計（9科目）	—	4	14	0	—		4	3	0	0	0	
	理工系基礎科目	自然科学入門	1前	2		○								兼1
		メディア数学基礎	1前	2		○								兼1
		メディア数学A	1後	2		○								兼1
		メディア数学B	1後	2		○								兼1
		メディア数学C	2前	2		○								兼1
		小計（5科目）	—	0	10	0	—		0	0	0	0	0	兼2
	メディアコンテンツ系科目	メディアコンテンツ基本講義・演習A	2前	2			○			1				
		メディアコンテンツ基本講義・演習B	2前	2			○		1					
		メディアコンテンツ基幹講義・演習A	2後	2			○			1				
		メディアコンテンツ基幹講義・演習B	2後	2			○		1					
		メディアコンテンツ基幹講義・演習C	2後	2			○			1				
		メディアコンテンツ発展講義・演習A	3前	2			○			1				
		メディアコンテンツ発展講義・演習B	3前	2			○		1					
		メディアコンテンツ発展講義・演習C	3前	2			○			1				
		メディアコンテンツ応用実習	3後	2				○	3					
		小計（9科目）	—	0	18	0	—		3	2	0	0	0	

教 育 課 程 等 の 概 要															
(情報理工学部 情報メディア学科)															
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅳ 主専攻科目	メディア コミュニ ケー ション 系科目	メディアコミュニケーション基本講義・演習A	2前		2			○			1				
		メディアコミュニケーション基本講義・演習B	2前		2			○		1					
		メディアコミュニケーション基幹講義・演習A	2後		2			○		1					
		メディアコミュニケーション基幹講義・演習B	2後		2			○		1					
		メディアコミュニケーション発展講義・演習A	3前		2			○			1				
		メディアコミュニケーション発展講義・演習B	3前		2			○		1					
		メディアコミュニケーション応用実習	3後		2				○	2	1				
		小計（7科目）	—	0	14	0	—			3	1	0	0	0	
	自己 発展 科目	理工系のTOEIC(R) 入門	2後		2		○								兼1
		理工系のTOEIC(R) 初級	3前		2		○								兼1
		理工系のTOEIC(R) 中級	3後		2		○								兼1
		プレゼンテーション	2前		2			○		2					
		インターンシップ	3後		2			○		1					
		小計（5科目）	—	0	10	0				3	0	0	0	0	兼1
合計（55科目）			—	34	78	0	—			6	3	0	0	0	兼6
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野				工学関係						
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
以下の合計で124単位以上修得する。 (履修科目の登録の上限：20単位（1学期）) □科目区分Ⅰ 現代文明論 <必修科目> 2単位修得 □科目区分Ⅱ 現代教養科目 基礎教養科目 <必修科目> 4単位修得 発展教養科目 <必修科目> 6単位修得 健康スポーツ科目 <必修科目> 2単位修得 □科目区分Ⅲ 英語コミュニケーション科目 <必修科目> 4単位修得 □科目区分Ⅳ 主専攻科目 76単位修得 <必修科目> ■情報メディアプロジェクト科目 に設定された必修科目より10単位を修得。 ■情報メディア基盤科目 に設定された必修科目より2単位を修得。 ■コンピュータ基礎・プログラミング科目 に設定された必修科目より4単位を修得。 (計16単位) <選択科目> ■情報メディアプロジェクト科目（選択） ■情報メディア基盤科目（選択） ■コンピュータ基礎・プログラミング科目（選択） ■理工系基礎科目 ■メディアコンテンツ系科目 ■メディアコミュニケーション系科目 ■自己発展科目 に設定された選択科目より60単位以上修得 (計60単位) □科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位 30単位修得 合計124単位修得								1 学年の学期区分				2 学期			
								1 学期の授業期間				1 4 週			
								1 時限の授業時間				1 0 0 分			

教 育 課 程 等 の 概 要														
(情報通信学部 情報メディア学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
論 I 現代文明	現代文明論	2前	2			○								兼2
	小計（1科目）	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼2
II 現代教養科目	基礎教養科目	人文科学	1前・後	2		○								兼1
	社会科学	1前・後	2			○								兼1
	自然科学	1前・後	2			○								兼1
	小計（3科目）	—	6	0	0	—			0	0	0	0	0	兼3
	発展教養科目	シティズンシップ	1前	1		○								兼1
	ボランティア	1前	1			○								兼1
	地域理解	1後	1			○								兼1
	国際理解	1後	1			○								兼1
	小計（4科目）	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼4
	健康スポーツ科目	健康・フィットネス理論実習	1前・後	1				○						兼5
	生涯スポーツ理論実習	1前・後	1					○						兼2
	小計（2科目）	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼5
III 英語科目	英語コミュニケーション	英語リスニング&スピーキング	1後	2				○						兼12
	英語リーディング&ライティング	1前	2					○						兼10
	小計（2科目）	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼12
	グローバル人材育成科目	グローバルスキル	2前	2				○						兼12
	アカデミック英語	2後	2					○						兼12
	小計（2科目）	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼12
IV 主専攻科目	学部共通科目	情報通信学概論	1後	2		○			2	1				兼1
	基礎数学	1前		2		○								兼1
	基礎物理 A	1後		1		○								兼1
	基礎物理 B	1後		1		○								兼1
	応用数学 A	1後		2		○								兼1
	応用数学 B	2前		2		○								兼1
	応用数学 C	2後		2		○								兼1

教 育 課 程 等 の 概 要															
(情報通信学部 情報メディア学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目	学部共通科目	グローバルビジネス英語	3後	2		○			1					兼3	
		インターンシップ	3後		2			○	1		1				
		知的財産	4前		2	○								兼1	
		小計（10科目）	—	4	14	0	—		2	1	1	0	0	兼8	
	情報メディア基幹科目	情報メディア入門ゼミナール	1前	2		○			4	1	3				
		情報メディア通論	1前	2		○			4	1	3				
		情報メディアゼミナール	3後		2	○			4	1	3				
		卒業研究 1	4前	2			○		4	1	2				
		卒業研究 2	4後	2			○		4	1	2				
		小計（5科目）	—	8	2	0	—		4	1	3	0	0		
	理工系基礎科目	線形代数	1後		4	○								兼2	
		微分積分	1後		4	○								兼1	
		離散数学	2前		4	○								兼1	
		確率統計と待ち行列	2前		4	○								兼1	
		データ解析	2後		4	○								兼1	
		小計（5科目）	—	0	20	0	—		0	0	0	0	0	兼5	
	情報系基幹科目	コンピュータアーキテクチャ	1後		2	○								兼1	
		情報理論	2前		2	○			1						
		オペレーティングシステム	2前		4	○				1					
		デジタル信号処理	2後		4	○			1						
		情報ネットワーク概論	2後		2	○					1				
		情報通信セキュリティ	3前		2	○								兼1	
		小計（6科目）	—	0	16	0	—		1	1	1	0	0	兼2	

教 育 課 程 等 の 概 要														
(情報通信学部 情報メディア学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
IV 主専攻科目	情報メディアリテラシー	1前	2					○	1					
	プログラミング入門	1前	2					○						兼1
	コンピュータ基礎	1前		2		○					1			
	プログラミング応用	1後		2				○						兼1
	データ構造とアルゴリズム基礎	1後		2		○					1			
	オブジェクト指向プログラミング	2前		2				○			1			兼1
	データ構造とアルゴリズム応用	2前		2		○					1			
	スクリプトプログラミング	2後		2				○			1			兼1
	システム開発論	3前		2		○					1			
	小計（9科目）	—	4	14	0	—			1	0	2	0	0	兼3
	ヒューマン情報処理	1後		2		○			1					
	認知科学	2前		2		○					1			
	ヒューマンインタフェース	2後		2		○					1			
	インタフェースデザイン・同演習	3前		4			○		1					
	バーチャルリアリティ・同演習	3後		4			○		1		1			
	小計（5科目）	—	0	14	0	—			2	0	2	0	0	
	アニメーション実習	2前		2				○			1			兼1
	画像処理・同演習	2後		4			○							兼2
	データベース・同演習	2後		4			○		1					
	自然言語処理	3後		2		○			1					
	音声処理・同演習	3前		4			○			1				
	コンピュータグラフィックス・同演習	3前		4			○				1			兼1
	情報システム開発・同演習	3前		4			○		1					
	応用情報処理・同演習	3後		4			○		1					
	小計（8科目）	—	0	28	0	—			3	1	1	0	0	兼4

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(情報通信学部 情報メディア学科)																	
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
IV 主 専 攻 科 目	自己 展 開 科 目	科学と倫理	1前		2		○								兼1		
		情報メディア産業論	1後		2		○			3		1					
		メディアコンテンツ制作 1	2前		1				○							兼1	
		発見的エンジニアリング 1	2前		1				○							兼1	
		メディアコンテンツ制作 2	2後		1				○							兼1	
		発見的エンジニアリング 2	2後		1				○							兼1	
		企業研究	3前		1				○							兼1	
		技術英語	3前		2		○									兼2	
		テクニカルドキュメンテーション	2後		2		○			2						兼1	
		テクニカルコミュニケーション	3前		2		○			1	1					兼1	
		ソフトコンピューティング	3後		2		○					1					
		メディア社会論	4前		2		○									兼1	
		先端情報処理	3後		2		○									兼1	
		小計（13科目）		—	0	21	0	—			3	1	2	0	0	兼10	
合計（75科目）			—	38	129	0	—			4	1	3	0	0	兼57		
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野				工学関係								
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法								授 業 期 間 等									
以下の合計で124単位以上修得する。 （履修科目の登録の上限：24単位（1学期）） □科目区分Ⅰ 現代文明論（必修科目） <u>2単位修得</u> □科目区分Ⅱ 現代教養科目（必修科目） <u>12単位修得</u> □科目区分Ⅲ 英語科目（必修科目） <u>8単位修得</u> □科目区分Ⅳ 主専攻科目 <u>72単位修得</u> （必修科目） 16単位修得 （選択科目） 56単位修得 □科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位 <u>30単位修得</u> <u>合計124単位修得</u>								1 学年の学期区分				2 学期					
								1 学期の授業期間				1 4 週					
								1 時限の授業時間				1 0 0 分					

授 業 科 目 の 概 要				
（情報理工学部 情報メディア学科）				
科目 区分	学科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
I 現代 文明 論		現代文明論	この科目は東海大学に学ぶすべての学生が、建学の精神を理解し自らの思想を培うために開講される。すなわち歴史や世界への見識を高め、人類社会のあり方を見直すことを通じて、地球規模で深刻化する困難な事態にあっても、時代を開拓しようとする力強い思考や意欲を養うことを目的としている。理系、文系の枠を超えて、現代の課題の根源を探るために不可欠な歴史的・系譜的な認識を深め、それを多様な角度から読み解く思考法を身につけるとともに、人間的価値に基づいた倫理観によって未来を選択しうることを学ぶ。	
		現代文明論	この科目は東海大学に学ぶすべての学生が、建学の精神を理解し自らの思想を培うために開講される。すなわち歴史や世界への見識を高め、人類社会のあり方を見直すことを通じて、地球規模で深刻化する困難な事態にあっても、時代を開拓しようとする力強い思考や意欲を養うことを目的としている。理系、文系の枠を超えて、現代の課題の根源を探るために不可欠な歴史的・系譜的な認識を深め、それを多様な角度から読み解く思考法を身につけるとともに、人間的価値に基づいた倫理観によって未来を選択しうることを学ぶ。	
II 現代 教養 科目	基礎 教養 科目	入門ゼミナール A	本授業は1年次生を対象とした全学共通のゼミナール形式の初年次教育科目である。「大学での学び方」を学ぶことを目的とし、4年間の計画的な学習スケジュールを構築しつつ、ノートの取り方や情報収集の方法、情報リテラシー、図書館の利用方法といった、大学生活を送るうえで必要なアカデミックスキルの基礎的能力・知識をまずは養っていく。さらに特定のテーマについて個人の関心に応じた調査・発表といった演習を通じ、学生個別の学問的関心を喚起させ、自分自身が持つ興味や関心を正しく探求し表現していく方法を学ぶ。	
		入門ゼミナール B	本授業は1年次生を対象とした全学共通のゼミナール形式の初年次教育科目である。「入門ゼミナール A」で培った個人的関心から生じた問いを、より公共的・普遍的な問いへ変換させる能力を養うことを目的とする。具体的にはクリティカルリーディング、レポートのまとめ方の学び、グループ演習・発表を通じて、「スキルの向上」を目指すと同時に、所属学科における専門分野の基礎的知識や問題点に対しての取り組み方、倫理観などの育成を通じて、本学が育成を目指す、自ら考え、集い、挑み、成し遂げていく力を身に付けるための学び方と姿勢を醸成していく。	
	発展 教養 科目	シティズンシップ	現代社会においては、思想信条、宗教、人種、民族、文化、性別、国籍等の異なる様々な人々が相互に関わりながら暮らしている。背景の違いはあっても、共同体に参加する人々のことを市民（シティズン）と呼ぶ。この科目では、「シティズンシップ（市民性）」の観点から、多様な人々が民主政治の担い手である市民として、意見の違いを乗り越え、相互の人権を尊重しあえる社会を形成するにはどうすればよいかを考えることを目標とする。参加型授業を通じ、社会の様々な課題について話し合い、周囲と協同しつつ解決方法を考えることで、社会参加のあり方を学ぶ。	
		地域・国際理解	人は日々、ある地域で様々なひと・もの・ことに支えられながら生活している。豊かな生活を営むために、地域で仲間をつくり、議論し、協同し、基盤となる豊かな地域を持続させていく必要がある。一方、現代の地域社会はグローバル化の波にされされ、遠く離れた地域ともひと・もの・ことを介して緊密に連動するようになっている。この科目では、自らが暮らす地域社会と国際社会の現実を見つめ、多様な人々の視点に立ち、地域社会・国際社会の様々な課題を発見し、その解決について考える。さらに、コミュニティにおける自らの役割を認識することを目標とする。	
		現代教養講義	現代教養とは、人々が現在の複雑化した文明社会を生きるために必要な知識である。情報技術の発展や経済活動のグローバル化など、急激な社会の変化にされされる一方、気候変動や階級格差など、様々な問題解決を迫られている。こうした現代社会の中でより良く生きるため、高度に専門化した現代の科学的知識について、その枝葉にとらわれず本質をつかみ、学ぶ必要がある。この科目は教員自身が現在取り組んでいる研究について講義する。文理融合的な幅広い視野を重視しつつ、現代の新たな研究知見を学び、幅広い知識と視野を養う。	
	健康 ス ポ ー ツ 科 目	健康・フィットネス理論実習	本授業では、生涯を通じて活力あるライフスタイルを形成するための理論と実践方法を講義と実習を通して学習する。また、健康・体力面だけでなく、仲間とともに身体活動を通しての「友達づくり」や「仲間との信頼関係づくり」を体験し、コミュニケーション能力の向上をねらいとする。具体的には、健康的な生活習慣を身につけることに重点を置き、健康に関する理論や重要性を理解するとともに、自己の体力に応じたフィットネスの実践能力を習得する。	
		生涯スポーツ理論実習	本授業では、生涯を通じて活力あるライフスタイルを形成するための理論と実践方法を講義と実習を通して学習する。また、健康・体力面だけでなく、仲間とともに身体活動を通しての「友達づくり」や「仲間との信頼関係づくり」を体験し、コミュニケーション能力の向上をねらいとする。具体的には、生涯を通じたスポーツライフスタイルの獲得に重点を置き、スポーツの“おもしろさ”や“大切さ”などを学び、ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方と実践能力を習得する。	

科目 区分	学科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
Ⅲ 英語 科目	英語 コミュニケーション 科目	英語リスニング&スピーキング	国際化時代の今日、日本国内外を問わず言語や価値観そして文化の異なる人々と英語を使って意思疎通をはかることの重要性がさらに高まっている。その中での課題に柔軟に対応し、問題を解決するための実践的英語コミュニケーション能力の基盤を作ることを目標とする。学習者の英語力に合わせて効率よく学習できる習熟度別クラス編成で、多様な種類の英語を理解するリスニング力と、自分の意志を適切に表現するためのスピーキング力を相互に関連させながら、総合的に英語力の向上を図る。	
		英語リーディング&ライティング	国際化時代の今日、日本国内外を問わず言語や価値観そして文化の異なる人々と英語を使って意思疎通をはかることの重要性がさらに高まっている。その中での課題に柔軟に対応し、問題を解決するための実践的英語コミュニケーション能力の基盤を作ることを目標とする。学習者の英語力に合わせて効率よく学習できる習熟度別クラス編成で、多様な種類の英語を理解するリーディング力と、自分の意志を適切に表現するためのライティング力を相互に関連させながら、総合的に英語力の向上を図る。	

科目区分	学科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
主専攻科目	情報メディアプロジェクト科目	情報メディアプロジェクト入門	情報メディアプロジェクト科目は現代社会が抱える様々な課題の解決に必要とされる「創造性」と「実践力」を身に付けることを目的として設置される。本科目は、その入門的な位置づけの科目であり、様々な社会的課題や未解決の学術的課題を文献等の調査を通して探索し、自らの研究課題としてまとめあげる訓練を行う。また、グループワークを通して解決方法の検討、発表資料の作成、発表・討論等の基礎的スキルを身に付けることを目標とする。	
		情報メディアプロジェクト実践1	情報メディアプロジェクト科目は現代社会が抱える様々な課題の解決に必要とされる「創造性」と「実践力」を身に付けることを目的として設置される。「情報メディアプロジェクト実践1」では、情報メディアプロジェクト入門で身に付けた課題探索や発表・討論等の基礎的なスキルをベースに、チームで一つのテーマにチャレンジし、問題解決を目指すプロセスを学ぶ。この科目では、最初にチーム編成を行い、それぞれのチームでチャレンジするプロジェクトテーマを決定する。その後、各個人はチーム内で与えられた役割に対し責任を持って作業を進め、最終的にはチームメンバー全員で協調して作業を行うことにより、課題解決を図る。最後に各チームの成果の発表会を実施する。	
		情報メディアプロジェクト実践2	情報メディアプロジェクト科目は現代社会が抱える様々な課題の解決に必要とされる「創造性」と「実践力」を身に付けることを目的として設置される。「情報メディアプロジェクト実践2」では、「情報メディアプロジェクト入門」「情報メディアプロジェクト実践1」で身に付けた「創造性」と「実践力」に関する基礎的なスキルをベースに、超スマート社会(Society5.0)やSDGsの観点での課題設定や課題解決方法の検討をチームで行う。成果の発表や討論は日本語のみならず英語でも行うことにより、グローバル社会で活躍できる能力の涵養を図る。	
		情報メディアゼミナール	情報メディアプロジェクト科目は現代社会が抱える様々な課題の解決に必要とされる「創造性」と「実践力」を身に付けることを目的として設置される。本科目は「情報メディア卒業プロジェクト1・2」のプレ科目として位置づけられる科目であり、情報メディア学科の各教員のもとで、専門知識の基礎の習得や柔軟な発想を養うことを目標とする。学生の希望に応じて研究室に配属し、各指導教員の方針のもと少人数によるディスカッションを重視した授業を行う。特に、インターネットを活用した最新研究動向の検索や重要文献の輪講を交えたゼミナールにより、技術者・科学者として必要な情報検索能力や論文読解能力、問題発見・解決能力を醸成する。	
		情報メディア卒業プロジェクト1	情報メディアプロジェクト科目は現代社会が抱える様々な課題の解決に必要とされる「創造性」と「実践力」を身に付けることを目的として設置される。「情報メディア卒業プロジェクト1・2」は1年間にわたり卒業プロジェクトに取り組み、研究や開発、作品制作を体験する科目である。「情報メディア卒業プロジェクト1」においては、まずプロジェクトのテーマ策定をおこなう。プロジェクトの学術的価値や新規性、社会的効果を検討するとともに、実現可能性やプロジェクトのゴールまでのスケジュールの検討を行う。また関連の文献調査やプレゼンテーション、プログラミングなどの指導を行う。	
		情報メディア卒業プロジェクト2	情報メディアプロジェクト科目は現代社会が抱える様々な課題の解決に必要とされる「創造性」と「実践力」を身に付けることを目的として設置される。「情報メディア卒業プロジェクト2」においては、「情報メディア卒業プロジェクト1」で策定したスケジュールに基づいて、具体的に研究や開発、作品制作を推進する。最終的には、自身の研究や開発、作品制作の成果をプレゼンテーションし、4年間の集大成としての卒業論文を完成させる。本科目は、情報メディア分野で活躍できる力をまとめ上げる総仕上げの科目として位置づけられる。	
	情報メディア基盤科目	情報メディア概論A	「情報メディア概論」では、建学の精神に基づく学科の設置の経緯を踏まえ、学科の人材育成の目標に沿って学びの意義を確認し、社会や人に寄与する学生一人ひとりの知的な意欲や使命観を喚起するために、学科教員が挑んでいる様々なフィールドでの課題やその成果について講じる。「情報メディア概論A」では特に、学科所属教員がどのように課題に取り組み、探求や解決のためにどのような「実践」しているかを知ることにより、志望する分野に向けて自らを鍛えるための知的好奇心の向上を目指す。そして実際の経験を学生と共有することにより、本学科で学びを進める上で必要な倫理観や人間力を自らが身に付けようとする姿勢を養っていく。	
		情報メディア概論B	「情報メディア概論」では、建学の精神に基づく学科の設置の経緯を踏まえ、学科の人材育成の目標に沿って学びの意義を確認し、社会や人に寄与する学生一人ひとりの知的な意欲や使命観を喚起するために、学科教員が挑んでいる様々なフィールドでの課題やその成果について講じる。「情報メディア概論B」では特に、情報メディア分野での最新の研究・技術などを紹介する。この講義を通して、情報メディア分野の現状認識や解決すべき諸課題を知り、それを踏まえて自分が本学科で修得を目指す内容や他分野との関連性や可能性を正しく把握し、自らの学び方を定めていくことを目標とする。	

科目区分	学科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
主専攻科目	情報メディア基盤科目	情報メディア社会論	情報メディアとは、情報を伝達する手法、媒体を表し、その機能は、情報の処理や変換、表現、発信など極めて多岐にわたる。情報メディアに関する技術の例としては、コンピュータグラフィックスやバーチャルリアリティ、ソーシャルメディアなどが挙げられ、ICT社会を支える基盤技術として我々の身の回り、日常生活に深く浸透し、私達の生活に急速な変化を生じさせながら、新しい価値を創出し続けている。その一方で、情報格差、いわゆるデジタルデバイドに関する問題や、フェイクニュースに代表される情報の信頼性に関する問題など、情報メディア技術に関連する新しい課題も指摘されている。この科目では、最新の事例でこうした状況を概観した上で、メディア社会のありかたを議論する。	
		情報メディア先端技術論	情報メディア分野の最先端技術の現状を理解し、新しいビジネスチャンスや情報メディアの未踏研究分野を切り開くヒントと動機付けを与えるため、企業の第一線で活躍されている技術者や内外の一流研究者などを招いてオムニバス形式で授業を行う。トップクラスの技術者・研究者と直に触れ合い、質疑応答をおこなうことにより、その先端技術の意義、内容の理解はもとより、様々な困難を克服する技術者・研究者の姿勢、課題への着眼点などを学ぶことにより、問題発見・解決能力の向上を図ることを目的とする。	
	コンピュータ基礎・プログラミング科目	情報メディア基礎テクノロジー 1	「情報メディア基礎テクノロジー」科目は、誰もが備えておくべき情報理工学分野の基礎知識を、講義および問題演習を通して修得することを目的とする。本科目では、主に情報技術分野を取り扱う。具体的には、情報の基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータシステム（コンピュータ構成要素、システム構成要素、オペレーティング・システム。ソフトウェア、ハードウェア）、技術要素（ヒューマンインタフェース、マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティ）について学ぶ。	
		情報メディア基礎テクノロジー 2	「情報メディア基礎テクノロジー」科目は、誰もが備えておくべき情報理工学分野の基礎知識を、講義および問題演習を通して修得することを目的とする。本科目では、主に情報ストラテジ・マネジメント分野を取り扱う。具体的には、情報ストラテジ分野として、企業活動と法務、経営戦略（経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ）、システム戦略について学ぶ。情報マネジメント分野としては、開発技術（システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術）、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査について学ぶ。	
		コンピュータリテラシー	情報倫理、およびパーソナルコンピュータの活用に必要な知識と操作技術を演習を通して身に付ける。主な内容として、オペレーティングシステムの操作、応用ソフトウェアの操作について学ぶ。応用ソフトウェアについては、主にワードプロセッサソフトによるドキュメント作成方法、表計算ソフトによるデータ集計方法、プレゼンテーションソフトによるプレゼンテーションの作成・実施方法を修得する。	
		メディアプログラミング基礎	プログラミングとは、コンピュータで処理したい課題を解く手順（アルゴリズム）を考え、コンピュータ言語を使ってコンピュータが実行可能な命令の集まりであるプログラムを作成することである。この授業では、演習を通して、プログラミングの考え方、プログラムの作成手順、基本的な構造を学ぶことを目的とする。どのプログラム言語を学ぶ場合でも必要となる基礎知識である、数値や文字などのデータを処理するための変数や演算子の使い方、プログラムの基本構造である、順次・条件分岐・繰り返し構造を学習する。また、実習を通して問題解決の手順を考え組み立てる力、論理的な思考力なども養う。	
		メディアプログラミング 1	演習を通して基礎的なプログラミング技術を身につけ、効率的で誤りのない、読みやすいプログラムを作成することを目標とする。具体的には、「プログラムの構造・記述形式が理解できること」「処理で必要となるデータを考え、変数・配列を設定し、入出力の処理や適切な算術・論理演算子を使った演算処理がおこなえること」「制御文を使って処理の流れをコントロールできること」「関数を活用した効率的なプログラムを作成すること」である。また、プログラムが正しく動作しない場合に、エラーを特定し修正できるようになることを目指す。	

科目区分	学科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
主専攻科目	コンピュータ基礎・プログラミング科目	メディアプログラミング 2 A	「メディアプログラミング 1」で習得した知識・スキルを基に、応用的なプログラミング技術を習得し実践的なプログラムを作成することを目標とする。具体的には、様々なデータ構造（多次元配列、リスト）の理解と処理方法、関数の活用、ファイル入出力、オブジェクト指向プログラミングにおける、クラスやメソッドの概念の理解と利用を学習する。ライブラリやAPIの利用についての解説も行う。メディアコンテンツ系科目、メディアコミュニケーション系科目の演習・実習で行う、専門分野に特化した実践的なプログラミング技術取得のための基盤となる知識・スキルを習得する。	
		メディアプログラミング 2 B	「メディアプログラミング 1」で習得した知識・スキルを基に、スクリプト言語を用いた応用的なプログラミング技術を習得し実践的なプログラムを作成することを目標とする。具体的には、スクリプト言語の特徴・基本文法、様々なデータ構造（多次元配列、リスト）の理解と処理方法、関数の活用、ファイル入出力、オブジェクト指向プログラミングの基礎を学習する。ライブラリやAPIの利用についての解説も行う。メディアコンテンツ系科目、メディアコミュニケーション系科目の演習・実習で行う、専門分野に特化した実践的なプログラミング技術取得のための基盤となる知識・スキルを習得する。	
		A I とデータサイエンス 1	データを解析し有効活用するための手法であるデータサイエンスの基礎知識と技術の習得を目的とする。まず、現代社会におけるデータサイエンスの役割とビッグデータを含めたデータの特徴を学習し、データサイエンスの必要性を理解する。基礎的なデータ分析として、基本統計量や相関係数などの計算方法や解釈方法やデータの可視化を実習を取り入れながら解説する。データサイエンスの手法である、回帰分析・ベイズ理論・AI技術等を、ソフトウェアやプログラミング言語を使い、実際にデータを解析することにより理解する。また、社会におけるデータサイエンスの応用例、データサイエンスに関わる倫理についても取り上げる。	
		A I とデータサイエンス 2	データサイエンスでも利用されているAI技術について、基礎理論や技術的仕組みを理解することを目標とする。AIは、すでに社会の様々な分野で活用されており、今後更に社会生活に浸透していくと考えられる。AIの学問分野の概要を解説しAIとはどのようなものなのかを理解する。また、機械学習、ニューラルネットワーク、ディープラーニング等の技術について、基本的な原理と仕組みをコンピュータ演習を行いながら学習する。さらに、画像認識、言語処理のしくみや応用例についての理解を深めていく。社会における、AIの具体的な活用例と問題点についても取り上げる。	

科目区分	学科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
主専攻科目	理工系基礎科目	自然科学入門	身近に見られる物理現象を数式で表現し理解するための基礎的な考え方や方法について学ぶことを目的とする。この授業ではまず、基礎的物理量の意味、質点、剛体、弾性体の力学を中心に基礎的事項を解説する。力と運動の関係の理解を通して、物理現象と表現法としての数学を結び付けて理解できるようにする。続いて、電気、電子工学や電気磁気学に関わる部分から、情報メディア関連技術を学ぶ上で不可欠とされる内容を基礎から解説する。これによって情報メディア関連技術への物理学、数学の関わりを理解、技術と理論を結び付けて考えられるようにする。	
		メディア数学基礎	数学の基本として最低限理解しておく必要のある事項を修得する。まず、多項式と分数式の四則演算、方程式や不等式についての理解が十分であるか確認したのち、大学の数学科目を履修する上で重要となるいくつかの関数（有理関数、無理関数、三角関数、指数関数、対数関数）とそのグラフについてを中心に、数学的基本事項を学ぶ。今後履修することとなる専門科目を履修するうえで根本となる事項を修得する。必要に応じて、高校数学の内容の復習も行う。	
		メディア数学A	情報メディア分野の専門科目を学習する上で不可欠な、線形代数の基本を学ぶ。まずベクトルについて学び、内積や外積などを通してその幾何学的理解を深める。さらに、行列の概念や定義、その演算方法や連立一次方程式との関係を学び、連立一次方程式の解法を修得します。これらの応用として、2次正方行列の固有値および固有ベクトルの計算と対角化について学ぶ。これらの学びを通して、線形代数の基礎的知識や考え方を身につけることが目標である。	
		メディア数学B	情報メディア分野の専門科目を学習する上で不可欠な、微積分の基本を学ぶ。微積分法は様々な現象を理解、分析するための強力な道具である。本科目では関数、極限、微分、積分といった微積分学の基礎的な知識や、計算法の基本を講義し正確な理解をさせる。まず1変数関数の微分積分の基本概念について解説することから始めて、様々な公式の意味と使い方、公式相互の関係を明らかにすると共に、専門分野で微積分を正しく適用・応用出来るようにすることを目指す。	
		メディア数学C	情報メディア分野の専門科目を学習する上で不可欠な、確率・統計の基本を学ぶ。情報通信やデータ処理とのかかわりの中で必要となる確率論と統計学の基礎概念を理解した上で、推定や検定を理解することを目的とする。確率論の基礎として加法定理、条件付確率、ベイズ定理を学習するとともに、各種代表的な確率分布（正規分布、ポアソン分布、二項分布等）を学習する。さらに統計的推測に進む。まず標本分布について、標本平均の分布、平均値と不偏分散などを取りまとめる。そして正規母集団からの標本分布について、推定と検定を学習する。	
	メディアコンテンツ系科目	メディアコンテンツ基本講義・演習A	「メディアコンテンツ基本講義・演習」は、メディアコンテンツ系の専門分野を学ぶ上で必須の基本的知識の習得を目指す科目である。「メディアコンテンツ基本講義・演習A」では、コンピュータグラフィックスの基礎について学ぶ。具体的には、座標変換とパイプライン、モデリング、レンダリングなどコンピュータグラフィックスの基本的な知識を身に付けるとともに、コンピュータグラフィックスプログラミング演習によりその理解を深める。	
		メディアコンテンツ基本講義・演習B	「メディアコンテンツ基本講義・演習」は、メディアコンテンツ系の専門分野を学ぶ上で必須の基本的知識の習得を目指す科目である。「メディアコンテンツ基本講義・演習B」では、ヒューマンインターフェースの基礎について学ぶ。具体的には、人間の認知特性やヒューマンエラー、ユーザビリティとそれを考慮したヒューマンインターフェース設計、リアフリーデザイン、ユニバーサルデザインなどについて体系的に学習する。	
		メディアコンテンツ基幹講義・演習A	「メディアコンテンツ基幹講義・演習」は、情報メディア技術者が持つべきメディアコンテンツ分野の基幹的知識の習得を目指す科目である。具体的には、メディアコンテンツ技術の現状と課題を把握すると同時に、演習を通じて技術の深い理解や課題解決にむけた方法を検討・実践することを目指す。この「メディアコンテンツ基幹講義・演習A」においては、主に3DCGとアニメーションに焦点を当てて学ぶ。	
		メディアコンテンツ基幹講義・演習B	「メディアコンテンツ基幹講義・演習」は、情報メディア技術者が持つべきメディアコンテンツ分野の基幹的知識の習得を目指す科目である。具体的には、メディアコンテンツ技術の現状と課題を把握すると同時に、演習を通じて技術の深い理解や課題解決にむけた方法を検討・実践することを目指す。この「メディアコンテンツ基幹講義・演習B」においては、主にヒューマンメディアに焦点を当てて学ぶ。	
		メディアコンテンツ基幹講義・演習C	「メディアコンテンツ基幹講義・演習」は、情報メディア技術者が持つべきメディアコンテンツ分野の基幹的知識の習得を目指す科目である。具体的には、メディアコンテンツ技術の現状と課題を把握すると同時に、演習を通じて技術の深い理解や課題解決にむけた方法を検討・実践することを目指す。この「メディアコンテンツ基幹講義・演習C」においては、主にゲーム制作の基本、ゲームデザインに焦点を当てて学ぶ。	

科目区分	学科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
主専攻科目	メディアコンテンツ系科目	メディアコンテンツ発展講義・演習 A	「メディアコンテンツ発展講義・演習」は、「メディアコンテンツ基本講義・演習」や「メディアコンテンツ基幹講義・演習」で習得した内容をベースとして、さらに発展的な内容を学ぶ科目である。具体的には、最新の技術や技術の進展・可能性等について、知識を身に付けていくことと同時に、演習を通じてその解決にむけた方法を自ら経験、実践することにより、自分の考えや倫理観を加えて身に付けていくことを目指している。この「メディアコンテンツ発展講義・演習 A」においては、主にエンタテイメントコンピューティングやメディアアートに焦点を当てて学ぶ。	
		メディアコンテンツ発展講義・演習 B	「メディアコンテンツ発展講義・演習」は、「メディアコンテンツ基本講義・演習」や「メディアコンテンツ基幹講義・演習」で習得した内容をベースとして、さらに発展的な内容を学ぶ科目である。具体的には、最新の技術や技術の進展・可能性等について、知識を身に付けていくことと同時に、演習を通じてその解決にむけた方法を自ら経験、実践することにより、自分の考えや倫理観を加えて身に付けていくことを目指している。この「メディアコンテンツ発展講義・演習 B」においては、主に仮想現実（VR: Virtual Reality）や拡張現実（AR: Augmented Reality）に焦点を当てて学ぶ。	
		メディアコンテンツ発展講義・演習 C	「メディアコンテンツ発展講義・演習」は、「メディアコンテンツ基本講義・演習」や「メディアコンテンツ基幹講義・演習」で習得した内容をベースとして、さらに発展的な内容を学ぶ科目である。具体的には、最新の技術や技術の進展・可能性等について、知識を身に付けていくことと同時に、演習を通じてその解決にむけた方法を自ら経験、実践することにより、自分の考えや倫理観を加えて身に付けていくことを目指している。この「メディアコンテンツ発展講義・演習 C」においては、主にゲーム開発に焦点を当てて学ぶ。	
		メディアコンテンツ応用実習	情報メディアプロジェクト科目とともに、「創造性」と「実践力」を身に付けることに主眼を置いた科目である。この授業では、3DCGやゲーム、VR/ARコンテンツの設計と実装、メディアアート作品やインタラクティブコンテンツの制作などを専用のシステムやソフトウェアを用いた実習形式で行う。この実習を通して、これまで「メディアコンテンツ基本講義・演習」「メディアコンテンツ基幹講義・演習」「メディアコンテンツ発展講義・演習」で学んだ内容を振り返り、その理解を深める。	
	メディアコミュニケーション系科目	メディアコミュニケーション基本講義・演習 A	「メディアコミュニケーション基本講義・演習」は、メディアコミュニケーション系の専門分野を学ぶ上で必須の基本的知識の習得を目指す科目である。「メディアコミュニケーション基本講義・演習 A」では、情報通信技術（ICT）の基礎理論である情報理論と、インターネットに代表されるコンピュータネットワークの基礎を学ぶ。情報理論に関しては、情報の数量化やデータ圧縮、誤り訂正符号化などについて、コンピュータネットワークに関しては、TCP/IPプロトコルの基本を学ぶ。	
		メディアコミュニケーション基本講義・演習 B	「メディアコミュニケーション基本講義・演習」は、メディアコミュニケーション系の専門分野を学ぶ上で必須の基本的知識の習得を目指す科目である。「メディアコミュニケーション基本講義・演習 B」では、信号処理や画像処理の基礎を学ぶ。信号処理に関しては、画像や音声などをコンピュータで処理する際の基本原理である標本化や量子化、フーリエ変換などについて学ぶ。画像処理に関しては、画像を対象とした情報処理（復元・補正、変換、解析、圧縮など）の基礎的な内容を学ぶ。	
		メディアコミュニケーション基幹講義・演習 A	「メディアコミュニケーション基幹講義・演習」は、情報メディア技術者が持つべきメディアコミュニケーション分野の基幹的知識の習得を目指す科目である。具体的には、メディアコミュニケーション技術の現状と課題を把握すると同時に、演習を通じて技術の深い理解や課題解決にむけた方法を検討・実践することを目指している。この「メディアコミュニケーション基幹講義・演習 A」においては、主にデータベースやWebシステムに焦点を当てて学ぶ。	
		メディアコミュニケーション基幹講義・演習 B	「メディアコミュニケーション基幹講義・演習」は、情報メディア技術者が持つべきメディアコミュニケーション分野の基幹的知識の習得を目指す科目である。具体的には、メディアコミュニケーション技術の現状と課題を把握すると同時に、演習を通じて技術の深い理解や課題解決にむけた方法を検討・実践することを目指している。この「メディアコミュニケーション基幹講義・演習 B」においては、主に色彩と画像工学に焦点を当てて学ぶ。	

科目区分	学科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
主専攻科目	メディアコミュニケーション系科目	メディアコミュニケーション発展講義・演習A	「メディアコミュニケーション発展講義・演習」は、「メディアコミュニケーション基本講義・演習」や「メディアコミュニケーション基幹講義・演習」で習得した内容をベースとして、さらに発展的な内容を学ぶ科目である。具体的には、最新の技術や技術の進展・可能性等について、知識を身に付けていくことと同時に、演習を通じてその解決にむけた方法を自ら経験、実践することにより、自分の考えや倫理観を加えて身に付けていくことを目指している。この「メディアコミュニケーション発展講義・演習A」においては、主にネットワークプログラミングに焦点を当てて学ぶ。	
		メディアコミュニケーション発展講義・演習B	「メディアコミュニケーション発展講義・演習」は、「メディアコミュニケーション基本講義・演習」や「メディアコミュニケーション基幹講義・演習」で習得した内容をベースとして、さらに発展的な内容を学ぶ科目である。具体的には、最新の技術や技術の進展・可能性等について、知識を身に付けていくことと同時に、演習を通じてその解決にむけた方法を自ら経験、実践することにより、自分の考えや倫理観を加えて身に付けていくことを目指している。この「メディアコミュニケーション発展講義・演習B」においては、主にソーシャルメディアやメディアモラルに焦点を当てて学ぶ。	
		メディアコミュニケーション応用実習	情報メディアプロジェクト科目とともに、「創造性」と「実践力」を身に付けることに主眼を置いた科目である。この授業では、ネットワークプログラミングやビッグデータ分析、画像処理アプリケーションの実装などを専用のシステムやソフトウェアを用いた実習形式で行う。この実習を通して、これまで「メディアコミュニケーション基本講義・演習」「メディアコミュニケーション基幹講義・演習」「メディアコミュニケーション発展講義・演習」で学んだ内容を振り返り、その理解を深める。	
	自己発展科目	理工系のTOEIC(R)入門	グローバル化された現代社会においては、様々な場面で英語を使いこなす力が要求される。英語力の向上には、「リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング」の4技能をバランス良く学習することが必要である。この授業は、英語コミュニケーション科目で学んだ事項を有機的に結びつけ、実用的な英語能力の向上を図ること(TOEIC450点、英検準2級程度の英語能力獲得)を目標としている。コンピュータやインターネットを活用した英語学習などについても取り扱う。	
		理工系のTOEIC(R)初級	グローバル化された現代社会においては、様々な場面で英語を使いこなす力が要求される。英語力の向上には、「リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング」の4技能をバランス良く学習することが必要である。この授業は、理工系のTOEIC入門に引き続き実用的な英語能力の向上を図ること(TOEIC550点、英検2級程度の英語能力獲得)を目標としている。コンピュータやインターネットを活用した英語学習などについても取り扱う。	
		理工系のTOEIC(R)中級	グローバル化された現代社会においては、様々な場面で英語を使いこなす力が要求される。英語力の向上には、「リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング」の4技能をバランス良く学習することが必要である。この授業は、理工系のTOEIC初級に引き続き実用的な英語能力の向上を図ること(TOEIC600点程度の英語能力獲得)を目標としている。コンピュータやインターネットを活用した英語学習などについても取り扱う。	
		プレゼンテーション	研究・プロジェクトの成果発表において、成果をアウトプットするためには、情報を聴者に的確に伝えるためのプレゼンテーションのスキルが必要である。本科目では、情報理工学分野のプレゼンテーションを効果的に実施するための知識と技法について学ぶ。具体的には、情報収集・整理の方法、ドキュメント・スライド作成方法、リハーサルの方法、プレゼンテーションの実施方法、質疑応答や効果的なディスカッションについて、講義と演習を通じて修得する。	
		インターンシップ	将来社会に出て活動する現場を実際に体験することにより「働くこと・働く仕事・働く仕事場」を理解し、自身の卒業後のキャリアについて考えることを目的とする。まず、働くことの意味や社会人としてのマナーを学び、インターンシップを経験する当該企業または業界に関して事前に調査する。さらに、具体的な研修目的を理解し、研修後にはその研修目的をどこまで達成したのか、何が自分に不足しているか、この経験を今後の就職活動にどのように生かしていくかについて考察する。	

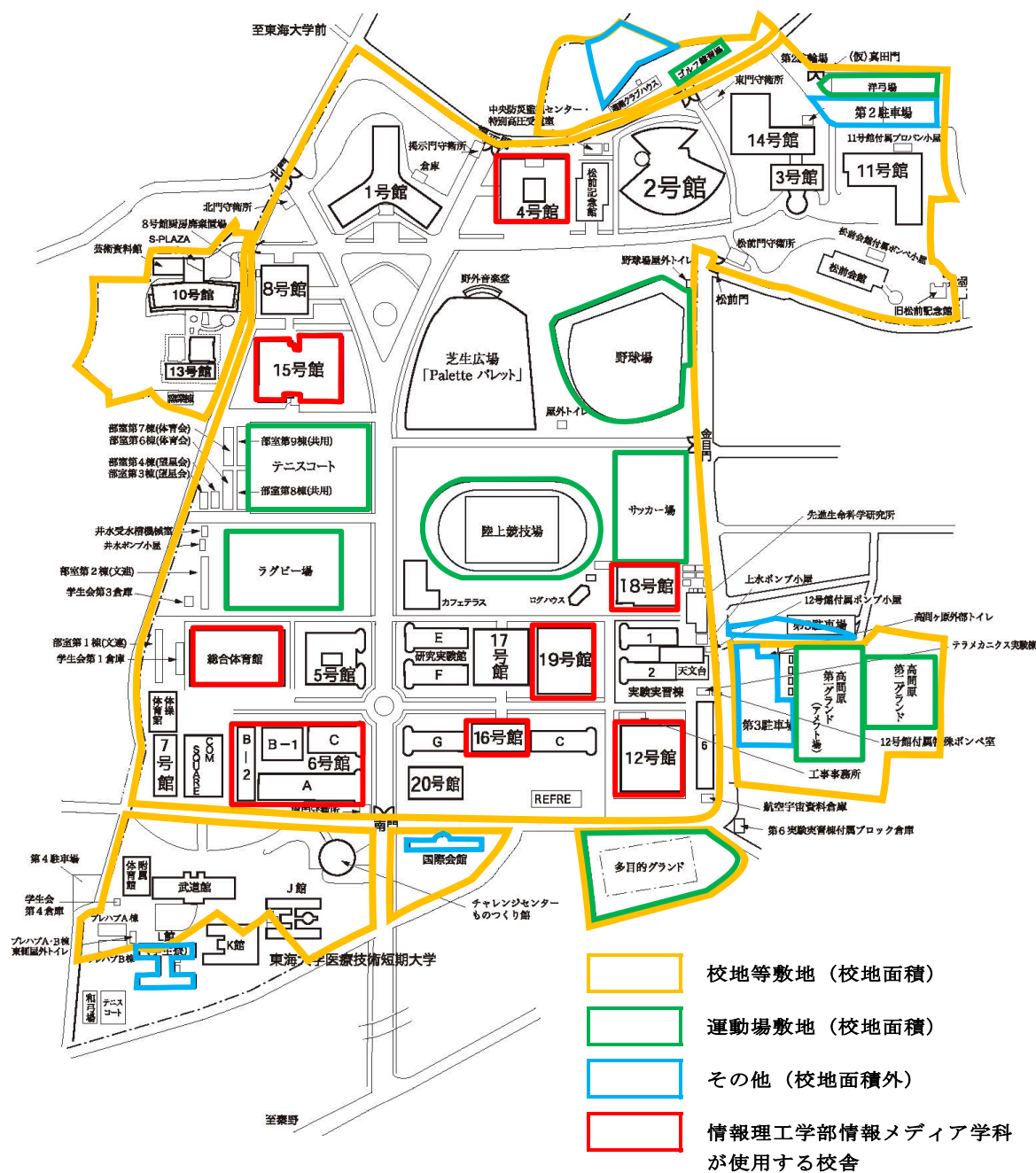
(位置関係図)

東海大学 湘南校舎
神奈川県平塚市



図面一1

湘南校舎配置図



湘南校舎 校地・校舎面積

	区 分	専 用	共 用	共有する他の学 校の専用	計	
校 地 等	校舎敷地	377,017.10 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	377,017.10 m ²	内借地5,880.49m ²
	運動場用地	155,168.27 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	155,168.27 m ²	
	小計	532,185.37 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	532,185.37 m ²	
	その他	14,699.03 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	14,699.03 m ²	内借地5,567.00m ²
	合計	546,844.40 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	546,844.40 m ²	借用期間：6年
校 舎	専 用	249,088.72 m ² (249,088.72 m ²)	0.00 m ² (0.00 m ²)	共有する他の学 校の専用	計	
				0.00 m ² (0.00 m ²)	249,088.72 m ² (249,088.72 m ²)	

**設置の趣旨等を記載した書類
情報理工学部情報メディア学科**

【本文目次】

- 1 設置の趣旨及び必要性…p. 2
- 2 学部・学科等の特色…p. 5
- 3 学部・学科等の名称及び学位の名称…p. 5
- 4 教育課程の編成の考え方及び特色…p. 6
- 5 教育方法，履修指導方法及び卒業要件…p. 9
- 6 企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の
具体的計画…p. 13
- 7 入学者選抜の概要…p. 17
- 8 教員組織の編成の考え方及び特色…p. 18
- 9 施設・設備等の整備計画…p. 19
- 10 管理運営…p. 21
- 11 自己点検・評価…p. 21
- 12 情報の公表…p. 22
- 13 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等…p. 26
- 14 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制…p. 26

1 設置の趣旨及び必要性

1. 東海大学の 2022 年度改組改編

東海大学では、建学 80 周年にあたる 2022 年 4 月に全学的な改組改編を行う。その目的は、来るべき社会の変化に対応し、地球市民として未来を創造していく人材育成を推進すること、そして、建学以来継承してきた文理融合の理念と一貫教育を基軸とした教育・研究活動をより一層進化・推進し、学生が幅広い知識を養い、深い理解力をもって社会に貢献することである。改組改編の概要としては、学部学科の再編により、全国 5 キャンパス 8 校舎 23 学部 62 学科・専攻体制とする。学部学科の新設状況は次のとおりである。

①湘南キャンパス

湘南キャンパスにおいては、理工系から情報系、社会・人文科学、体育スポーツまで、文理融合型総合大学ならではの多様な学部構成を活かし、受験生の多様なニーズに応えられるよう、既設の学科・課程を統合してシナジー効果を引き出すための集約型学科構成を目指し、湘南校舎（神奈川県平塚市）に次の学部学科を新設する。

児童教育学部（児童教育学科）を新設する。

情報理工学部（情報メディア学科）を新設する。

建築都市学部（建築学科、土木工学科）を新設する。

工学部に機械システム工学科、医工学科、生物工学科を新設する。

なお、児童教育学部（児童教育学科）の新設は設置認可申請中であり、工学部医工学科の教育研究は、湘南校舎及び伊勢原校舎（神奈川県伊勢原市）で行う。

②東京キャンパス

東京キャンパスにおいては、都心からほど近くに位置する利便性の高い立地を活かし、来るべき国際社会で活躍できる人材を育成するため、高輪校舎（東京都港区）に次の学部学科を新設する。

経営学部（経営学科）を新設する。

国際学部（国際学科）を新設する。

情報通信学部（情報通信学科）を新設する。

なお、これらの学部学科の教育研究は、湘南校舎及び高輪校舎で行う。

③静岡キャンパス

静岡キャンパスにおいては、海洋国家日本を支える人材を養成してきた既設の海洋学部のさらなる充実と静岡地域における人材育成に関するニーズに応えるため、静岡校舎（静岡県静岡市）に次の学部学科を新設する。

海洋学部に海洋理工学科（海洋理工学専攻、航海学専攻）を新設する。

人文学部（人文学科）を新設する。

④九州キャンパス

九州キャンパスにおいては、熊本・阿蘇の地でこれまで育んできた教育資源を継承し、文

理分断からの脱却を目指す教育を推進するとともに、農学部さらなる充実を図るため、熊本校舎（熊本県熊本市）において、文理融合学部（経営学科、地域社会学科、人間情報工学科）を新設し、臨空校舎（熊本県上益城郡）において、農学部農学科、動物科学科、食生命科学科を新設する。なお、農学部の教育研究は、熊本校舎及び臨空校舎で行う。

2. 情報理工学部情報メディア学科設置の社会的背景・必要性、教育研究上の目的・養成する人材

1) 情報理工学部の教育研究上の目的・養成する人材

現代は、Society 5.0（超スマート社会）の実現に向けた取り組みが日々加速しており、世界規模の大きな変革への過渡期を迎えている。そして、人工知能（AI）等の技術革新は、私たちが必要とする力や能力を急速かつ継続的に、今までとは異なるものに変えつつある。このように現状のものの方では対応が困難になっている現代社会においては、「情報分野での幅広い知識と高度な専門知識・実践技術を備える」と同時に、「理工学分野での知識・技術を合わせ持ち、現代社会が抱える多様な課題に積極的に取り組んでいく人材」が求められている。

そこで情報理工学部においては、まず現代の情報社会が抱える多様な課題を発見する力、その本質を見抜く力、そしてその課題を解決する力を身に付けさせる。さらに時事刻々と変化する課題に対しても、積極的に取り組み、的確な解決策を導き出すことができるよう、「創造力」、「実践力」に加えて、「適応力」をも併せ持った人材を養成する。

2) 情報メディア学科設置の社会的背景・必要性、教育研究上の目的・養成する人材

情報メディアとは、情報を伝達する手法、媒体を表し、その機能は、情報の処理や変換、表現、発信など極めて多岐にわたる。情報メディアに関する技術の例としては、コンピュータグラフィックスやバーチャルリアリティ、ゲーム、インターネット、ソーシャルメディアなどが挙げられ、ICT社会を支える基盤技術として我々の身の回り、日常生活に深く浸透し、私達の生活に急速な変化を生じさせながら、新しい価値を創出し続けている。その一方で、情報格差、いわゆるデジタルデバイドに関する問題や、フェイクニュースに代表される情報の信頼性に関する問題など、情報メディア技術に関連する新しい課題も指摘されており、超スマート社会実現に向けてこれらの課題の解決するため、継続的に社会を改善していく人材育成と体制づくりが急務となっている。

このような変化に富んだ時代において、情報メディア学科は、情報理工学部の教育研究上の目的・養成する人材を受け、日々変化していく技術や新しい価値を捉える力を受容し、社会を支えていく人材を社会に排出することを目指し、「超スマート社会実現のために解決が急務の課題を発見する力」、「情報メディアに関する幅広い知識を用いてその解決方法を創造する力」、「情報メディア技術を駆使して実現、実践する力」を持ち、世界が今後直面するであろう課題を発見し解決していく力を有する人材を養成する。

なお、情報理工学部情報メディア学科は、学生募集を停止する情報通信学部情報メディア学科を基礎として設置されることから、受験生や在学生に対し、改組改編の背景について次のとおり説明する予定である。

情報通信学部情報メディア学科は、情報通信学部を構成する学科として、情報通信に関す

る基礎知識・技術と社会で応用できる力を有する情報メディア分野の情報通信技術者を養成してきた。しかしながら、現在、情報メディアの分野においては、情報格差、いわゆるデジタルデバイドに関する問題やフェイクニュースに代表される情報の信頼性に関する問題など、情報メディア技術に関連する新しい課題が指摘されている。この課題に応えるためには、情報分野だけではなく、理工学分野の知識・技術を併せ持つ人材を育成する必要があり、改組改編を行い、「情報分野での幅広い知識と高度な専門知識・実践技術を備える」と同時に、「理工学分野での知識・技術を合わせ持ち、現代社会が抱える多様な課題に積極的に取り組んでいく人材」を目的とする情報理工学部学科として設置することとした。

加えて、情報理工学部情報メディア学科は、本学湘南校舎に設置され、理学部及び工学部と同じ校舎で学ぶこととなり、理工学分野の知識・技術を併せ持つ人材育成に関する教育効果は大きいと考えている。

【ディプロマ・ポリシー】

情報理工学部情報メディア学科では、以下の能力を備えたと認められる者に学位「学士（工学）」を授与する。

『知識・理解』

情報に関する幅広い基礎知識と「メディアコンテンツ」、「メディアコミュニケーション」に関する専門知識を合わせ持ち、さらに現代社会における様々な課題、ニーズを柔軟に理解する能力を有する。

『汎用的技能』

情報メディアに関する技術を応用し、時代の多様なニーズに対応して、問題を発見し、解決策を見出すことができる。

『態度・志向性』

情報技術者として、創造力・実践力・適応力を備え、モラルと使命を理解し、情報メディア分野の発展に寄与して社会に貢献することができる。

【具体的な人材像】

- ・メディアコンテンツの専門知識を有するコンテンツクリエイター
- ・メディアコミュニケーションの専門知識を有する ICT エンジニア

3. 研究対象とする中心的な学問分野

情報メディア技術は ICT 社会を支える基盤技術として我々の生活に浸透し、新しい価値を創出し続けている。その一方で、情報格差に関する問題や情報の信頼性に関する問題など、情報メディア技術に関連する新しい課題の解決も急務となっている。情報メディア学科では、これらの現状を踏まえ、「メディアコンテンツ分野」と「メディアコミュニケーション分野」の二分野を研究・教育の柱と設定する。

「メディアコンテンツ分野」では主に、コンピュータグラフィックスやバーチャルリアリ

ティ（VR）、ゲーム、エンターテインメントコンピューティング、メディアアート、およびヒューマンインタフェースの研究活動を行う。メディアコンテンツ分野の研究活動は、Society 5.0（超スマート社会）の実現に直結するものである。「メディアコミュニケーション分野」では、インターネット応用技術、ソーシャルメディア、ネットワークリテラシー、ネットワークモラルなどに関する研究活動を実施する。メディアコミュニケーション分野の研究活動は情報メディア技術に関連した課題の解決や安全安心社会実現のために必須の内容である。

情報メディア学科では、これらの先端的な研究内容を教育に直結させることにより、幅広い視点から問題解決に取り組んでいく創造性と実践力を有する ICT エンジニアやコンテンツクリエイターを育成する。

2 学部・学科等の特色

情報メディア学科は、多様化する価値観や学びのスタイルに対応し、課題発見・解決のプロセスや新しい価値の創造をアクティブラーニング形式で初年次から最終学年まで継続的かつ実践的に学ぶ「情報メディアプロジェクト科目」群を柱として配置する。加えて、情報メディア技術に関する専門知識を修得するために「メディアコンテンツ系科目」と「メディアコミュニケーション系科目」に関する科目群を設置する。また、情報メディア分野の基礎を確実に身に付けるための「コンピュータ基礎・プログラミング科目」群、および「理工系基礎科目」群を設ける。さらに、情報メディアに関する現状や発展的な内容を把握することを目的とした「情報メディア基盤科目」群、「自己発展科目」群により、確かな基礎力と深い専門性の涵養を行う。これらの教育をとおして、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像（平成 17 年 1 月）」で提言された「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」の大学の機能のうち、「幅広い職業人の養成」を担う人材の養成を行う。

3 学部・学科等の名称及び学位の名称

1. 学科の名称

コンピュータグラフィックスやバーチャルリアリティ、ゲームなどの「メディアコンテンツ」、およびインターネットやソーシャルメディア、ネットモラルなどの「メディアコミュニケーション分野」の研究・教育を通して、「超スマート社会実現のために解決が急務の課題を発見する力」、「情報メディアに関する幅広い知識を用いてその解決方法を創造する力」、「それを情報メディア技術を駆使して実現、実践する力」を持ち、世界が今後直面するであろう課題を発見し解決していく力を有する人材を養成することを目的としていることから、学科の名称を「情報メディア学科」とする。

2. 学位の名称

情報メディア学科では、工学的視点で情報メディアに関する幅広い知識と実践力を有する人材を育成する。そのため、学位の名称は「学士（工学）」とする。

【日本語名称】

学部名称：情報理工学部

学科名称：情報メディア学科

学位名称：学士（工学）

【英訳名称】

情報理工学部：Undergraduate School of Information Science and Technology

情報メディア学科：Department of Information Media Technology

学士（工学）：Bachelor of Engineering

4 教育課程の編成の考え方及び特色

1. 教育課程の編成方針

【カリキュラム・ポリシー】

情報理工学部情報メディア学科が定めるディプロマ・ポリシーに基づき、以下に示す教育課程を編成し、実施する。

『教育課程・学修成果』

多様化する価値観や学びのスタイルに対応し、課題発見・解決のプロセスや新しい価値の創造をアクティブラーニング形式で初年次から最終学年まで継続的かつ実践的に学ぶ「情報メディアプロジェクト科目」群を柱として配置し、自ら考え解決を目指していく創造力と実践力を養っていく。加えて、情報メディア技術の幅広い知識を身につけるため「メディアコンテンツ系科目」と「メディアコミュニケーション系科目」に関する科目群を設置して幅広い視点の育成を進めていく。また、「コンピュータ基礎・プログラミング科目」群、および「理工系基礎科目」群、情報メディアに関する現状や発展的な内容を把握することを目的とした「情報メディア基盤科目」群、「自己発展科目」群により、確かな基礎力と深い専門性を養い、幅広い視点から問題解決に取り組んでいく創造性と実践力の育成を行う。

『学修成果の評価方法』

情報メディア学科のディプロマ・ポリシーに示されている『知識・理解』『汎用的技能』『態度・志向性』に関して、修得単位数・GPAによる分析評価等を用いた学生による自己評価により、学修成果の評価を行っている。その集計結果は、FD活動等とおして教育の質向上のためのPDCAサイクルにつなげている。

以上のカリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーの達成のため、後述する教育課程に基づき、資料のとおり図式化することができる。**【資料1】参照**

2. 教育課程の構成

1) 現代文明論・現代教養科目・英語科目（教養科目）

教養科目として、1年次から2年次にかけ、「Ⅰ現代文明論」、「Ⅱ現代教養科目」、「Ⅲ英語

科目」の科目区分に必修科目を開講する。これらの科目の学びをとおして、現在の複雑化した社会の課題に対して、幅広い視点から、自らの考えを深め、行動していく姿勢を育てるとともに、後述する主専攻科目と影響しあいながら、ディプロマ・ポリシーの達成に向け、学修を進めていく。

教養科目の学びは以下のとおりである。

「Ⅰ 現代文明論」

幅広い分野の問題点や課題の発見、そして解決への姿勢を育てていくことを目的とした「現代文明論」や「現代教養講義」の履修をとおして、自らの人生の過ごし方や、その姿勢について考える機会を設定している。

「Ⅱ 現代教養科目」

“基礎教養科目”において、大学教育や学部教育への理解を深める「入門ゼミナールA」、「入門ゼミナールB」を開講し、“発展教養科目”において、国際・地域を基点として社会について学び、そこでの課題の把握とその解決について能動的に考える授業を展開する「シテイズンシップ」、「地域・国際理解」、「現代教養講義」を開講する。

また、“健康スポーツ科目”において、生涯にわたり心・体・社会的に健やかに充実した生活を送るための基盤として、「健康・フィットネス理論実習」「生涯スポーツ理論実習」を開講する。

「Ⅲ 英語科目」

“英語コミュニケーション科目”において、国際的に幅広く社会と関わる素地を身につけるため、「英語リスニング&スピーキング」、「英語リーディング&ライティング」を開講する。

2. 主専攻科目（専門科目）

「情報メディアプロジェクト科目」

情報メディア学科は「超スマート社会実現のために解決が急務の課題を発見する力」、「情報メディアに関する幅広い知識を用いてその解決方法を創造する力」、「情報メディア技術を駆使して実現、実践する力」を持ち、世界が今後直面するであろう課題を、発見し解決していく力を有する人材を養成することを目的として設置される。課題発見・解決のプロセスや新しい価値の創造をアクティブラーニング形式で初年次から最終学年まで継続的かつ実践的に学ぶ「情報メディアプロジェクト科目」群（6科目 16単位）は情報メディア学科の教育の核をなす。このうち、「情報メディアゼミナール」、「情報メディア卒業プロジェクト1」、「情報メディア卒業プロジェクト2」の3科目 10単位は、必修科目と設定し、少人数できめ細やかな実践型教育を行う。

1年次には、入門的位置づけとして「情報メディアプロジェクト入門」を開講し、グループワークを通して解決方法の検討、発表資料の作成、発表・討論等の基礎的スキルを身に付ける。2年次には「情報メディアプロジェクト実践1」「情報メディアプロジェクト実践2」を開講し、チームでの課題選定や解決を通じ成果発表を行う。3年次の「情報メディアゼミナール」は少人数によるディスカッションを重視した授業を行う。4年次に開講される「情

報メディア卒業プロジェクト1」、「情報メディア卒業プロジェクト2」では1年間にわたり卒業プロジェクトに取り組み、研究や開発、作品制作を体験する。最終的には、自身の研究や開発、作品制作の成果をプレゼンテーションし、4年間の集大成としての卒業論文を完成させる。

「情報メディア基盤科目」

初年次に配置する「情報メディア概論A」、「情報メディア概論B」と、3年次に配置する「情報メディア社会論」、「情報メディア先端技術論」の計4科目8単位からなる科目群である。初年次の科目では、情報メディア分野の現状認識や解決すべき諸課題を知り、自らの学び方を定めることを目標としている。3年次の科目では、情報メディアの課題や先端事例を知り、メディア社会の在り方や様々な困難を克服する技術者の姿勢、課題への着眼点などを学ぶ。「情報メディア概論A」は必修科目として設定している。

「コンピュータ基礎・プログラミング科目」

情報メディアを学ぶ上で誰もが備えておくべき情報理工学分野の基礎知識、情報倫理、パーソナルコンピュータの活用に必須となる知識と操作技術、プログラミングの基本、AIとデータサイエンスの基礎などを学ぶ科目群である（9科目18単位）。このうち、初年次に配置される「メディアプログラミング基礎」、「メディアプログラミング1」（いずれも2単位）は必修科目とし、入学時からプログラミングの基礎を固める。

また、情報理工学分野の基礎知識を、講義および問題演習を通して修得することを目的とする「情報メディア基礎テクノロジー1」、「情報メディア基礎テクノロジー2」や情報倫理、およびパーソナルコンピュータの活用に必須となる知識と操作技術を、演習を通して身に付ける「コンピュータリテラシー」も1年次に配置して徹底して基礎を固める。2年次には「メディアプログラミング2A」、「メディアプログラミング2B」と「AIとデータサイエンス1」を開講し、専門科目への接続を図る。3年次には「AIとデータサイエンス2」を開講し、AIとデータサイエンスに関して高度な内容を学びたい学生のニーズに応える。

「理工系基礎科目」

情報メディアの専門科目を学ぶ上で必須となる数学と物理の基礎を修得するために設置する科目群（5科目10単位）であり初年次から2年次前半に設置される。「自然科学入門」、「メディア数学基礎」、「メディア数学A」、「メディア数学B」、「メディア数学C」いずれも選択科目としているが、本学科の学びにおいて基礎となる科目であるため、履修指導により、全ての学生が全ての科目を履修する計画である。

「メディアコンテンツ系科目」

「メディアコンテンツ基本講義・演習A・B」（2科目）、「メディアコンテンツ基幹講義・演習A・B・C」（3科目）、「メディアコンテンツ発展講義・演習A・B・C」（3科目）、「メディアコンテンツ応用実習」からなる科目群である（9科目18単位）。メディアコンテンツ分野の専門を学ぶ科目群であり、2年次から3年次にかけて配置される。これらの科目を履修することにより、メディアコンテンツの基本から応用までを幅広く、確実に学ぶことがで

きる。本科目群にて修得する主要な内容は、コンピュータグラフィックス、ヒューマンインタフェース、アニメーション、ヒューマンメディア、ゲームデザイン、エンタテインメントコンピューティング、メディアアート、バーチャルリアリティ（仮想現実）、オーグメンテッドリアリティ（拡張現実）である。

2年次に開講される「メディアコンテンツ基本講義・演習A・B」、「メディアコンテンツ基幹講義・演習A・B・C」では、メディアコンテンツ分野の基本を講義と演習を通して徹底的に学ぶ。3年次に開講される「メディアコンテンツ発展講義・演習A・B・C」、「メディアコンテンツ応用実習」では、メディアコンテンツ分野の応用的、先端的内容を講義のみならず、演習、実習を通して広く学ぶ。

「メディアコミュニケーション系科目」

「メディアコミュニケーション基本講義・演習A・B」（2科目）、「メディアコミュニケーション基幹講義・演習A・B」（2科目）、「メディアコミュニケーション発展講義・演習A・B」（2科目）、「メディアコミュニケーション応用実習」からなる科目群である（7科目 14単位）。メディアコミュニケーション分野の専門を学ぶ科目群であり、2年次から3年次にかけて配置される。これらの科目を履修することにより、メディアコミュニケーションの基本から応用までを幅広く、確実に学ぶことができる。本科目群にて修得する主要な内容は、情報数量化、コンピュータネットワーク、信号処理、画像処理、色彩工学、データベース、Webシステム、ソーシャルメディア、ネットモラルである。

2年次に開講される「メディアコミュニケーション基本講義・演習A・B」、「メディアコミュニケーション基幹講義・演習A・B」では、メディアコミュニケーション分野の基本を講義と演習を通して徹底的に学ぶ。3年次に開講される「メディアコミュニケーション発展講義・演習A・B」、「メディアコミュニケーション応用実習」では、メディアコミュニケーション分野の応用的、先端的内容を講義のみならず、演習、実習を通して広く学ぶ。

「自己発展科目」

「理工系のTOEIC(R)入門・初級・中級」、「プレゼンテーション」、「インターンシップ」の合計5科目 10単位の科目群である。これらの選択科目により、学生は専門分野にプラスして社会から必要とされる英語力、情報発信力、キャリア設計を学ぶことが可能である。

「理工系のTOEIC(R)入門・初級・中級」を2年次から3年次にかけて開講し、理工系人材として必要な英語力の向上を目指す。「プレゼンテーション」は2年次に開講し、情報発信、プレゼンテーションに関するスキル向上を図る。3年次には「インターンシップ」を開講し、将来社会に出て活動する現場を実際に体験することにより「働くこと・働く仕事・働く仕事場」を理解し、自身の卒業後のキャリアについて考える。

5 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

1. 教養科目と主専攻科目（専門科目）の計画的な融合

本学は、教養科目と主専攻科目（専門科目）の融合の実現を目指し、1年次から2年次に

かけて、次のとおり教養科目を配置している。

大学教育や学部教育への理解を深め、大学生活を送るうえで必要なアカデミックスキルの基礎的能力・知識を養う「入門ゼミナールA」、「入門ゼミナールB」、生涯にわたり心・体・社会的に健やかに充実した生活を送るための基盤となる“健康スポーツ科目”や国際的に幅広く社会と関わる素地を身につける“英語コミュニケーション科目”により、主専攻科目（専門科目）への円滑な学びへと導いていく。

また、多様な人々が民主政治の担い手である市民として、意見の違いを乗り越え、相互の人権を尊重しあえる社会を形成するにはどうすればよいかを考えることを目標とする「シティズンシップ」、多様な人々の視点に立ち、地域社会・国際社会の様々な課題を発見し、その解決について考える「地域・国際理解」の学びを通じて、学生が社会の構成員であることを自覚し、社会と関わろうとする自発的な意識を高め、公共に資する判断と行動の必要性を認識することにより、自らが社会の持続的な発展に向けて取り組んでいく必要性を認識し、深化させていく。

以上を礎に、2年次に学修する本学の基幹科目である「現代文明論」や「現代教養講義」により、正しい姿勢や倫理観をもって、自ら考え、問題解決を目指して、挑み、仲間と集い、成し遂げていく姿勢を身に付けていく。そして、「主専攻科目（専門科目）」の学びと融合しながら、現代社会に必要とされる専門知識や技術に加え、倫理観をもって、様々な課題に積極的に取り組んでいく姿勢を育成していくカリキュラム体系となっている。

2. 教養科目に基づく専門科目の展開

情報理工学部情報メディア学科の学修の流れは、情報メディア分野の学びのスタートとなる「情報メディア概論A・B」およびプロジェクト系科目のスタートとなる「情報メディアプロジェクト入門」をベースとし、教養科目による知識の修得やものごとの考え方や視点を修得しながらスタートする。また、理工系の学びの基礎となる「理工系基礎科目」や情報メディアの専門科目を学ぶ上で欠かせない「コンピュータ基礎・プログラミング科目」を1年次からスタートし、現代社会や将来に向けての問題点や課題などを考えながら学修を進めていく。2年次から3年次にかけては、情報メディアの専門科目である「メディアコンテンツ系科目」と「メディアコミュニケーション系科目」で情報メディア分野の基礎から応用までを体系的に順序立てて学び、実践力の向上を目指す。流れをまとめると以下のとおりとなる。

- ④ 1年次に開講される「情報メディア概論A・B」により、情報メディア分野での最新の研究・技術などを知り、自らを鍛えるための知的好奇心の喚起を目指す。
- ⑤ 1年次より継続して設置される「情報メディアプロジェクト科目」の各科目を通して、現代社会が抱える様々な課題の解決に必要とされる「創造性」と「実践力」を身に付ける。
- ⑥ 「理工系基礎科目」や「コンピュータ基礎・プログラミング科目」が1年次から順序立てて開講される。これらの科目により、専門科目を学ぶ上で必要な基礎を確実に身に付ける。
- ⑦ 「メディアコンテンツ系科目」と「メディアコミュニケーション系科目」で情報メディア分野の基礎から応用までを体系的に順序立てて学び、実践力の向上を目指す。

3. 履修順序と学修の進め方

本学においては、カリキュラムの体系化を目指し、全科目を3桁の数字でナンバリングしている。1桁目は履修推奨年次、2桁目は科目群やグループ、3桁目は履修時の条件の有無を表している。これらカリキュラム表に記載して学生に提示し、履修モデルと合わせて学生が学修計画を組み立てる際の一助となるように対応している。

なお、履修者数等の設定については、必修科目は適切な人数で科目ごとにクラスを編成し履修者を指定し、選択科目については科目ごとに適切に管理を行うことによってきめ細やかな指導に当たる。

1) 学修の進め方

これまで述べてきた教育課程により、情報に関する幅広い基礎知識と「メディアコンテンツ」、「メディアコミュニケーション」に関する専門知識をあわせ持ったエンジニアを効果的に育成するため、以下の方針で科目を配置する。①基礎的な科目は低年次に開講する。特に“理工系基礎科目群”に開講する5科目は、本学科の学びにおいて必須の基礎知識であることから低年次での習得を目指す。②専門科目である「メディアコンテンツ系科目」と「メディアコミュニケーション系科目」は基本・基幹・発展・応用の各科目を順序立てて配置する。③アクティブラーニング形式の「情報メディアプロジェクト科目」は初年次から最終学年まで継続的に配置する。専門科目における学修の進め方は以下のとおりである。

「情報メディアプロジェクト科目」

「情報メディアプロジェクト入門」を初年次に、「情報メディアプロジェクト実践1・2」を2年次に、「情報メディアゼミナール」を3年次に、「情報メディア卒業プロジェクト1・2」を4年次に配置する。現代社会が抱える様々な課題の解決に必要とされる「創造性」と「実践力」の向上を目的としたアクティブラーニング形式の授業を継続して学ぶことが可能である。

「情報メディア基盤科目」

「情報メディア概論A・B」を初年次に、「情報メディア社会論」と「情報メディア先端技術論」を3年次に配置する。

「コンピュータ基礎・プログラミング科目」

「情報メディア基礎テクノロジー1・2」、「コンピュータリテラシー」、「メディアプログラミング基礎1」を初年次に配置する。「メディアプログラミング2A・B」、「AIとデータサイエンス1・2」を2年次から3年次に配置する。情報メディアを学ぶ上で誰もが備えておくべき基礎を無理なく学ぶことが可能である。

「理工系基礎科目」

「自然科学入門」、「メディア基礎数学」、「メディア数学A」、「メディア数学基礎B」を初年次、「メディア数学C」を2年次に配置する。これらの科目は、情報メディアの専門科目を学ぶ上で必須となる基礎知識であるため、低年次で修得していく。

「メディアコンテンツ系科目」

「メディアコンテンツ基本講義・演習A・B」と「メディアコンテンツ基幹講義・演習A・B・C」を2年次に、「メディアコンテンツ発展講義・演習A・B・C」、「メディアコンテンツ応用実習」を3年次に配置する。メディアコンテンツ分野の基本から応用までを幅広く、確実に学ぶことができるように設計されている。

「メディアコミュニケーション系科目」

「メディアコミュニケーション基本講義・演習A・B」と「メディアコミュニケーション基幹講義・演習A・B」を2年次に、「メディアコミュニケーション発展講義・演習A・B」、「メディアコミュニケーション応用実習」を3年次に配置する。メディアコミュニケーション分野の基本から応用までを幅広く、確実に学ぶことができるように設計されている。

「自己発展科目」

「理工系のTOEIC(R)入門・初級・中級」を2年次から3年次に配置し、理工系人材として必要とされる英語力の向上を図る。「プレゼンテーション」を2年次に、「インターンシップ」を3年次にそれぞれ配置し、情報発信の方法やキャリア設計を適切なタイミングで学ぶことが可能となる。

2) 卒業要件

以下の合計で124単位以上修得する。

(履修科目の登録の上限：20単位(1学期))

□科目区分Ⅰ現代文明論＜必修科目＞ 2単位修得

□科目区分Ⅱ現代教養科目

基礎教養科目＜必修科目＞ 4単位修得

発展教養科目＜必修科目＞ 6単位修得

健康スポーツ科目＜必修科目＞ 2単位修得

□科目区分Ⅲ英語コミュニケーション科目 ＜必修科目＞ 4単位修得

□科目区分Ⅳ主専攻科目 76単位修得

＜必修科目＞

■情報メディアプロジェクト科目 に設定された必修科目より10単位を修得

■情報メディア基盤科目 に設定された必修科目より2単位を修得

■コンピュータ基礎・プログラミング科目

に設定された必修科目より4単位を修得

(計16単位)

＜選択科目＞

■情報メディアプロジェクト科目(選択) ■情報メディア基盤科目(選択)

■コンピュータ基礎・プログラミング科目(選択) ■理工系基礎科目

■メディアコンテンツ系科目 ■メディアコミュニケーション系科目

■自己発展科目

に設定された選択科目より 60 単位以上修得 (計 60 単位)

□科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位 30 単位修得

合計 124 単位修得

3) 履修モデル

前掲の【具体的な人材像】に基づき、履修モデルを資料として添付する。【資料2】参照

なお、1 年次から 2 年次年次に開講する「メディア数学 A、B、C」は、必修科目とはなっていないが、情報メディアの専門科目を学ぶ上で必須となる数学の基礎を学ぶ大切な科目であり、履修モデルを用い、学生に対して丁寧に履修指導を行うことで必ず履修させる計画である。

4) 履修科目の登録上限について

確実な学修とその定着を図るため、CAP 制を設定する。1 学期（1 セメスター）における履修登録の上限を 20 単位と定めることにより、確実な授業外学習（予習・復習）がなされるようにする。資格取得のための卒業単位数に含まれない科目、セメスター期間外の実習等については、「セッション科目」として扱うため上限の単位数にカウントしない。

5) 他大学における授業科目の履修について

他大学における授業科目の履修、単位認定については、大学設置基準に基づき本学が定めるルールに則り活用していく。但し、資格取得等に関わる科目については、その基準を満たしているか等、慎重に審査して行う。

6 企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的な計画

ア 実習先の確保の状況

情報理工学部情報メディア学科の「インターンシップ」は選択科目であり、履修者数は、入学定員の半数を想定しているため、【実習施設一覧】のとおり、50 名分の実習先を確保している。

【実習施設一覧】

授業科目	実習施設名	所在地	受入れ可能人数
インターンシップ	株式会社パスコ	東京都目黒区東山 1-1-2	1 名
	アールシーソリューション株式会社	東京都新宿区西新宿 8 丁目 1 4-2 1 双英ビル 3 階	1 名

インターンシップ	有限会社フューチャーベース	東京都町田市成瀬が丘 2-2-6 WERT 成瀬 3F	1 名
	株式会社 NSD	東京都千代田区神田淡路町 2-101 ワテラストワー	1 名
	株式会社 CIJ	神奈川県横浜市西区平沼 1-2-24 横浜 NT ビル	1 名
	株式会社アイレックス	東京都世田谷区池尻 3-1-3 MUTOH 池尻ビル	1 名
	アルテリア・ネットワークス株式会社	東京都港区新橋 6-9-8 住友不動産新橋ビル	1 名
	イーネット株式会社	東京都港区新橋 6-4-9 北海ビル新橋 5 階	1 名
	株式会社 S C C	東京都中野区中野 5-62-1	1 名
	株式会社エデルタ	東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 N S ビル 28 階	1 名
	沖昌エンジニアリング株式会社	東京都北区東十条 6 丁目 4 番 1 5 号	1 名
	カチシステムプロダクツ株式会社	東京都品川区東五反田 2-7-18 S O W A 五反田ビル 3F	1 名
	株式会社キーワードマーケティング	東京都中央区築地 7-2-1 THE TERRACE TSUKIJI 2F	1 名
	株式会社キューブシステム	東京都品川区大崎 2-11-1 大崎ウィズタワー	1 名
	共同印刷株式会社	東京都文京区小石川 4-14-12	1 名
	株式会社協和エクシオ	東京都渋谷区渋谷 3 丁目 29 番 20 号	1 名
	株式会社クライム	東京都中央区日本橋蛸殻町 1-36-7 蛸殻町千葉ビル 4F	1 名
	株式会社コア	東京都世田谷区三軒茶屋 1-22-3 コアビル	1 名
	国際通信企画株式会社	神奈川県横浜市港北区新横浜 1-19-2 京浜建物第 5 ビル	1 名
	株式会社コスモス	神奈川県横浜市神奈川区広台 太田町 4-21 トラストワンビル 22	1 名
	三和工機株式会社	東京都千代田区神田美倉町 12-2 三和ビル	1 名
	ジスクソフト株式会社	神奈川県川崎市中原区小杉町 1-403 武蔵小杉 STM ビル 3 階	1 名

インターンシップ	株式会社システム設計事務所	東京都千代田区富士見 2-4-3 朝日観光ビル 3F	1名
	株式会社ジャンガ・テック	千葉県千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデンB棟9階	1名
	株式会社ゼネット	東京都豊島区南池袋 2-30-17 朝日生命南池袋ビル2階	1名
	株式会社セントラルシステムズ	神奈川県横浜市中区住吉町 6-68-1 横浜関内地所ビル	1名
	株式会社ソルパック	東京都港区六本木 4-1-4 黒崎ビル8階	1名
	株式会社ダイヤコーポレーション	東京都中野区中野 2-2-4 ダイヤビル	1名
	株式会社DUE	東京都中央区日本橋小伝馬町 16-8 共同ビル6階	1名
	株式会社テクノ・セブン本社	東京都世田谷区池尻 3-1-3	1名
	株式会社東京システム技研	東京都新宿区西新宿 1-21 明宝ビル	1名
	株式会社東邦プラン	神奈川県川崎市幸町新塚越 201 ルリエ新川崎7F	1名
	株式会社東和コンピュータマネジメント	東京都千代田区東神田 2-5-12 龍角散ビル7F	1名
	株式会社トータルオーエーシステムズ	東京都新宿区西新宿 2-3-1 新宿モノリス6F	1名
	株式会社ナイスク	東京都千代田区三番町 1-5 石油保険ビルB1	1名
	内藤電誠工業株式会社	神奈川県川崎市中原区下沼部 1933	1名
	ナビオコンピュータ株式会社	東京都千代田区岩本町 2-7-1 ナビオビル	1名
	株式会社日本アシスト	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第2ビル6F	1名
	日本サード・パーティ株式会社	東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー14階	1名
	日本電算株式会社	東京都品川区上大崎 2-25-2 新目黒東急ビル13階	1名
	株式会社ハイマックス	神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-5 クイーンズタワーC棟16階	1名

インターンシップ	フォーシーズンズ株式会社	東京都中央区日本橋人形町 1-1-10 麻業会館 5 階	1 名
	富士インフォックス・ネット株式会社	東京都港区芝 5-13-15 芝三田森ビル 5F	1 名
	富士ゼロックスシステムサービス株式会社	東京都千代田区神田錦町 3-7-1 興和一橋ビル 5 階	1 名
	株式会社富士通コンピュータテクノロジー	神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1	1 名
	株式会社プラス	東京都港区芝浦 3-14-18	1 名
	株式会社ユーエスエス	東京都港区虎ノ門 3-12-1 ニッセイ虎ノ門ビル	1 名
	株式会社 Y S L ソリューション	神奈川県横浜市中区長者町 4-9-1 YS 関内ビル	1 名
	ワタキューセイモア株式会社	京都市下京区烏丸通高辻下ル薬師前町 707 烏丸シティ・コアビル 5F (インターンシップ実習は東京都内で実施予定)	1 名
	新光商事株式会社	東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー13F	1 名

イ 実習先との連携体制

実習にあたっては、担当教員と企業等の受入れ担当者との間で研修中の業務内容、指導方法、勤務管理（日誌）等を確認し、密接な連携・連絡・協議の下で協定を締結する。更に、担当教員は実習先と密接に連携を図り、実習の効果が上がるように実習中の研修に適宜配慮する。

ウ 成績評価体制及び単位認定方法

成績評価については、担当指導教員と受入れ先担当者の二者による共同評価体制をとり、実習事前レポート・実習報告書及び受入れ先担当者による「研修生評価表」を中心として、平時の評価とインターンシップ成果報告を総合的に評価して単位認定を行う。

7 入学者選抜の概要

1. アドミッション・ポリシー

【アドミッション・ポリシー】

『求める学生像』

情報理工学部情報メディア学科の教育目標を理解し、この目標を達成するために自ら学ぶ意欲をもった人材。

情報理工学部情報メディア学科で定められたディプロマ・ポリシーで、求められている能力を身につけられると期待できる基礎学力を十分有する人材。

『入学者にもとめる知識・技能・思考力・判断力・表現力・態度』

(1) 知識・技能

英語では、高校での英語の科目の履修を通して英語の文章理解力、表現力、コミュニケーション能力を身につけておくことが望ましい。

数学では、高校での数学の科目の履修を通して公式や計算方法を理解した上で、それらを応用できる能力を身に付けておくことが望ましい。

理科では、高校での理科（物理、化学、生物、地学）の科目の中から数科目を選択し、個々の項目の内容を理解していることが望ましい。

国語及び社会は、理系の学問を学ぶ上で必要な文化的な知識を幅広く理解していることが望ましい。

(2) 思考力・判断力・表現力

物事を論理的に志向する力、物事の良し悪しが判断できる力、自分の考えを相手に伝えられる表現力があることが望ましい。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

他人とグループワークを行なう際などに、相手に自分の考えを伝え、また相手の考えを聞き、ともに1つの目標に協力しようとする態度があることが望ましい。

2. 入学者選抜の概要

情報理工学部情報メディア学科の入学試験は、次のとおり予定している。

学校推薦による選抜入試としては、付属高等学校長の推薦に基づいて書類審査及び「小論文」の試験により選抜行う「付属学校推薦型選抜入学試験」、学校長の推薦に基づいて書類審査及び「小論文」、「面接試験（口述試験含む）」の試験により選抜を行う「公募制学校推薦型選抜入学試験」を実施する。

学力等による選抜入試としては、文系の3科目または理系の3科目を受験して高得点の2科目の結果で合否判定を行う「文系・理系学部統一選抜入学試験」、3教科の科目を受験して3科目の結果で合否判定を行う「一般選抜入学試験」、書類審査を経て大学入学共通テストの成績により合否判定を行う「大学入学共通テスト利用選抜入学試験」、書類審査及び課題発表、面接試験等により選抜を行う「総合型選抜入学試験」を行う。

なお、入学試験の募集定員全体の割合は、学校推薦による選抜入試 36%、学力等による選抜入試 64%である。

3. 入学者選抜の体制

入学試験における判定は、学長の責任・指揮のもと、学長を委員長、副学長、学部長、入学センター所長を副委員長とし、該当する学科の学科長等により構成される学部入試判定委員会によって実施される。

また、入試問題の作成は、入学試験の運営全体を統括する入試運営本部に設置される出題・採点本部の「入試問題作成部会」において行われる。入試問題作成部会は、「学科試験各科目」、「専門試験科目」、「実技試験科目」、「小論文」ごとに置かれ、その責任者及び委員は、出題・採点本部長から指名を受けた学部長の推薦に基づき、原則として専任講師以上の教員とし、学長が任命する体制となっている。

8 教員組織の編成の考え方及び特色

1. 専任教員組織

情報理工学部情報メディア学科の専任教員組織は、教授 6 名、准教授 3 名の 9 名で構成されており、完成年度における年齢構成は、40～49 歳 3 名、50～59 歳 3 名、60～64 歳 3 名となっている。

本学の定年齢は、「学校法人東海大学教職員定年規程」のとおりであり、完成年度までに定年を迎える教員はいない。**【資料3】参照**

完成年度後の教員組織の計画については、令和 7 年度の完成年度以降において、中堅・若手教員の教育・研究能力の育成を踏まえて昇格を目指し、開設時の教育水準の維持・向上を図る。

2. 教養科目の教員配置の考え方

本学においては、総合大学の強みを生かした文理融合の教育を進めており、教養科目については、各学部において運営するのではなく、センター等により行い、学部とは別の組織により運営を行っている。教養科目を構成する各科目については、学部の特色等にあわせて授業科目に教員を配置し、学生同士も学部や分野を越えてお互いに交わりながら、全学的に同一の授業形態にて授業を行う方法を実践する。このため、「Ⅰ現代文明論」、「Ⅱ現代教養科目」、「Ⅲ英語科目」については、原則として兼担兼任教員が担当する。なお、「Ⅱ現代教養科目」の「入門ゼミナール1・2」については、学部学科教育の導入を担う科目であるため、専任教員が担当する。

3. 専門科目の教員配置の考え方

専門科目についての考え方は、授業を行うにあたり最も適した研究や教育の実績がある教員が授業を行うことである。実習や演習科目、ゼミナール科目など、繊細かつ継続的な指導が必要な科目については、原則として専任教員が授業を実施し、履修者数を適切な人数で行

うことにより対応していく。基礎系の科目や幅広い視点を養うための科目等については、その分野で豊富な教育経験と研究の実績がある教員を優先して配置する。

「情報メディアプロジェクト科目」

情報メディア学科の教育の核をなす科目群であるため、全ての科目を専任教員が担当する。「情報メディアプロジェクト入門」、「情報メディアプロジェクト実践1・2」は専任教員が分担して担当する。「情報メディアゼミナール」、「情報メディア卒業プロジェクト1・2」は全専任教員が担当する。

「情報メディア基盤科目」

いずれの科目も専任教員が分担して担当する。

「コンピュータ基礎・プログラミング科目」

情報メディア学科の専門科目への接続という観点で重要な科目であるため、全ての科目を専任教員が分担して担当する。

「理工系基礎科目」

数学と物理の基礎を修得するために設置する科目であるため、本学の理学部等の専任教員が兼任教員として担当する。

「メディアコンテンツ系科目」

情報メディア学科の専門科目群であるため、全ての科目を専任教員が分担して担当する。適切な研究分野と教育力を持つ教員を配置する。

「メディアコミュニケーション系科目」

情報メディア学科の専門科目群であるため、全ての科目を専任教員が分担して担当する。適切な研究分野と教育力を持つ教員を配置する。

「自己発展科目」

「理工系の TOEIC(R) 入門・初級・中級」は学内の教員が兼任教員として担当する。「プレゼンテーション」、「インターンシップ」は専任教員が分担して担当する。

9 施設・設備等の整備計画

1. 校地、運動場の整備計画

情報理工学部情報メディア学科は、教育研究を湘南校舎（神奈川県平塚市）において行う。

湘南校舎の校地面積は 532,185.37 m²であり、多目的グラウンドをはじめ複数の運動場が整備されており、芝生広場「Palette パレット」などの学生の休息できる場所やその他の利用のための適当な空地も十分に確保されているため、新たな整備計画はない。

2. 校舎等施設の整備計画

校地校舎等の図面のとおり、湘南校舎において、19号館を中心として、専任教員研究室、コンピュータ室、教室、会議室等を専用・共用として確保しており、教育研究に支障はないため、新たな整備計画はない。

3. 図書等の資料及び図書館の整備計画

図書等の整備について、情報理工学部情報メディア学科の学問領域に関わる図書資料として、図書40,709冊を整備しており、教育研究に支障はない。引き続き開講科目及び周辺学問領域に関わる図書資料を幅広く収集して充実させる予定である。

学術雑誌については、プリント版ジャーナルと電子ジャーナルの2形態を整備する。「学術雑誌一覧」のとおり、多数の学術雑誌を整備しており教育研究に支障はない。**【資料4】参照**

また、既にオンライン・文献データベースが整備されており、学内の図書館をはじめ各施設、研究室、一部は学外から“SSL-VPN”を利用した24時間検索を実現している。

図書館の施設整備については、情報理工学部情報メディア学科の学生が利用する湘南校舎の図書館の面積は11,089㎡であり、閲覧室や東海大学蔵書検索システム（TIME-OPAC）を利用できる検索パソコンが既に整備され、教育研究に支障はないため、新たな整備計画はない。

なお、東海大学では、新型コロナウイルスの流行に伴い、遠隔授業が導入されたことを契機として、電子書籍を利用できる環境を整えている。具体的には、学生や教職員がさまざまな専門分野の基本的な内容に関する電子書籍を自由に閲覧できるサービスを目指し、丸善雄松堂株式会社の「Maruzen eBook Library」（<https://elib.maruzen.co.jp/>）において、各学部の教員が推薦した各分野の基礎的・入門的な図書の中から特に選出した約1550タイトルと、岩波書店発行の「岩波新書」、「岩波現代文庫」シリーズなど500タイトルが利用可能となっている。また、先に述べたオンライン・文献データベースにより、世界各国で刊行されている学術雑誌や国内外で発行されている主要新聞・雑誌類の記事、「世界大百科事典」「日本国語大辞典」「新英和大辞典」といった辞書類、地図データベースなど数多くのさまざまな情報を大学の付属図書館以外の場所から検索・閲覧できる環境が整えられている。

本学では、社会情勢の変化に対応した教育研究環境を整えるべく、教員や学生が必ずしも大学の付属図書館に来なくても、書籍や情報の検索・閲覧が可能となる「非来館型サービス」を拡充していく。

他大学図書館との連携について、本学は、私立大学図書館協会に加盟し、図書の相互貸借・文献の複写依頼のやり取りを中心に相互利用を積極的に展開している。また、国・公立大学並びに外部機関とも私立大学と変わらない連携・交流関係を確立している。その実績を生かし国立情報学研究所 NACSIS - ILL の ILL 文献複写等料金相殺サービスにも参画し、充実した相互協力を展開している。

神奈川県内では神奈川県図書館協会に加盟し、その下部組織である大学図書館協力委員会に参画し、県内の大学・短期大学図書館と共通閲覧証による館内における閲覧及び文献複写を原則とする相互利用により、活発な協力活動を展開している。今後は、同協会加盟の公共図書館、専門図書館と館種を超えた幅広い相互協力活動の展開への可能性も高まり、活発な協力活動を展開する計画である。

10 管理運営

情報理工学部情報メディア学科の管理運営は、基本的には情報理工学部教授会によってなされる。教授会は「東海大学学部教授会規程」に従い、通常、月1回開催され、その構成員は教授、准教授、講師及び助教であるが、必要に応じてその他の教職員を加えることができる。教授会は学部長がこれを招集し、その議長となるが、このとき構成員の3分の2以上の出席がなければ成立しない。また、その議決は、出席人員の過半数の賛成を要する。

なお、教授会では次のことを審議することで実際の学部運営を行っている。

- (1) 研究及び教育に関する事項
- (2) 学生の入学、卒業、学位の授与に関する事項
- (3) 学生の学籍異動に関する事項
- (4) 教務及び学生生活に関する事項
- (5) その他必要と認められる事項

また、情報理工学部には、教育・研究及び管理運営の質的向上を図るために必要な事項の検討・点検・評価活動に関する「評価委員会」、教務事項に関する「教務委員会」、FD活動の推進に関する「FD委員会」、広報活動の充実に関する「広報委員会」が設置され、これら委員会は、学部長及び教授会との連携と機能分担がなされる。

11 自己点検・評価

東海大学は、学長の諮問機関として東海大学評価委員会が設置され、大学の自己点検・評価を行いながら、その結果に基づいて各種教学改革の提言を行っている。

各学部には、学部評価委員会が設置されており、ここで自己点検・評価を行うことになる。東海大学で実施している自己点検・評価活動は、機関点検・評価と教員個人の総合的業績評価に大別することができる。

1. 機関点検・評価

機関点検・評価は、学部・研究科等を単位として、各教育機関が、東海大学全体の中期目標・計画に沿って、学部・研究科の中期目標・計画を立て、ミッション・シェアリング・シート（5年計画で学部・研究科の教育研究改革、改善の目標と手段を明記した書類）に記載することから始まる。

このミッション・シェアリング・シート記載項目の達成度や問題点について、各学部・研究科が毎年度末に自己点検・評価を行った後、学部・研究科の相互評価に付され、さらに大学評価委員会によって最終的な評価が行われて学長に報告される。

また別途、大学基準協会が定めた点検・評価項目に従った自己点検評価報告書も作成している。学長は、これに基づいて、翌年の改革改善を指揮する流れが作られている。

2. 教員個人の総合的業績評価

本学では、教員個人が、その活動状況について Web を利用して登録することが定めら

れており、登録された活動状況について、総合的業績評価システムによって評価を行う。主たる評価項目は、①研究活動、②教育活動、③学内外活動の3項目である。

研究活動については論文・著書の執筆、学会等発表状況を、教育活動については学部における教育活動、学内外活動については各種の学内運営業務の担当状況、学外における学会活動、審議会等学外の委員受託、地域貢献活動などが評価対象となる。これらは、教員の所属学部で毎年総合評価を受ける。

3. 認証評価及び大学全体の自己点検・評価

東海大学は、学部・大学院について、平成29（2017）年度に財団法人大学基準協会による認証評価を受審し、「適合」の判定を得た。次回の認証評価は、令和6（2024）年度が予定されている。財団法人大学基準協会の認証評価とともに、東海大学は、大学全体の自己・点検評価を、前記1及び2などを取り入れながら毎年度実施しており、毎年度「教育研究年報」を大学のオフィシャルホームページに掲載して公表している。

12 情報の公表

本学は、学校教育法第113条及び学校教育法施行規則第172条の2に基づき、以下のとおり、各学部及び大学院各研究科における教育研究活動等の状況について、本学のオフィシャルサイトにより、広く社会に向けて開示している。

ア 大学の教育研究上の目的に関すること

本学では、大学院、学部における教育研究上の目的を、それぞれ各学則に定めており、オフィシャルサイトの＜大学の概要＞において、「学則」の条文中の別表として公表している。

【オフィシャルサイト】<http://www.u-tokai.ac.jp>

「教育研究上の目的」：トップ＞大学の概要＞学則

イ 教育研究上の基本組織に関すること

本学の教育研究上の基本組織については、オフィシャルサイト＜大学の概要＞において、「教育・研究組織について」として、各事務部門の組織名称と併せて学部及び研究科の名称を公表している。なお、学部・学科及び研究科・専攻の名称については、オフィシャルサイトの＜教育・研究＞＜学部・学科＞、＜大学院＞において公表している。

【オフィシャルサイト】<http://www.u-tokai.ac.jp>

「教育・研究組織」の名称

トップ＞大学の概要＞教育・研究組織について

「各学部」の名称

トップ＞教育・研究＞＜学部・学科＞及び＜大学院＞

ウ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

本学においては、昭和59年度より、年度ごとの教育研究活動の客観的事実を広く社会に

報告することを目的に「東海大学教育研究年報」を年 1 回編集・発行しており、その中で教員組織に関する情報も公表してきている。教育研究年報がオフィシャルサイトトップページの<大学の概要><(大学の取り組み) 教育研究年報>において、「教育研究年報」として閲覧できるようになっており、専任教員数及び専任教員の年齢構成については、オフィシャルサイトトップページの<各種情報・お問い合わせ>情報の公表>(教育研究上の情報)>において、公表している。

また、各教員が有する学位及び業績に関する情報については、オフィシャルサイトトップページの<教育・研究><学部・学科>、<大学院>のページにおいて、各学部・学科及び研究科・専攻のトップページの「教員紹介」として公表している。なお、各教員の研究活動情報については、オフィシャルサイトトップページの<教育・研究><研究支援・体制>において、「研究活動・ライセンス検索」から検索ができるようになっている。

【オフィシャルサイト】 <http://www.u-tokai.ac.jp>

「教員組織等」

トップ>各種情報・お問い合わせ>情報の公表>年齢別教員数

「教員が有する学位及び業績」

トップ>各種情報・お問い合わせ>情報の公表>学部・学科>各

学部・学科(各研究科・専攻) トップ>教員紹介「ResearchMap」

トップ>教育・研究>研究支援・体制>研究活動・ライセンス検

索>教員研究活動情報の検索

エ 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

入学者に関する受入方針については、オフィシャルサイトトップページの<大学の概要>理念・歴史>教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー>に「アドミッション・ポリシー」として掲載している。入学者の数、収容定員及び在学する学生の数については、オフィシャルサイトトップページの<各種情報・お問い合わせ>情報の公表><収容定員>において、「学生数」として公表している。また、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況については、オフィシャルサイトトップページの<各種情報・お問い合わせ>情報の公表>就職者数において公表している。また、本学では、「就職指導も教育の一環」という理念に基づいて、全学的な就職支援体制を構築している。

【オフィシャルサイト】 <http://www.u-tokai.ac.jp>

「入学者に関する受入方針」

トップ>大学の概要>(理念・歴史) 教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー

「入学者の数、収容定員及び在学する学生の数」

トップ>各種情報・お問い合わせ>情報の公表>収容定員

「卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況」

トップ>各種情報・お問い合わせ>情報の公表>就職者数

オ 授業科目，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

本学では、授業の概要情報と、授業の基本・詳細情報を合わせてシラバスと称し、シラバスデータベースシステムは、授業内容や授業計画を網羅したシステムとなっている。学生の授業選択を強力にサポートする豊富な検索機能と、学習を進める上で有効となる最新の情報を提供しており、オフィシャルサイトトップページの＜各種情報・お問い合わせ＞＜情報の公表＞（授業について）シラバス又は年間授業計画の概要＞においてシラバスを公表している。

【オフィシャルサイト】 <http://www.u-tokai.ac.jp>

「学部・学科」、「研究科専攻」のシラバス

トップ＞各種情報・お問い合わせ＞情報の公表＞（授業について）シラバス又は年間授業計画の概要＞授業内容・計画（シラバス）

カ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

学修の成果に係る評価等、大学設置基準等において、学生に明示することとされている事項については、オフィシャルサイトトップページの＜教育・研究＞＜学部・学科＞、＜大学院＞のページにおいて、各学部・学科及び研究科・専攻のトップページの「カリキュラム」として公表している。

【オフィシャルサイト】 <http://www.u-tokai.ac.jp>

「学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準（学部・学科）」

トップ＞教育・研究＞[学部・学科]、[大学院]＞各学部・学科・専攻・課程・研究科トップ＞カリキュラム

キ 校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

校地・校舎等の施設等については、オフィシャルサイトトップページにおいて、「各種情報お問い合わせ＞情報の公表＞（学校法人東海大学 情報公開）校地・校舎面積・耐震化率として公表している。

【オフィシャルサイト】 <http://www.u-tokai.ac.jp>

「学生の教育研究環境等」：トップ＞各種情報・お問い合わせ＞情報の公表＞（学校法人東海大学 情報公開）校地・校舎面積・耐震化率

ク 授業料，入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

授業料等については、オフィシャルサイトトップページの＜受験・入学案内＞において、「学部・学科学費」及び「大学院学費」として公表している。

【オフィシャルサイト】 <http://www.u-tokai.ac.jp>

「授業料、入学料その他の大学が徴収する費用」

トップ＞受験・入学案内＞学部・学科学費、大学院学費

ケ 大学が行う学生の修学，進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

大学が行う学生の各種支援に関することについては、オフィシャルサイトトップページの＜学生生活＞及び＜キャリア・就職＞において、それぞれ公表している。また、教育支援センターでは、東海大学が進めている教育改革を推進するために、すべての学生の目線に立ち、全学の組織的な教育改善計画（Faculty Development）を開発し、教育の質と教育力の向上を支援しており、大学のオフィシャルサイトとは別に教育支援センターサイトを開設し、その取り組みを公表している。

さらに、健康推進センターでは、病気の早期発見や健康の保持増進に努め、学生及び教職員が心身ともに健康で快適なキャンパスライフを送れるようサポートし、オフィシャルサイトでその取り組みを公表している。

【オフィシャルサイト】 <http://www.u-tokai.ac.jp>

「修学支援」：トップ＞学生生活＞学生生活サポート

「進路選択支援」：トップ＞学生生活＞キャリア就職

「心身の健康等に係る支援」：トップ＞学生生活＞教育支援組織＞健康推進センター

【教育支援センターサイト】 <http://jpn.esc.u-tokai.ac.jp>

【健康推進センターサイト】 <http://www.tsc.u-tokai.ac.jp/pubhome/hokenc>

コ その他（教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報、学則等各種規程、設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況等報告書、自己点検・評価報告書、認定評価の結果 等）

本学における「アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）」、「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）」、「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」については、オフィシャルサイトトップページの＜大学の概要＞において、「教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー」として掲載している。

学則については、オフィシャルサイトトップページの＜大学の概要＞において、「学則」として、東海大学大学院学則、東海大学学則を、それぞれ掲載している。

設置認可申請書・設置届出書及び設置計画履行状況報告書については、オフィシャルサイトトップページの＜大学の概要＞において掲載している。

本学における自己点検評価活動、及び平成29年度に受審した第三者評価の結果については、オフィシャルサイトトップページの＜大学の概要＞＜学則・コンプライアンス＞＜において、「自己点検評価活動」として掲載している。

【オフィシャルサイト】 <http://www.u-tokai.ac.jp>

「アドミッション・カリキュラム・アカデミックポリシー」

トップ＞大学の概要＞教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー

「学則」

トップ＞大学の概要＞学則

「設置認可申請書・設置届出書及び設置計画履行状況報告書」

トップ＞各種情報・お問い合わせ＞情報の公表＞学部、研究科等に係る「設置申請・届出書」及び「設置計画履行状況報告書」

1 3 教育内容等の改善のための組織的な研修等

1. 教育支援センターによる全学実施体制

東海大学は、組織的・継続的なFD活動を推進する部署として、東海大学教育支援センターを設置している。教育支援センターでは、各年度に複数回、教育活動の活性化を図ることを目的に、学外から講師を招き、全学共通の内容を盛り込んだ「FD・SD研修会」を開催している。例年、年度において3回開催しており、この研修会において、教員だけでなく、事務職員や技術職員などの大学職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な研修を実施している。

2. 各学部の取り組み

情報理工学部情報メディア学科では、主専攻科目において授業アンケートを実施し、学生の理解度、講義形態に対する意見、学生・教員間のコミュニケーションの評価、などの意見を学期毎に集め、次の講義にどのように改良していくのかについて、シラバスにおいても記載し、授業内容及び方法の改善についてPDCAのサイクルを実施する。

情報理工学部にはFD委員会を組織し、学士課程教育内容の改善を目標とした活動を実施する。活動内容は、多様な学修歴をもつ新生に対応するため初年次開講の専門基礎科目について、学生の履修履歴や学力実態に即した授業内容の組織的改善を行なうとともに、大学生活全般への導入、学部・学科に関する理解を深め専門分野への勉学の意欲を高めるための初年次をターゲットとしたFD研究会を実施する。さらにFD委員会では、授業公開を促進させ、授業の内容について、幅広く他の教員からの意見を聞き、以降の講義へ反映させる試みを継続的に行う。また、FDの講演会を定期的に開催し、多様な学生の気質の理解や、個々の教科における学生理解度の評価手法などについて理解を深める。活動としては、年度間において複数回のFD研究会を実施し、情報理工学部所属教員による担当授業の改善報告やFDの講演会を開催し、講師として、優れた授業を行う教員を大学として表彰する「東海大学Teaching Award」の受賞教員や授業改善に知見のある学外教員等を迎える計画である。

なお、学部においてMSS (Mission Sharing Sheet) を定義し、その中に授業内容・方法の改善に向けた個々の試みを登録し、学期毎にチェックすることにより、PDCAサイクルを実現する。

1 4 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

1. 教育課程内の取組について

本学においては、現代市民として身につけるべき教養を修得するための方策として「パブリック・アチーブメント型教育」の導入を掲げている。「パブリック・アチーブメント」とは、

米国では、立場や状況の異なる市民が社会で共存するためのルールを作り、環境整備を行う中で、若者が社会活動をととして民主社会における市民性を獲得していくための実践及びそのための組織と学習プログラムを意味している。

日本という成熟した社会における若者の自己中心主義・政治的無関心・無気力感を克服し、「地域」の課題への取り組みをテーマとする科目を教養科目に開設し、ここで育てた問題意識や目的意識のもと専門教育へと展開し、教養教育と専門教育の融合・発展と、その相乗効果による教育効果の向上を行うことにより、社会的・職業的自立を目指している。そのことを踏まえ、情報理工学部情報メディア学科においては、社会や人に寄与する学生一人ひとりの知的な意欲や使命観を喚起し、倫理観や人間力を自らが身に付けようとする姿勢を養うことを目指す「情報メディア概論A」、現代社会が抱える様々な課題の解決に必要とされる「創造性」と「実践力」を身に付けることを目的とする「情報メディアプロジェクト科目群」、将来社会に出て活動する現場を実際に体験することにより自身の卒業後のキャリアについて考える「インターンシップ」を開講し、社会的、職業的な自立につなげる。

2. 教育課程外の取組について

本学に在籍している学生全てに門戸が開かれているチャレンジセンターの「チャレンジプロジェクト」により、本学が実践している4つの力「自ら考える力・集い力・挑み力・成し遂げ力」を身につける活動を行っている。これは、学生が活動を企画・運営し、目標の達成を目指す課外活動であり、地域活性化、ボランティア等多様な活動を学生自身の手で展開している。

3. 適切な体制の整備について

教育課程については、東海大学教育審議会を柱として、パブリック・アチーブメント型教育の方向性を定め、現代教養センター・地域連携を担うT o - C o l l a b oを軸に運営を行っている。さらに、各学部・学科においては、専門科目へパブリック・アチーブメント型教育を展開している。また、教育課程外の活動についてはチャレンジセンターを中心に行っており、この双方の広がりから、地域連携を担うT o - C o l l a b oにより、実際に地域との連携する教育研究活動という形で、実践的な教育活動と学生の活動の場を維持している。

以 上

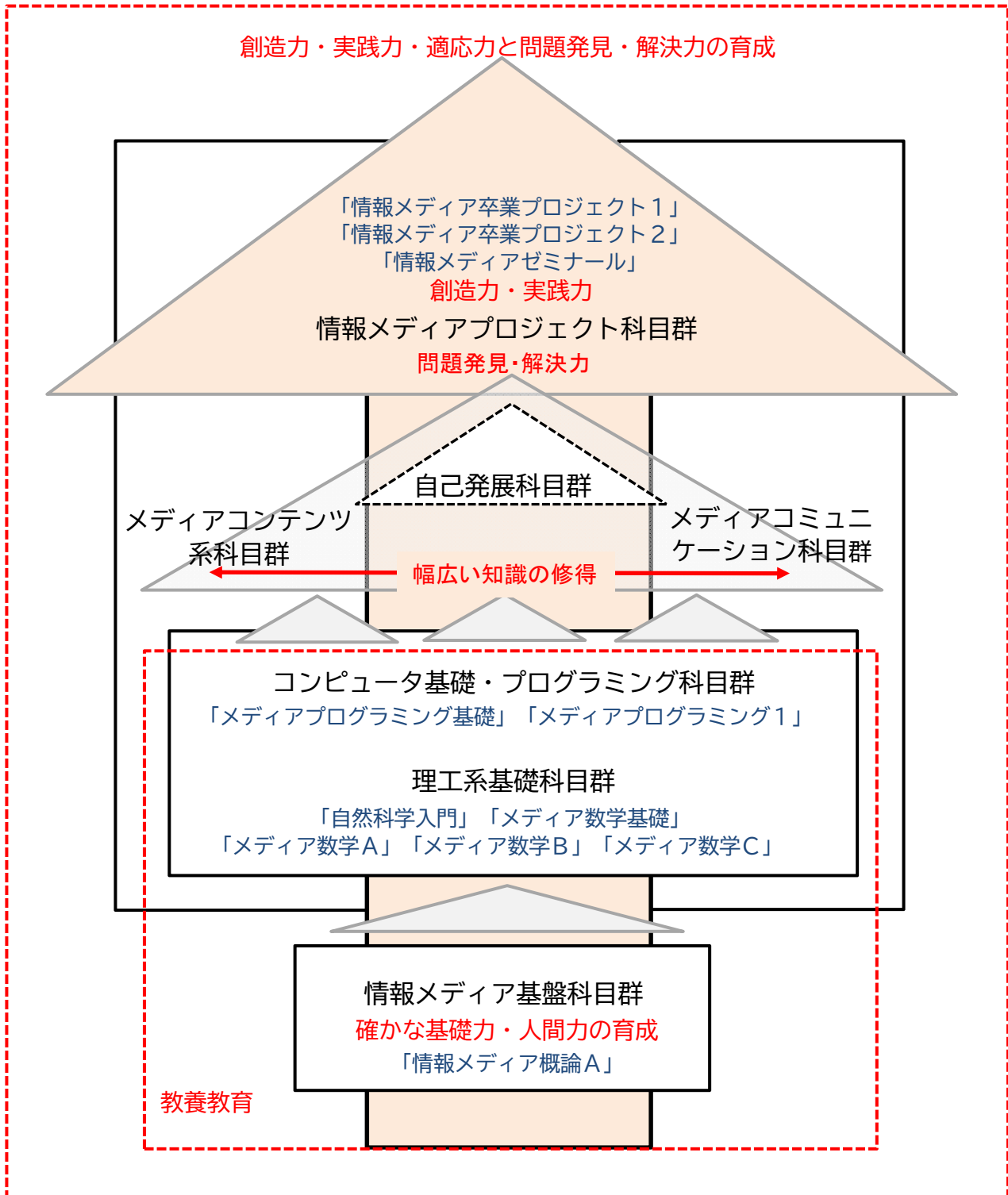
設置の趣旨等を記載した書類
情報理工学部情報メディア学科

【資料目次】

- 資料1 「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」と教育課程との関連図
…p. 2
- 資料2 履修モデル…p. 3
- 資料3 学校法人東海大学教職員定年規程…p. 5
- 資料4 学術雑誌一覧…p. 7

情報理工学部情報メディア学科

「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」と教育課程との関連図



履修モデル：情報理工学部情報メディア学科 【具体的な人材像】メディアコンテンツの専門知識を有するコンテンツクリエイター

科目区分	1 年次				2 年次				3 年次				4 年次			
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
I 現代文明論					現代文明論	2										
II 現代教養科目	入門ゼミナールA	2	入門ゼミナールB	2			現代教養講義	2								
	シティズンシップ	2	地域・国際理解	2												
	健康・フィットネス理論実習	1	生涯スポーツ理論実習	1												
III 英語科目	英語リスニング&スピーキング	2	英語リーディング&ライティング	2												
IV 主専攻科目	情報メディア概論A	2	情報メディアプロジェクト入門	2	情報メディアプロジェクト実践1	2	情報メディアプロジェクト実践1	2	情報メディア社会論	2	情報メディアゼミナール	2	情報メディア卒業プロジェクト1	4	情報メディア卒業プロジェクト2	4
	情報メディア基礎テクノロジー1	2	情報メディア概論B	2	メディアプログラミング2A	2	AIとデータサイエンス1	2	AIとデータサイエンス2	2	情報メディア先端技術論	2				
	メディアプログラミング基礎	2	情報メディア基礎テクノロジー2	2	メディアプログラミング2B	2	メディアコンテンツ基幹講義・演習A	2	メディアコンテンツ発展講義・演習A	2	メディアコンテンツ応用実習	2				
	コンピュータリテラシー	2	メディアプログラミング1	2	メディア数学C	2	メディアコンテンツ基幹講義・演習B	2	メディアコンテンツ発展講義・演習B	2	メディアコミュニケーション応用実習	2				
	メディア数学基礎	2	メディア数学A	2	メディアコンテンツ基本講義・演習A	2	メディアコンテンツ基幹講義・演習C	2	メディアコンテンツ発展講義・演習C	2	理工系のTOEIC®中級	2				
	自然科学入門	2	メディア数学B	2	メディアコンテンツ基本講義・演習B	2	メディアコミュニケーション基幹講義・演習A	2	メディアコミュニケーション発展講義・演習A	2	インターンシップ	2				
					メディアコミュニケーション基本講義・演習A	2	メディアコミュニケーション基幹講義・演習B	2	メディアコミュニケーション発展講義・演習B	2	データサイエンス基礎	2				
					メディアコミュニケーション基本講義・演習B	2	理工系のTOEIC(R)入門	2	理工系のTOEIC®初級	2	プログラミング基礎	2				
					プレゼンテーション	2	社会情報概論	2	社会情報実践	2	プログラミング応用	2				
									データサイエンス入門	2						
単位数合計		19		19		20		20		20		18		4		4
																124

履修モデル：情報理工学部情報メディア学科 【具体的な人材像】メディアコミュニケーションの専門知識を有するICTエンジニア

科目区分	1 年次				2 年次				3 年次				4 年次			
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
I 現代文明論					現代文明論	2										
II 現代教養科目	入門ゼミナールA	2	入門ゼミナールB	2			現代教養講義	2								
	シティズンシップ	2	地域・国際理解	2												
	健康・フィットネス理論実習	1	生涯スポーツ理論実習	1												
III 英語科目	英語リスニング&スピーキング	2	英語リーディング&ライティング	2												
IV 主専攻科目	情報メディア概論A	2	情報メディアプロジェクト入門	2	情報メディアプロジェクト実践1	2	情報メディアプロジェクト実践1	2	情報メディア社会論	2	情報メディアゼミナール	2	情報メディア卒業プロジェクト1	4	情報メディア卒業プロジェクト2	4
	情報メディア基礎テクノロジー1	2	情報メディア概論B	2	メディアプログラミング2A	2	AIとデータサイエンス1	2	AIとデータサイエンス2	2	情報メディア先端技術論	2	人工知能	2		
	メディアプログラミング基礎	2	情報メディア基礎テクノロジー2	2	メディアプログラミング2B	2	メディアコンテンツ基幹講義・演習A	2	メディアコンテンツ発展講義・演習A	2	メディアコンテンツ応用実習	2				
	コンピュータリテラシー	2	メディアプログラミング1	2	メディア数学C	2	メディアコンテンツ基幹講義・演習B	2	メディアコンテンツ発展講義・演習B	2	メディアコミュニケーション応用実習	2				
	メディア数学基礎	2	メディア数学A	2	メディアコンテンツ基幹講義・演習A	2	メディアコンテンツ基幹講義・演習C	2	メディアコンテンツ発展講義・演習C	2	理工系のTOEIC®中級	2				
	自然科学入門	2	メディア数学B	2	メディアコンテンツ基幹講義・演習B	2	メディアコミュニケーション基幹講義・演習A	2	メディアコミュニケーション発展講義・演習A	2	インターンシップ	2				
					メディアコミュニケーション基幹講義・演習A	2	メディアコミュニケーション基幹講義・演習B	2	メディアコミュニケーション発展講義・演習B	2	情報セキュリティ概論	2				
					メディアコミュニケーション基幹講義・演習B	2	理工系のTOEIC(R)入門	2	理工系のTOEIC®初級	2	情報テクノロジー概論	2				
					プレゼンテーション	2	社会情報概論	2	社会情報実践	2	データサイエンス基礎	2				
									データサイエンス入門	2						
単位数合計		19		19		20		20		20		18		6		4
																126

(制定 昭和28年6月1日)

改訂 昭和43年4月1日 昭和63年4月1日
 1991年6月17日 1994年4月1日
 2000年4月1日 2003年4月1日
 2004年4月1日 2006年4月1日
 2007年4月1日 2011年4月1日
 2012年4月1日 2013年4月1日
 2017年4月1日

第1条 学校法人東海大学に勤務する専任の教職員の定年は、次のとおりとする。

教員

職種	区分	身分	資格	定年齢
教員	大学院・大学 短大・研究所等		教授	65
			准教授・講師・ 助教・助手	62
	高等学校・中等部 小学校・幼稚園	教諭・養護教諭 司書教諭	上級職1種・2種	65
			中級職1種・2種	62
			一般職1種	62
		助教諭	一般職2種	60
	2004年4月1日以後の採用者	教諭・養護教諭 司書教諭	一般職1種	60

職能資格制度を適用する職員

職種	区分	身分	資格	定年齢
職員	事務		参与・副参与 参事・副参事	65
			主事・副主事	62
			主査・職員一級 職員二級	60
	技術		主席技師・主任技師 技師	65
			技師補・上級技術員	62
			一級技術員・技術員 初級技術員	60
	看護		1等級～4等級	65
			5等級～7等級	62
			8等級以下	60
	保健		主席保健技術員・副主席保健技術員・主任保健技術員	65

			上級保健技術員一・上級保健技術員二	62
			中級保健技術員・保健技術員・初級保健技術員	60

職能資格制度を適用しない職員

職種	区分	身分	資格	定年齢
職員	船舶		船長・機関長	65
			一等航海士，一等機関士，通信長，事務長，次席一等航海士，次席一等機関士，二等航海士，二等機関士，次席二等航海士，次席二等機関士，三等航海士，三等機関士，次席三等航海士，次席三等機関士，小型舟艇船長，小型舟艇機関長，小型舟艇甲板長，甲板長，操機長，司厨長	62
			操舵手，操機手，調理手，甲板員，機関員，司厨員	60
	その他		課長職以上の管理職	65
			上記以外の役職	62
			上記以外の職員	60

第2条 定年による退職は，定年に達した日の属する年度末日とする。

第3条 定年令の計算は，「年令計算ニ関スル法律」及び「民法」第143条による。ただし，2000年3月31日までに採用された教職員についてはこれを適用しない。

第4条 教育上又は経営上必要と認めた者については，第1条の規定を適用しない。

第5条 「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」により定年退職後に継続雇用する場合は，「学校法人東海大学大学・短大非常勤教員規程」，「学校法人東海大学初等中等教育機関非常勤講師規程」及び「学校法人東海大学臨時職員規程」を適用する。なお，継続雇用における条件については，「学校法人東海大学高齢者継続雇用運用細則」による。

付 則

- 1 この規程は，昭和28年6月1日から施行する。
- 2 この規程の施行にあたって必要な細則については，別に定める。

付 則（2017年4月1日）

この規程は，2017年4月1日から施行する。

学術雑誌一覧

情報理工学部情報メディア学科

No.	誌名（国内雑誌）
1	日経コンピュータ = Nikkei computer.
2	情報処理学会研究報告. SLDM, システムLSI設計技術 / 情報処理学会 [編].
3	情報処理学会研究報告. DD, デジタル・ドキュメント / 情報処理学会.
4	情報処理学会研究報告. MBL, [モバイルコンピューティングとワイヤレス通信] / 情報処理学会 [編].
5	情報処理学会研究報告. CSEC, コンピュータセキュリティ / 情報処理学会 [編].
6	情報処理学会研究報告. ITS, 高度交通システム / 情報処理学会 [編].
7	情報処理学会研究報告. 自然言語処理研究会報告 / 情報処理学会.
8	情報処理学会研究報告. [システムソフトウェアとオペレーティング・システム] / 情報処理学会.
9	情報処理学会研究報告. SLP, 音声言語情報処理 / 情報処理学会 [編].
10	情報処理学会研究報告. ソフトウェア工学研究会報告 / 情報処理学会.
11	情報処理学会研究報告. 情報システムと社会環境研究報告 / 情報処理学会 [編].
12	情報処理学会研究報告. オーディオビジュアル複合情報処理 / 情報処理学会.
13	情報処理学会研究報告. EVA, システム評価 / 情報処理学会 [編].
14	情報処理学会研究報告. HPC, [ハイパフォーマンスコンピューティング研究報告] / 情報処理学会 [編].
15	情報処理学会研究報告. 計算機アーキテクチャ研究会報告 / 情報処理学会.
16	情報処理学会研究報告. AL, アルゴリズム研究会報告 / 情報処理学会.
17	情報処理学会研究報告. コンピュータと教育研究会報告 / 情報処理学会.
18	情報処理学会研究報告. ICS, 知能と複雑系 / 情報処理学会 [編].
19	情報処理学会研究報告. グラフィクスとCAD研究会報告 / 情報処理学会 [編].
20	情報処理学会研究報告. CVIM, コンピュータビジョンとイメージメディア / 情報処理学会 [編].
21	情報処理学会研究報告. MPS, 数理モデル化と問題解決研究報告 / 情報処理学会.
22	情報処理学会研究報告. マルチメディア通信と分散処理研究会報告 / 情報処理学会.
23	情報処理学会研究報告. 音楽情報科学 / 情報処理学会.
24	情報処理学会研究報告. GN, [グループウェアとネットワークサービス研究報告] / 情報処理学会 [編].
25	情報処理学会研究報告. GI, ゲーム情報学 / 情報処理学会 [編].
26	情報処理学会研究報告. 人文科学とコンピュータ研究会報告 / 情報処理学会.
27	情報処理学会研究報告. EIP, 電子化知的財産・社会基盤 / 情報処理学会 [編].
28	情報処理学会研究報告. DSM, [分散システム/インターネット運用技術] / 情報処理学会 [編].
29	情報処理学会研究報告. HI, ヒューマンインタフェース研究会報告 / 情報処理学会.
30	情報処理学会研究報告. データベース・システム研究会報告 / 情報処理学会.
31	情報処理学会研究報告. 情報学基礎研究会報告 / 情報処理学会.
32	情報処理学会研究報告. QAI, [高品質インターネット] / 情報処理学会 [編].
33	インターネット白書 = Internet white book / 日本インターネット協会編.
34	情報問題研究 / 情報問題研究会 [編集].

35	東海大学紀要. 電子情報学部 = Proceedings of the School of Information Technology and Electronics, Tokai University.
36	電子情報通信学会技術研究報告. DC, ディペンダブルコンピューティング : IEICE technical report / 電子情報通信学会 [編].
37	コンピュータユーザー調査年報.
38	ネットビジネス会社年鑑. 企業編.
39	ネットビジネス会社年鑑. 決算編.
40	情報処理学会研究報告. MBL, [モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会研究報告] = IPSJ SIG technical reports / 情報処理学会[編].
41	デジタルアーカイブ白書 = Digital archives white paper.
42	組込みプレス = Embedded software press.
43	情報処理学会研究報告. HCI, ヒューマンコンピュータインタラクション研究会報告 = IPSJ SIG technical reports / 情報処理学会.
44	情報処理学会論文誌. ハイパフォーマンズコンピューティングシステム / 情報処理学会 [ハイパフォーマンズコンピューティングシステム研究会論文誌編集委員会].
45	情報処理学会論文誌. 数理モデル化と応用 / 情報処理学会 [編].
46	情報処理学会論文誌. コンピュータビジョンとイメージメディア / 情報処理学会 [コンピュータビジョンとイメージメディア研究会論文誌編集委員会] [編].
47	情報処理学会論文誌. データベース / 情報処理学会 [編].
48	情報処理学会論文誌. プログラミング.
49	情報処理学会論文誌. コンピューティングシステム / 情報処理学会 [コンピューティングシステム編集委員会].
50	情報処理学会論文誌トランザクション / 情報処理学会 [編].
51	情報処理学会研究報告. IOT, [インターネットと運用技術] = IPSJ SIG Technical Reports / 情報処理学会 [編].
52	情報処理学会研究報告 / 情報処理学会.
53	情報処理学会デジタルプラクティス = Journal of digital practices / デジタルプラクティス編集委員会 [編].
54	Software design = ソフトウェアデザイン.
55	Web+DB press = ウェブDBプレス.
56	IBM review / 日本アイ・ビー・エム.
57	I/O / 日本マイクロコンピュータ連盟.
58	サンケン技報 = Sanken technical report.
59	エレクトロニクス : 電子雑誌.
60	エレクトロニクスダイジェスト = Electronics digest.
61	エレクトロニシアン / 小峰工業技術.
62	National technical report / 松下電器産業 [編].
63	日置技報 / 日置電機株式会社.
64	画像電子学会誌 = The journal of the Institute of Image Electronics Engineers of Japan / 画像電子学会 [編].
65	国際通信の研究 / 国際電信電話株式会社.
66	真空 : journal of the Vacuum Society of Japan / 真空協会 [編].

67	通信工業 / 通信機械工業会 [編集] = / Communication Industries Association of Japan.
68	スペクトラム / 電子通信学会 [編].
69	電子顕微鏡 = Electron microscopy / 日本電子顕微鏡学会.
70	研究期報 / 九州電力株式会社総合研究所.
71	テレビジョン学会誌.
72	電気通信學會雜誌 = The journal of the Institute of Electrical Communication Engineers of Japan / 電気通信學會.
73	電気通信研究所研究実用化報告 / 日本電信電話公社電気通信研究所 = Electrical Communication Laboratory technical journal / the Electrical Communication Laboratory, Nippon Telegraph and Telephone Public Corporation.
74	電気通信研究所研究実用化報告. 別冊 / 日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所.
75	電子 = Denshi / 電子機械工業会 [編].
76	電子科学 : 科学技術展望.
77	電子技術 / 日刊工業新聞社 [編].
78	電子計測 : denshi keisoku series / 電子機械工業会電子計測器技術委員会編集.
79	電子顕微鏡 / 電子顕微鏡學會.
80	電子材料 = Electronic Materials and Parts / 工業調査会 [編] ; 日本電子材料技術協会監修.
81	電子写真 / 電子写真学会.
82	電子通信学会雑誌 / 電子通信学会 [編].
83	電子通信学会誌 = The journal of the Institute of Electronics and Communication Engineers of Japan / 電子通信学会.
84	電子通信学会論文誌. A / 電子通信学会 = The transactions of the Institute of Electronics and Communication Engineers of Japan. A / the Institute of Electronics and Communication Engineers of Japan.
85	電子通信学会論文誌. B.
86	電子通信学会論文誌. C.
87	電子通信学会論文誌. D.
88	電子展望.
89	電波科學.
90	東芝レビュー = Toshiba review.
91	研究期報 / 東北電力株式会社.
92	東洋通信機技報 = Toyo technical report.
93	東洋電機技報.
94	日経エレクトロニクス = Nikkei electronics / 日経マグローヒル社.
95	電力工学海外論抄 / 海外論抄刊行会.
96	電機 : 日本電機工業會月報 : Nippon Electric Machine Industry Association monthly report.
97	半導体研究所報告 / 半導体研究振興会.
98	技術新論 / 電気日本社.
99	放送技術 / 日本放送協会技術研究所 [編].
100	松下電工技報 / 松下電工株式会社技術総務部.
101	三菱電機技報 : Mitsubishi Denki giho.

102	横河技報 = Yokogawa technical report / 横河電機製作所 [編].
103	電子写真学会誌 / 電子写真学会.
104	電子工業 = Electronics.
105	照明学会誌.
106	電気試験所第一部彙報 / 電気試験所.
107	研究期報. 技術研究編 / 四国電力株式会社.
108	研究期報 / 四国電力株式会社.
109	電子通信スペクトラム / 電子通信学会 [編].
110	大日本電線時報 = Dainichi Nippon Cables review.
111	電気雑誌OHM.
112	電気協會雜誌 : Denki Kyokai zasshi / 日本電気協會.
113	富士時報 / 富士時報編集部.
114	Fujitsu / 富士通信機製造株式會社 [編].
115	電算機利用に関するシンポジウム講演概要 / 土木学会.
116	NEC技報 = NEC technical journal.
117	日通工技報 / 日本通信工業 [編].
118	電線時報 / 日本電線工業会, 19
119	電子技術総合研究所年報 / 工業技術院電子技術総合研究所.
120	電子通信学会総合全国大会講演論文集.
121	古河電工時報 / 古河電気工業 [編].
122	画像技術.
123	画像工学コンファレンス論文集 / 電気学会電子装置技術委員会.
124	技術研究所年報 / 北海道電力株式会社技術研究所.
125	研究年報 / 日本放送協会総合技術研究所, [日本放送協会]放送科学基礎研究所 [編].
126	テレビジョン学会技術報告 / テレビジョン学会.
127	電子工業年鑑 / 通商産業省編.
128	コア技術 = The core technology / 広報新聞分科会 [編].
129	O plus E.
130	オプトロニクス.
131	岩崎技報 / 岩崎通信機.
132	岩通技報 / 岩崎通信機.
133	昭和電線電纜レビュー / 昭和電線電纜.
134	神鋼電機.
135	通研月報 / 逓信省電気通信研究所.
136	電子航法研究所報告 = Electronic Navigation Laboratory papers / 運輸省電子航法研究所.
137	電子航法研究所年報 / 運輸省電子航法研究所.
138	トランジスタ技術.
139	日本信号技報 = Nippon Signal technical journal.
140	藤倉電線技報 / 藤倉電線.

141	無線資料 / 東京電氣無線株式會社 [編].
142	技報 = Univac technology review / 日本ユニバック [編].
143	電氣・情報関連学会連合大会講演論文集 / 電氣学会, 電子通信学会, 照明学会, テレビジョン学会, 情報処理学会 = Joint convention record of Institutes of Electrical and Information Engineers, Japan / Institutes of Electrical and Information Engineers, Japan.
144	情報通信学会誌 / 情報通信学会.
145	人工知能学会誌 = Journal of Japanese Society for Artificial Intelligence / 人工知能学会 [編].
146	日経超電導 / 日経マグロウヒル社 = Nikkei superconductors / Nikkei McGrawhill, Inc..
147	三菱電線工業時報 = Mitsubishi Cable Industries review / 三菱電線工業株式会社編.
148	エレクトロニクスライフ.
149	KDDテクニカルジャーナル = KDD technical journal / 国際電信電話株式会社.
150	人工知能学会全国大会論文集 = Proceedings of the Annual Conference of JSAI / 人工知能学会.
151	Theコミュニケーション: 電氣通信技術情報誌 = The communication.
152	電波科学エレクトロニクスライフ.
153	技術研究所季報 = Quarterlies of Kintetsu Research Lab. / 近畿日本鉄道株式会社技術研究所 [編].
154	Unisys技報: technology review / 日本ユニシス [編].
155	月刊エンター.
156	コミュニケーションデザイン = Communication design.
157	コンピュータ白書 / 日本電子計算開発協会.
158	情報化白書 / 日本情報処理開発協会編.
159	神鋼電機技報 = Shinko electric journal / 神鋼電機株式会社広報室.
160	日立電子エンジニアリング技報.
161	世界コンピュータ年鑑 = Computer yearbook / 日本情報処理開発協会.
162	データベース白書 / データベース振興センター編; 通商産業省機械情報産業局監修.
163	電氣事業要覧 / 通信省電氣局 [編].
164	電氣機械器具及材料特製品 / 電氣協會[編].
165	電氣年鑑 / 電友社編輯部編纂.
166	電子情報通信学会技術研究報告. AI, 人工知能と知識処理 / 電子情報通信学会 [編].
167	電子情報通信学会技術研究報告. A・P, アンテナ・伝播 / 電子情報通信学会.
168	電子情報通信学会技術研究報告. CAS, 回路とシステム / 電子情報通信学会.
169	電子情報通信学会技術研究報告. COMP, コンピューテーション / 電子情報通信学会.
170	電子情報通信学会技術研究報告. CPM, 電子部品・材料 / 電子情報通信学会.
171	電子情報通信学会技術研究報告. CPSY, コンピュータシステム / 電子情報通信学会.
172	電子情報通信学会技術研究報告. CS, 通信方式 / 電子情報通信学会.
173	電子情報通信学会技術研究報告. DE, データ工学 / 電子情報通信学会.
174	電子情報通信学会技術研究報告. DSP, デジタル信号処理 / 電子情報通信学会.
175	電子情報通信学会技術研究報告. EA, 電氣音響 / 電子情報通信学会.
176	電子情報通信学会技術研究報告. ED, 電子デバイス / 電子情報通信学会.
177	電子情報通信学会技術研究報告. EID, 電子ディスプレイ / 電子情報通信学会.

178	電子情報通信学会技術研究報告. EMC, 機構部品 / 電子情報通信学会.
179	電子情報通信学会技術研究報告. EMCJ, [環境電磁工学] / 電子情報通信学会 [編].
180	電子情報通信学会技術研究報告. ET, 教育工学 / 電子情報通信学会 [編集].
181	電子情報通信学会技術研究報告. ICD, 集積回路.
182	電子情報通信学会技術研究報告. IE, 画像工学 / 電子情報通信学会.
183	電子情報通信学会技術研究報告. IN, 情報ネットワーク / 電子情報通信学会.
184	電子情報通信学会技術研究報告. ISEC, 情報セキュリティ / 電子情報通信学会.
185	電子情報通信学会技術研究報告. IT, 情報理論 / 電子情報通信学会.
186	電子情報通信学会技術研究報告. MR, 磁気記録 / 電子情報通信学会 [編].
187	電子情報通信学会技術研究報告. MW, マイクロ波 / 電子情報通信学会.
188	電子情報通信学会技術研究報告. NLP, 非線形問題 / 電子情報通信学会.
189	電子情報通信学会技術研究報告. OCS, 光通信システム / 電子情報通信学会.
190	電子情報通信学会技術研究報告. OME, 有機エレクトロニクス.
191	電子情報通信学会技術研究報告. OQE, 光・量子エレクトロニクス / 電子情報通信学会.
192	電子情報通信学会技術研究報告. OS, オフィスシステム / 電子情報通信学会.
193	電子情報通信学会技術研究報告. PE:電子通信用電源技術.
194	電子情報通信学会技術研究報告. PRU, パターン認識・理解 / 電子情報通信学会.
195	電子情報通信学会技術研究報告. R, 信頼性 / 電子情報通信学会 [編].
196	電子情報通信学会技術研究報告. RCS, 無線通信システム / 電子情報通信学会.
197	電子情報通信学会技術研究報告. SANE, 宇宙・航行エレクトロニクス / 電子情報通信学会.
198	電子情報通信学会技術研究報告. SAT, 衛星通信 / 電子情報通信学会.
199	電子情報通信学会技術研究報告. SCE, 超伝導エレクトロニクス / 電子情報通信学会.
200	電子情報通信学会技術研究報告. SDM, シリコン材料・デバイス / 電子情報通信学会.
201	電子情報通信学会技術研究報告. SE, 交換 / 電子情報通信学会.
202	電子情報通信学会技術研究報告. SSD, 半導体・トランジスタ / 電子情報通信学会.
203	電子情報通信学会技術研究報告. SSE, 交換システム / 電子情報通信学会.
204	電子情報通信学会技術研究報告. US, 超音波.
205	電子情報通信学会技術研究報告. VLD, VLSI設計技術.
206	電子情報通信学会誌 = The journal of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
207	電子情報通信学会論文誌. A, 基礎・境界 = The transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers. A.
208	電子通信学会技術研究報告. AI, 人工知能と知識処理 / 電子通信学会.
209	電子通信学会技術研究報告. COMP, コンピューテーション / 電子通信学会.
210	電子通信学会技術研究報告. CPSY, コンピュータシステム / 電子通信学会.
211	電子通信学会技術研究報告. DE, データ工学 / 電子通信学会.
212	電子通信学会技術研究報告. EID, 電子ディスプレイ / 電子通信学会.
213	電子通信学会技術研究報告. ET, 教育工学 / 電子通信学会.
214	電子通信学会技術研究報告. FTS, フォールトトレラントシステム / 電子通信学会.
215	電子通信学会技術研究報告. MBE, MEとバイオサイバネティクス / 電子通信学会.

216	電子通信学会技術研究報告. OS, オフィスシステム / 電子通信学会.
217	電子通信学会技術研究報告 PE:電子通信用電源技術.
218	電子通信学会技術研究報告. PRU, パターン認識・理解 / 電子通信学会.
219	電子通信学会技術研究報告. SP, 音声 / 電子通信学会.
220	電子部品・材料研究会資料 / 電子通信学会.
221	画像工学研究会資料 / 電子通信学会.
222	光・量子エレクトロニクス研究会資料 / 電子通信学会.
223	電力管理案に関する議会資料, 19
224	日本半導体年鑑.
225	プロンプト : 仕事に役立つパソコンソフト誌 : NK personal computer magazine.
226	電子情報通信学会技術研究報告. SST, スペクトル拡散 / 電子情報通信学会[編].
227	通信総合研究所季報 = Review of the Communications Research Laboratory / 郵政省通信総合研究所情報管理部情報管理課.
228	電子通信学会技術研究報告. AL, オートマトンと言語 / 電子通信学会.
229	電子通信学会技術研究報告. A・P, アンテナ・伝播 / 電子通信学会.
230	電子通信学会技術研究報告. CAS, 回路とシステム / 電子通信学会.
231	電子通信学会技術研究報告. CPM, 電子部品・材料 / 電子通信学会.
232	電子通信学会技術研究報告. CS, 通信方式 / 電子通信学会.
233	電子通信学会技術研究報告. CST, 回路とシステム理論 / 電子通信学会.
234	電子通信学会技術研究報告. EA, 電気音響 / 電子通信学会.
235	電子通信学会技術研究報告. EC, 電子計算機 / 電子通信学会.
236	電子通信学会技術研究報告. ED, 電子装置 / 電子通信学会.
237	電子通信学会技術研究報告. ED, 電子デバイス / 電子通信学会.
238	電子通信学会技術研究報告. EMC, 機構部品 / 電子通信学会.
239	電子通信学会技術研究報告. EMCJ, [環境電磁工学] / 電子通信学会 [編].
240	電子通信学会技術研究報告. ET, 教育技術 / 電子通信学会.
241	電子通信学会技術研究報告. IE, 画像工学 / 電子通信学会.
242	電子通信学会技術研究報告. IN, 情報ネットワーク / 電子通信学会.
243	電子通信学会技術研究報告. IT, 情報理論 / 電子通信学会.
244	電子通信学会技術研究報告. MBE, 医用電子・生体工学 / 電子通信学会.
245	電子通信学会技術研究報告. MR, 磁気記録 / 電子通信学会 [編].
246	電子通信学会技術研究報告. MW, マイクロ波 / 電子通信学会.
247	電子通信学会技術研究報告. NLP, 非線形問題 / 電子通信学会.
248	電子通信学会技術研究報告. OQE, 光・量子エレクトロニクス / 電子通信学会.
249	電子通信学会技術研究報告 PE:電子通信用電源技術調査.
250	電子通信学会技術研究報告. PRL, パターン認識と学習 / 電子通信学会.
251	電子通信学会技術研究報告. R, [信頼性] / 電子通信学会.
252	電子通信学会技術研究報告. SANE, 宇宙・航行エレクトロニクス / 電子通信学会.
253	電子通信学会技術研究報告. SAT, 衛星通信 / 電子通信学会.

254	電子通信学会技術研究報告. SCE, 超伝導エレクトロニクス / 電子通信学会.
255	電子通信学会技術研究報告. SE, 交換 / 電子通信学会.
256	電子通信学会技術研究報告. SSD, 半導体・トランジスタ / 電子通信学会.
257	電子通信学会技術研究報告. US, 超音波 / 電子通信学会.
258	アンテナ・伝播研究会資料 / 電気通信学会.
259	オートマトンと言語研究会資料 / 電子通信学会.
260	通信方式研究会資料 / 電気通信学会.
261	回路とシステム理論研究会資料 / 電気通信学会.
262	電子計算機研究会資料 / 電気通信学会.
263	電子装置研究会資料 / 電気通信学会.
264	教育技術研究会資料 / 電子通信学会.
265	非線形問題研究会資料 / 電子通信学会.
266	パターン認識と学習研究会資料 / 電子通信学会.
267	信頼性研究会資料 / 電気通信学会.
268	宇宙航行エレクトロニクス研究会資料 / 電気通信学会.
269	交換研究会資料 / 電気通信学会.
270	半導体・トランジスタ研究会資料 / 電気通信学会.
271	超音波研究会資料 / 電気通信学会 [編].
272	情報サービス産業白書 = White paper of information service industry / 情報サービス産業協会編 ; 通商産業省機械情報産業局監修.
273	情報通信年鑑 = Information communications almanac / 情報通信総合研究所 [編].
274	電子情報通信学会春季全国大会講演論文集 / 電子情報通信学会 = Spring National Convention record, the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
275	研究報告 / 北海道電力株式会社技術研究所.
276	電子情報通信学会技術研究報告. EA, 応用音響 / 電子情報通信学会.
277	電子通信学会技術研究報告. NLC, 言語処理とコミュニケーション / 電子通信学会.
278	電子情報通信学会技術研究報告. NLC, 言語処理とコミュニケーション / 電子情報通信学会.
279	電子情報通信学会技術研究報告. NLC, 言語理解とコミュニケーション / 電子情報通信学会.
280	NTT技術ジャーナル : NTTテレコミュニケーション情報誌.
281	電波年鑑 / 郵政省電波監理局 [編集].
282	電電建設 / 電信電話工事協会 [編].
283	實用化報告 / 電気通信省電気通信研究所 [編].
284	電気工事人 : 免許試験指導雑誌.
285	照明學會月報.
286	ミリ波と赤外線専門講習会予稿.
287	技術参考資料.
288	技術参考資料 / 日本放送協會.
289	技術調査及研究報告 / 日本放送協會 [編].
290	電子通信学会会誌・論文誌総目次.

291	電子情報通信学会総合全国大会講演論文集 / 電子情報通信学会 = National Convention record, the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
292	電子情報通信学会技術研究報告. SS, ソフトウェアサイエンス / 電子情報通信学会.
293	電子情報通信学会技術研究報告. FTS, フォールトトレラントシステム.
294	通信総合研究所年報 / 郵政省通信総合研究所 [編].
295	電子情報通信学会技術研究報告. HC, ヒューマンコミュニケーション / 電子情報通信学会.
296	研究年報 / 北海道電力株式会社総合研究所.
297	コンピュータソフトウェア / 日本ソフトウェア科学会編集.
298	昭和電線レビュー = Showa Electric Wire and Cable review / 昭和電線電纜株式会社 [編].
299	非線形磁気応用研究委資料.
300	非直線理論研究会資料 / 電子通信学会.
301	電子計算機研究専門委員会[資料] / 電気通信学会, 1
302	非直線理論研究専門委員会資料 / 電気通信学会.
303	非直線理論研究会資料 / 電気通信学会.
304	インホメーション理論研究専門委員会資料 / 電気通信学会 [編].
305	医用電子装置研究専門委員会資料 / 電気通信学会.
306	医用電子装置研究会資料 / 電気通信学会.
307	磁性材料研究専門委員会資料 / 電気通信学会.
308	磁性材料・部品研究会資料 / 電気通信学会.
309	回路網理論研究専門委員会資料 / 電気通信学会.
310	回路網理論研究会資料 / 電気通信学会.
311	航空電子機器研究専門委員会資料 / 電気通信学会 [編].
312	航行エレクトロニクス研究会資料 / 電気通信学会.
313	マイクロ波伝送研究専門委員会資料 / 電気通信学会 [編].
314	マイクロ波伝送研究会資料 / 電気通信学会.
315	マイクロ波真空管研究専門委員会資料 / 電気通信学会.
316	オートマトンと自動制御研究専門委員会資料 / 電気通信学会 [編].
317	オートマトンと自動制御研究会資料 / 電気通信学会.
318	トランジスタ研究専門委員会資料 / 電気通信学会.
319	トランジスタ研究会資料 / 電気通信学会.
320	通信方式研究専門委員会資料 / 電気通信学会.
321	電子回路部品・材料研究会資料 / 電気通信学会.
322	電子情報通信学会技術研究報告. EMD, 機構デバイス / 電子情報通信学会 [編].
323	人工知能学会全国大会チュートリアル講演
324	電子情報通信学会技術研究報告. KBSE, 知能ソフトウェア工学 / 電子情報通信学会.
325	電子情報通信学会技術研究報告. OFS, オフィスシステム / 電子情報通信学会 [編].
326	電子通信学会技術研究報告. SS, ソフトウェアサイエンス / 電子通信学会.
327	電子学報.

328	パイオニア技報：おととひかり = Pioneer technical report.
329	電子情報通信学会技術研究報告. CST, コンカレント工学 / 電子情報通信学会.
330	電子情報通信学会技術研究報告. TL, 思考と言語 / 電子情報通信学会.
331	PFU technical review / 株式会社PFU.
332	研究資料 / 中部電力 [編].
333	Pioneer R&D.
334	電子情報通信学会技術研究報告. FACE, 情報通信倫理 / 電子情報通信学会 [編].
335	電業社機械 : Dengyosha kikai / 電業社機械製作所.
336	電子情報通信学会技術研究報告. HCS, ヒューマンコミュニケーション基礎 / 電子情報通信学会 [編].
337	電子情報通信学会技術研究報告. HIP, ヒューマン情報処理 / 電子情報通信学会 [編].
338	電子情報通信学会技術研究報告. MVE, マルチメディア・仮想環境基礎 / 電子情報通信学会 [編].
339	電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集 / 電子情報通信学会 = Proceedings of the ... Society Conference of IEICE / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
340	情報通信技術研究所所報 / 東海大学(東京)短期大学部情報通信技術研究所 [編].
341	電子情報通信学会技術研究報告. LQE, レーザ・量子エレクトロニクス / 電子情報通信学会.
342	電子情報通信学会技術研究報告. OPE, 光エレクトロニクス / 電子情報通信学会.
343	パソコンライフ.
344	研究開発報告 / 北陸電力株式会社地域総合研究所 [編集].
345	電子情報通信学会技術研究報告. PRMU, パターン認識・メディア理解 / 電子情報通信学会 [編].
346	人文学と情報処理 / 勉強データセンター編集.
347	映像情報メディア学会誌 : 映像情報メディア = The journal of the Institute of Image Information and Television Engineers.
348	電子情報通信学会技術研究報告. EE, 電子通信エネルギー技術 / 電子情報通信学会 [編].
349	Matsushita technical journal.
350	電子情報通信学会技術研究報告. PS, 光スイッチング / 電子情報通信学会 [編].
351	電子情報通信学会技術研究報告. OFT, 光ファイバ応用技術 / 電子情報通信学会 [編].
352	電子情報通信学会技術研究報告. TM, テレコミュニケーションマネジメント / 電子情報通信学会 [編].
353	Interface = インターフェース / CQ出版 [編].
354	KDD R & D report.
355	電子情報通信学会春季大会講演論文集 / 電子情報通信学会 = Proceedings of the ... IEICE spring conference / The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
356	電子情報通信学会秋季大会講演論文集 / 電子情報通信学会 = Proceedings of the ... IEICE fall conference / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
357	電子情報通信学会秋季全国大会講演論文集 / 電子情報通信学会 = Autumn national convention record, the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers / the Institute of Electronics, Information and communication Engineers.
358	電子情報通信学会技術研究報告. ITS / 電子情報通信学会 [編].
359	電子情報通信学会技術研究報告. FACE, 情報文化と倫理 / 電子情報通信学会.
360	電子情報通信学会技術研究報告. SSS, 安全性 / 電子情報通信学会 [編].

361	電子情報通信学会技術研究報告. MI, 医用画像 / 電子情報通信学会 [編].
362	電子情報通信学会総合大会講演論文集 / 電子情報通信学会 = Proceedings of the ... IEICE general conference / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
363	電子技術総合研究所研究報告 / 電子技術総合研究所.
364	Information / インフォメーションサイエンス.
365	NTT R&D.
366	OHMジャーナル.
367	電子情報通信学会論文誌. C, エレクトロニクス = The transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers. C.
368	広島国際学院大学研究報告 / 広島国際学院大学 [編集].
369	電子技術総合研究所彙報 = Bulletin of the Electrotechnical Laboratory / 電子技術総合研究所 [編].
370	電子技術総合研究所調査報告 / 電子技術総合研究所.
371	FEDジャーナル / 新機能素子研究開発協会 [編].
372	NTT電気通信研究所研究実用化報告 = Electrical Communications Laboratories technical journal / 日本電信電話株式会社情報管理部技術広報部門.
373	衛星通信年報 / 郵政省, 国際電信電話株式会社 [編].
374	海外通信工学 / 電気通信學會.
375	研究実用化報告 / 電気通信省電気通信研究所 [編] = Electrical Communication Laboratories technical journal / Electrical Communication Laboratory, Nippon Telegraph and Telephone Public Corporation.
376	原子力発電.
377	研究期報 / 四国電力株式会社技術研究所 [編集].
378	照明學會雜誌 / 照明學會 [編].
379	真空工業 / 真空機器協会.
380	信号保安 / 信号保安協会.
381	住友電気彙報.
382	住友電線彙報 / 住友電線製造所.
383	大日電線時報 / 大日電線株式会社品質管理部.
384	電気・情報関連学会連合大会講演予稿集 / 電子情報通信学会, 電気学会, 照明学会, テレビジョン学会, 情報処理学会 [主催].
385	通信工学邦文外國雜誌 / 電信電話學會.
386	テレビジョン / テレビジョン学会.
387	電気化学 : the journal of the Electrochemical Association of Japan / 電気化学協會 [編].
388	電気學界時報 / 電気學會.
389	電気學會論文集 / 電気學會.
390	電気協會々報.
391	電気通信学会全国大会講演論文集.
392	電気通信経営月報 / 日本電信電話公社経営調査室.
393	電気鐵道 / 鐵道電化協會.
394	電気特許月報 / 電気學會.

395	電子計算と制御.
396	電子工業振興協会会報 / 日本電子工業振興協会.
397	電子情報通信学会論文誌. B, 通信 / 電子情報通信学会.
398	電子通信学会通信部門全国大会講演論文集.
399	電子通信学会光・電波部門全国大会講演論文集 / 電子通信学会.
400	電設工業 / 日本電設工業会.
401	電波研究所季報 / 郵政省電波研究所 = Quarterly review / the Radio Research Laboratories.
402	電波研究所年報 / 郵政省電波研究所.
403	電力調査統計月報 = Monthly report on electric power statistics / 公益事業委員会事務局編.
404	電算機利用に関するシンポジウム講演集 / 土木学会土木情報システム委員会.
405	日電月報.
406	日本電力調査報告書.
407	農電研究所所報 / 農電研究所.
408	発電水力 = Hydro electric power / 発電水力協会 [編].
409	マツダ新報.
410	ラヂオの日本.
411	照明ニュース / 照明知識普及委員会編.
412	電気試験所研究報告 / 電気試験所.
413	電気試験所調査報告 / 逓信省電気試験所編輯.
414	電気通信 / 電気通信協会 [編].
415	電気通信施設 : shisetsu / 電気通信省施設局.
416	電子通信学会全国大会講演論文集.
417	電信電話學會雜誌.
418	電波時報 / 郵政省電波監理局.
419	電波と受験 / 無線従事者教育協会 [編].
420	JEITA review / 電子情報技術産業協会(JEITA) [編].
421	富士電機時報 = Fusi Denki jiho.
422	三菱電機 / 三菱電機技報社.
423	電子通信学会創立50周年記念全国大会講演論文集.
424	連合大会講演論文集 / 電気学会, 電気通信学会, 照明学会 [編].
425	Science of humanity : Bensei : 人文学と情報処理.
426	電子情報通信学会技術研究報告. IA, インターネットアーキテクチャ / 電子情報通信学会 [編].
427	電子情報通信学会技術研究報告. WIT, 福祉情報工学 / 電子情報通信学会 [編].
428	電子情報通信学会技術研究報告. MoMuC, モバイルマルチメディア通信 / 電子情報通信学会 [編].
429	電子情報通信学会技術研究報告. NS, ネットワークシステム / 電子情報通信学会 [編].
430	電子情報通信学会技術研究報告. SWIM, ソフトウェアインタプライズモデリング / 電子情報通信学会 [編].
431	電子情報通信学会技術研究報告. CQ, コミュニケーションクオリティ / 電子情報通信学会 [編].
432	Toyo's technical bulletin / 東洋通信機株式會社 [編].

433	日本画像学会誌 / 日本画像学会 [編].
434	電子情報通信学会技術研究報告. SITE, 技術と社会・倫理 : IEICE technical report.
435	電子情報通信学会技術研究報告. OIS, オフィスインフォメーションシステム : IEICE technical report.
436	情報技術レターズ / 電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS), 情報処理学会 [編] = Information technology letters / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers Information and Systems Society, Information Processing Society of Japan.
437	情報科学技術フォーラム学術系・企業系予稿集 / 電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS), 情報処理学会 [編] = / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers Information and Systems Society, Information Processing Society of Japan.
438	情報科学技術フォーラム一般講演論文集 / 電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS), 情報処理学会 [編] = / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers Information and Systems Society, Information Processing Society of Japan.
439	年報 / 郵政省通信総合研究所 [編].
440	通信総合研究所年報 / 通信総合研究所 [編].
441	電子情報通信学会技術研究報告. WBS, ワイドバンドシステム : IEICE technical report / 電子情報通信学会 [編].
442	電子情報通信学会技術研究報告. PN, フォトニックネットワーク / 電子情報通信学会 [編].
443	顕微鏡 / 日本顕微鏡学会 = Microscopy / Japanese Society of Microscopy.
444	電力需給の概要 / 通商産業省公益事業局需給課編.
445	情報通信ジャーナル = Telecom journal.
446	Design wave magazine = デザインウェーブマガジン.
447	電子情報通信学会論文誌. D, 情報・システム = The IEICE transactions on information and systems (Japanese edition).
448	情報通信研究機構年報 / 情報通信研究機構 [編] = / National Institute of Information and Communications Technology.
449	電子情報通信学会技術研究報告. SR, ソフトウェア無線 = IEICE technical report. SR, [Software radio] / 電子情報通信学会 [編].
450	電子情報通信学会技術研究報告. RECONF, リコンフィギャラブルシステム : IEICE technical report / 電子情報通信学会 [編].
451	東海大学紀要. 情報理工学部 = Proceedings of the School of Information Science and Technology, Tokai University.
452	情報通信学会年報 / 情報通信学会 [編].
453	電子情報通信学会技術研究報告. USN, ユビキタス・センサネットワーク : IEICE technical report / 電子情報通信学会 [編].
454	電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集 = Proceedings of the ... IEICE society conference.
455	電子情報通信学会技術研究報告. SIP, 信号処理 : IEICE technical report / 電子情報通信学会.
456	電子情報通信学会技術研究報告. SIS, スマートインフォメディアシステム / 電子情報通信学会 [編].
457	電子情報通信学会技術研究報告. AN, アドホックネットワーク : IEICE technical report / 電子情報通信学会 [編].
458	電子情報通信学会技術研究報告. MBE, MEとバイオサイバネティックス / 電子情報通信学会.
459	電子情報通信学会技術研究報告. SP, 音声 / 電子情報通信学会.

460	電子情報通信学会技術研究報告. NC, ニューロコンピューティング / 電子情報通信学会.
461	電子情報通信学会技術研究報告. ICM, 情報通信マネジメント : IEICE technical report / 電子情報通信学会 [編].
462	パナソニック電工技報 = Panasonic Electric Works technical report / パナソニック電工 [編].
463	東海大学紀要. 情報通信学部 = Proceedings of the School of Information and Telecommunication Engineering, Tokai University.
464	電子情報通信学会総合大会講演論文集 / 電子情報通信学会 [編] = Proceedings of the ... IEICE general conference / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
465	電子情報通信学会総合大会講演論文集 = Proceedings of the ... IEICE general conference.
466	電子情報通信学会技術研究報告. ICSS, 情報通信システムセキュリティ : IEICE technical report / 電子情報通信学会 [編].
467	電子情報通信学会技術研究報告. LOIS, ライフインテリジェンスとオフィス情報システム = IEICE technical report. LOIS, Life intelligence and office information systems / 電子情報通信学会 [編].
468	デジタル・デザイン・テクノロジー = Digital design technology.
469	電子情報通信学会技術研究報告. IBISML, 情報論の学習理論と機械学習
470	電子情報通信学会技術研究報告. MWP, マイクロ波・ミリ波フォトンクス
471	電子情報通信学会技術研究報告. CNR, クラウドネットワークロボット : IEICE technical report / 電子情報通信学会 [編].
472	電子情報通信学会技術研究報告. EMM, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. EMM, Enriched multimedia / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
473	電子情報通信学会技術研究報告. EST, エレクトロニクスシミュレーション / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. EST, Electronic simulation technology / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
474	電子情報通信学会技術研究報告. IMQ, イメージ・メディア・クオリティ : IEICE technical report / 電子情報通信学会 [編].
475	電子情報通信学会技術研究報告. MSS, システム数理と応用 : IEICE technical report / 電子情報通信学会 [編].
476	画像電子学会誌 = The journal of the Institute of Image Electronics Engineers of Japan.
477	電子情報通信学会技術研究報告. SC, サービスコンピューティング / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. SC, Services Computing / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
478	富士電機技報 = Fuji Electric journal / 富士電機 [編].
479	電子情報通信学会技術研究報告. SRW, 短距離無線通信 / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. SRW, Short range wireless communications / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
480	電子情報通信学会技術研究報告. MoNA, モバイルネットワークとアプリケーション / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. MoNA, Mobile network and applications / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
481	電子情報通信学会技術研究報告. ASN, 知的環境とセンサネットワーク / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. ASN, Ambient intelligence and sensor networks / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
482	電子装置研究会資料 / 電気学会.
483	電子材料研究会資料 / 電気学会 [編].

484	制御変換装置研究会資料 / 電気学会 [編].
485	情報処理研究会資料 / 電気学会 [編].
486	プラズマ研究会資料.
487	電子顕微鏡学会誌 / 日本電子顕微鏡学会.
488	電子情報通信学会技術研究報告. WPT, 無線電力伝送 / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. WPT, Wireless power transfer / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
489	人工知能 : journal of the Japanese Society for Artificial Intelligence / 人工知能学会 [編].
490	電子情報通信学会技術研究報告. MICT, ヘルスケア・医療情報通信技術 / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. MICT, Healthcare and medical information communication technology / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
491	電子情報通信学会技術研究報告. RCC, 高信頼制御通信 / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. RCC, Reliable communication and control / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
492	電子情報通信学会技術研究報告. BioX, バイオメトリクス / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. BioX, Technical committee on biometrics / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
493	東光高岳技報 = Takaoka toko review / 東光高岳 [編].
494	Web designing = ウェブデザイン : サイト構築のためのトータルデザイン誌.
495	電子情報通信学会技術研究報告. SR, スマート無線 / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. SR, Smart radio / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
496	電子情報通信学会技術研究報告. EMT, 電磁界理論 / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. EMT, Electromagnetic theory / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
497	電子情報通信学会技術研究報告. CCS, 複雑コミュニケーションサイエンス / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. CCS, Complex communication science / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
498	FPGAマガジン.
499	電子情報通信学会技術研究報告. ICTSSL, 安全・安心な生活とICT / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. ICTSSL, Information and communication technologies for safe and secure life / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
500	東海大学情報科学論文業績集 / 東海大学電子計算機室 [編].
501	電子情報通信学会技術研究報告. MVE, メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎 / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. MVE, Media experience and virtual environment / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
502	電子情報通信学会技術研究報告. MRIS, 磁気記録・情報ストレージ / 電子情報通信学会 [編] = IEICE technical report. MRIS, Magnetic recording & information storage / the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
503	MJ無線と実験 : stereo technic soft & hard.
504	CQ ham radio / 日本アマチュア無線連盟 [編].
505	日経パソコン = Nikkei personal computing.

国内雑誌 505種

No.	誌名（国外雑誌）
1	Software : practice and experience.
2	The journal of logic programming.
3	Parallel processing letters.
4	Proceedings of the School of Information Science and Technology, Tokai University / School of Information Science and Technology, Tokai University.
5	Journal of simulation : JOS.
6	Digital scholarship in the humanities : DSH : journal of the alliance of digital humanities organizations.
7	Advances in computers.
8	Advances in electronics.
9	Advances in information processing in organizations.
10	Application and industry.
11	Applied acoustics = Angewandte Akustik.
12	Bell Labs technical journal.
13	CQ : the radio amateur's journal.
14	Communications society : a digest of news and events of interest to the IEEE Communications Society.
15	Computers and the humanities.
16	Control engineering : instrumentation and automatic control systems.
17	Control systems magazine.
18	Cumulative index to entire IEEE Group transactions/journals.
19	Cumulative index to proceedings of the IEEE, subject & author.
20	Cybernetica.
21	Database : the magazine of database reference and review.
22	Deutsche Elektrotechnik.
23	Digital systems for industrial automation.
24	Direct current. New series.
25	ECS electrochemistry letters : eel.
26	ECS journal of solid state science and technology : jss.
27	ECS solid state letters : ssl.
28	Electric technology U.S.S.R.
29	Electrical communication.
30	Electrical construction and maintenance.
31	Electrical engineering.
32	Electrical journal, 19
33	Electrical world.
34	Electrician.
35	Electricity commission, electricity supply.
36	Electrochimica acta.
37	Electronic and radio engineer : incorporating wireless engineer.
38	Electronic engineering.
39	Electronic technology.
40	Electronics : the worldwide technology weekly.
41	Electronics letters.
42	Electronics world.
43	Electronics.

44	ElectronicsWeek.
45	Elektrie.
46	Elektrotechnische Berichte.
47	Elektrotechnische Zeitschrift. Ausgabe A.
48	Elektrotechnische Zeitschrift. Ausgabe B : ETZ.
49	Elektrowirtschaft.
50	Engineering & technology : the IET.
51	Evolutionary computation.
52	Experimental wireless & the wireless engineer.
53	Experimental wireless.
54	FED journal. Suppl.
55	Fuji electric review.
56	Fujitsu scientific and technical journal / Fujitsu.
57	Fuzzy sets and systems : an international journal.
58	General Electric review.
59	IBM journal of research and development / International Business Machines Corporation.
60	IBM systems journal.
61	IEE proceedings. Part H, Microwaves, antennas and propagation.
62	IEE proceedings. Part H, Microwaves, optics and antennas.
63	IEE proceedings. Part J, Optoelectronics.
64	IEE proceedings. Pt. F, Communications, radar and signal processing / Institution of Electrical Engineer.
65	IEEE ASSP magazine : a publication of the IEEE Acoustics, Speech, and Signal Processing Society.
66	IEEE Communications Society magazine / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
67	IEEE International Convention record / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
68	IEEE aerospace and electronic systems magazine.
69	IEEE circuits and devices magazine / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
70	IEEE circuits and systems magazine / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
71	IEEE communications magazine / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
72	IEEE design & test of computers / IEEE Computer Society [and] the Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
73	IEEE electrical insulation magazine : a publication of the IEEE Electrical Insulation Society.
74	IEEE electron device letters.
75	IEEE engineering in medicine and biology : the quarterly magazine of the Engineering in Medicine & Biology Society.
76	IEEE engineering in medicine and biology magazine : the quarterly magazine of the Engineering in Medicine & Biology Society.
77	IEEE engineering management review / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
78	IEEE expert.
79	IEEE journal of oceanic engineering / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
80	IEEE journal of quantum electronics / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
81	IEEE journal of robotics and automation.
82	IEEE journal of solid state circuits / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
83	IEEE journal on selected areas in communications : a publication of the IEEE Communications Society.
84	IEEE micro.

85	IEEE microwave and wireless components letters : a publication of the IEEE Microwave Theory and Techniques Society.
86	IEEE software / IEEE Computer Society.
87	IEEE spectrum.
88	IEEE student journal / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
89	IEEE technology & society magazine.
90	IEEE transactions on acoustics, speech, and signal processing.
91	IEEE transactions on aerospace / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
92	IEEE transactions on aerospace and electronic systems / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
93	IEEE transactions on aerospace and navigational electronics / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
94	IEEE transactions on antennas and propagation.
95	IEEE transactions on applications and industry / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
96	IEEE transactions on audio and electroacoustics / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
97	IEEE transactions on audio.
98	IEEE transactions on automatic control / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
99	IEEE transactions on biomedical engineering / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
100	IEEE transactions on broadcast and television receivers / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
101	IEEE transactions on broadcasting.
102	IEEE transactions on cable television.
103	IEEE transactions on circuit theory / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
104	IEEE transactions on circuits and systems / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
105	IEEE transactions on communication and electronics / the Institute of Electrical and Electronics Engineers.
106	IEEE transactions on communication technology.
107	IEEE transactions on communications / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
108	IEEE transactions on communications systems / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
109	IEEE transactions on component parts / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
110	IEEE transactions on components, hybrids, and manufacturing technology / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
111	IEEE transactions on computers / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
112	IEEE transactions on consumer electronics / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
113	IEEE transactions on education / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
114	IEEE transactions on electrical insulation / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
115	IEEE transactions on electromagnetic compatibility / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
116	IEEE transactions on electron devices / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
117	IEEE transactions on electronic computers / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
118	IEEE transactions on engineering management / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
119	IEEE transactions on engineering writing and speech.
120	IEEE transactions on geoscience and remote sensing.
121	IEEE transactions on geoscience electronics / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
122	IEEE transactions on human factors in electronics.
123	IEEE transactions on industrial electronics / Institute of Electrical and Electronics Engineers.

124	IEEE transactions on industrial electronics : a publication of the IEEE Industrial Electronics Society.
125	IEEE transactions on industrial electronics and control instrumentation / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
126	IEEE transactions on industry and general applications / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
127	IEEE transactions on industry applications / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
128	IEEE transactions on information theory : a journal devoted to the theoretical and experimental aspects of information transmission, processing, and utilization / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
129	IEEE transactions on instrumentation and measurement.
130	IEEE transactions on magnetics.
131	IEEE transactions on manufacturing technology : a publication of the IEEE Manufacturing Technology Group / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
132	IEEE transactions on medical imaging.
133	IEEE transactions on microwave theory and techniques / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
134	IEEE transactions on military electronics / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
135	IEEE transactions on nuclear science.
136	IEEE transactions on parts, hybrids and packaging / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
137	IEEE transactions on parts, materials and packaging.
138	IEEE transactions on pattern analysis and machine intelligence.
139	IEEE transactions on plasma science / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
140	IEEE transactions on product engineering and production.
141	IEEE transactions on professional communication / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
142	IEEE transactions on radio frequency interference / Professional Technical Group on Radio Frequency Interference.
143	IEEE transactions on reliability.
144	IEEE transactions on software engineering : a publication of the IEEE Computer Society / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
145	IEEE transactions on sonics and ultrasonics.
146	IEEE transactions on space electronics and telemetry / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
147	IEEE transactions on systems science and cybernetics.
148	IEEE transactions on systems, man and cybernetics / IEEE Systems, Man and Cybernetics Group.
149	IEEE transactions on ultrasonics engineering / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
150	IEEE transactions on vehicular communications / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
151	IEEE transactions on vehicular technology / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
152	IEEJ transactions on electrical and electronic engineering : official journal of the Institute of Electrical Engineering of Japan / = 電気学会.
153	IEICE transactions on communications electronics information and systems.
154	IEICE transactions on communications.
155	IEICE transactions on electronics.

156	IEICE transactions on fundamentals of electronics, communications and computer sciences.
157	IEICE transactions on information and systems.
158	IIEEJ transactions on image electronics and visual computing.
159	IRE Transactions on electronic computers / Institute of Radio Engineers.
160	IRE WESCON convention record.
161	IRE national convention record.
162	IRE transactions on aeronautical and navigational electronics / the Institute of Radio Engineers.
163	IRE transactions on antennas and propagation / Institute of Radio Engineers.
164	IRE transactions on audio / Institute of Radio Engineers.
165	IRE transactions on automatic control / Institute of Radio Engineers.
166	IRE transactions on broadcast and television receivers / Institute of Radio Engineers.
167	IRE transactions on broadcast transmission systems / Institute of Radio Engineers.
168	IRE transactions on broadcasting / Institute of Radio Engineers.
169	IRE transactions on circuit theory / Institute of Radio Engineers.
170	IRE transactions on component parts / Institute of Radio Engineers.
171	IRE transactions on education / Institute of Radio Engineers.
172	IRE transactions on electron devices / Institute of Radio Engineers.
173	IRE transactions on engineering management / Institute of Radio Engineers.
174	IRE transactions on engineering writing and speech / Institute of Radio Engineers.
175	IRE transactions on industrial electronics / IRE.
176	IRE transactions on information theory.
177	IRE transactions on instrumentation / Institute of Radio Engineers.
178	IRE transactions on medical electronics.
179	IRE transactions on microwave theory and techniques / Institute of Radio Engineers.
180	IRE transactions on nuclear science / Institute of Radio Engineers.
181	IRE transactions on product engineering and production.
182	IRE transactions on production techniques.
183	IRE transactions on radio frequency interference / Professional Group on Radio Frequency Interference.
184	IRE transactions on reliability and quality control / Institute of Radio Engineers.
185	IRE transactions on space electronics and telemetry / Institute of Radio Engineers.
186	IRE transactions on vehicular communications / IRE.
187	IT professional : technology solutions for the enterprise.
188	Index to IEEE publications / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
189	Information intelligence online newsletter.
190	Information sciences : an international journal.
191	Information sciences, applications.
192	International journal of adaptive control and signal processing.
193	International journal of approximate reasoning : official publication of the North American Fuzzy Information Processing Society / North American Fuzzy Information Precessing Society.
194	International journal of circuit theory and applications.
195	International journal of instructional media.
196	International journal of neural systems.
197	International journal of plasma environmental science & technology.
198	International journal of robotics & automation.
199	International journal of supercomputer applications and high performance computing.
200	Jahrbuch der Drahtlosen Telegraphie und Telephonie.

201	Journal of Asia Electronics Union, 197
202	Journal of complexity.
203	Journal of computational neuroscience.
204	Journal of electromagnetic waves and applications.
205	Journal of electron microscopy.
206	Journal of electronics and control. 1st series.
207	Journal of electronmicroscopy / Japanese Society of Electron Microscopy.
208	Journal of experimental and theoretical artificial intelligence.
209	Journal of information processing / Information Processing Society of Japan.
210	Journal of lightwave technology : a joint IEEE/OSA publication.
211	Journal of magnetism and magnetic materials.
212	Journal of materials science. Materials in electronics.
213	Journal of the Institution of Electrical Engineers.
214	Journal of the Institution of Electrical Engineers. New series.
215	Laser focus world.
216	Leadership and management in engineering.
217	Microlithography world.
218	Microwave and optical technology letters.
219	Microwave journal.
220	Mitsubishi Denki laboratory reports : Mitsubishi Denki Kabushiki Kaisha Kenkyusho.
221	NTT technical review.
222	NTZ : Nachrichtentechnische Zeitschrift.
223	Network : computation in neural systems.
224	New Zealand electrical journal.
225	Nordisk tidskrift for informationsbehandling.
226	Optical and quantum electronics.
227	Papers of Electronic Navigation Laboratory.
228	Philips journal of research.
229	Philips technical review.
230	Proceedings of the IEEE / Institute of Electrical and Electronics Engineers.
231	Proceedings of the IRE / Institute of Radio Engineers.
232	Proceedings of the Institute of Radio Engineers.
233	Proceedings of the Institution of Electrical Engineers.
234	Proceedings of the Institution of Electrical Engineers. Pt. B, Electronic and communication engineering.
235	Proceedings of the Institution of Electrical Engineers. Pt. B, Radio and electronic engineering.
236	Proceedings of the School of Information Technology and Electronics of Tokai University / School of Information Technology and Electronics, Tokai University.
237	Proceedings of the Wireless Section of the Institution / Institution of Electrical Engineers.
238	Progress in quantum electronics : an international review journal.
239	QST : devoted entirely to amateur radio.
240	Quarterly transactions of the American Institute of Electrical Engineers.
241	RCA review.
242	Radio & television news.
243	Radio and electronic engineer.
244	Radio news.
245	Radio science.

246	Report of radio research in Japan / compiled by the Radio research Committee of the National Research Council of Japan.
247	Reports of radio researches and works in Japan / compiled by the Radio research Committee of the National Research Council of Japan.
248	S.I.D. journal / Society for Information Display.
249	Semiconductors and semimetals.
250	Semiconductors.
251	Sony Corporation Research Center reports.
252	Sony Research Center reports.
253	Sony technical reports / Sony.
254	Students' quarterly journal / Institution of Electrical Engineers.
255	Sumitomo Electric technical review.
256	Summaries of reports of the Electrotechnical Laboratory.
257	Technische Mitteilungen A.E.G. Telefunken.
258	Telefunken Hausmitteilungen.
259	Telefunken Zeitung.
260	Telefunken.
261	Telegraphen und Fernsprech Technik.
262	The Bell system technical journal : devoted to the scientific and engineering aspects of electrical communication.
263	The Electric journal.
264	The Electrical review.
265	The International journal of supercomputer applications.
266	The Marconi review.
267	The Post Office Electrical Engineers' journal / Institution of Post Office Electrical Engineers.
268	The Transactions of the Institute of Electronics and Communication Engineers of Japan. Section E, English.
269	The Transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.
270	The international journal of high performance computing applications.
271	The journal of the Institution of Electrical Engineers. Part I, General.
272	The journal of the Institution of Electrical Engineers. Part III, Communication engineering.
273	The journal of the Institution of Electrical Engineers. Part III, Radio and communication engineering.
274	The proceedings of the Institution of Electrical Engineers. Part I, General.
275	The proceedings of the Institution of Electrical Engineers. Part III, Radio and communication engineering.
276	The proceedings of the Institution of Electrical Engineers. Pt. C, Monographs.
277	Theoretical computer science.
278	Today's engineer.
279	Transactions of the American Institute of Electrical Engineers. Pt. 1, Communication and electronics.
280	Transactions of the American Institute of Electrical Engineers. Pt. 2, Applications and industry.
281	Transactions of the Illuminating Engineering Society.
282	Transactions of the Institute of Measurement and Control.
283	Transit journal.
284	Westinghouse engineer.
285	Wireless engineer : the journal of radio research and progress.

286	Wireless engineer and experimental wireless.
-----	--

国外雑誌 286種

学生確保の見通し等を記載した書類
情報理工学部情報メディア学科

【本文目次】

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況…p. 2
 - (1) 学生の確保の見通し…p. 2
 - 1) 定員充足の見込み…p. 2
 - 2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要…p. 3
 - 3) 学生納付金の設定の考え方…p. 4
 - (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況…p. 5
2. 人材需要の動向等社会の要請…p. 8
 - (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）…p. 8
 - (2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠…p. 8

学生の確保の見通し等を記載した書類

情報理工学部情報メディア学科

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

1) 定員充足の見込み

情報理工学部情報メディア学科の入学定員は、受験生の動向、社会からのニーズ、入学定員を確保できる人数等を踏まえ、教育研究体制を永続的に維持可能な体制として、入学定員を 100 名、収容定員を 400 名として教育研究活動を開始する計画である。

①全国的な傾向からの分析

定員を充足できる根拠は次のとおりである。情報理工学部情報メディア学科の学位の分野「工学関係」が含まれる「理・工学系」の過去 5 年の学部数、志願倍率、入学定員充足率状況（【資料①－１】【資料①－２】「令和 2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）P.26・33～34）をみると、【資料①－１】のとおり、学部数は微増ながら増加傾向であることに對し、志願倍率も増加傾向を示しており、令和 2 年度においては、13 倍を超える水準に達しており、定員充足率も 100%を満たしている状況である。このうち、【資料①－２】のとおり、令和 2 年度における、情報理工学部情報メディア学科に類似した名称・分野の学部に焦点を絞ってしてみると、「情報科学部」は約 26.5 倍、「メディア学部」は約 6.7 倍、「情報メディア学部」は約 3.2 倍、「情報理工学部」は約 17.7 倍となっており、【資料①－１】の動向と同様に、倍率に幅はあるものの、入学定員を大幅に超える進学希望者が存在することが明らかであり、情報理工学部情報メディア学科が受け持つ学問分野について高い需要があると分析される。

②将来性についての分析

東海大学は、全国に 19 学部（令和 3 年現在。募集停止学部を除く。）を展開している大規模大学である。情報理工学部情報メディア学科は、湘南キャンパス（平塚市）で学修を進める計画である。現在、湘南キャンパスには、約 18,000 名程度の学部生が在籍しており、在学生の 6 割程

度が首都圏（神奈川県、東京都、千葉県）からの学生である。特に、地元神奈川県の学生が、湘南キャンパスに通う学生全体の5割程度を占めている。また、4割程度は、首都圏以外、全国から入学してくる学生である。また、同様に、全国に14校設置されている付属高校からの入学希望者も一定数存在している。

将来的にみると、18歳人口の減少は避けられない状況であるが、本学の通学圏である首都圏においては、その減少率は低いものであることに加え、【資料①-3】のとおり大規模大学は、高い水準で志願者を確保していることから、この総合大学・大規模大学のスケールメリットを活用した教育体制により、上記①の傾向が続くものと分析している。

2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

①今後の人口動態

文部科学省「学校基本調査」のデータをもとに分析された、「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向」（2020年度版）」（リクルート進学総研）に依れば、全国の18歳人口の推移は、【資料②】のとおり「2020年116.7万人→2032年102.3万人」となり、「約14.4万人／12.3%」が減少するとの予想が立てられている。

一方、本学の入学者の半数程度を占めると考えられる神奈川県の18歳人口の推移【資料③】については、「2020年79,403人→2032年73,550人」と、減少率は「7.4%」であり、全国の減少幅（約12.3%）に比べて、比較的小さいことが分かる。同様に、東京都をみると「0.6%」ではあるが微増の予測がなされており、東京への人口集中の傾向が続くと判断される。

【資料④】をみると、①進学率の上昇により、大学進学者数が増加していることに加え、②神奈川県における地元残留率は低下傾向にあるものの38.9%を維持している。さらに、この県内外の移動状況の詳細をみると、東京都への流出が1位であると同時に、東京都からの流入も1位であることが分かる。この傾向から、神奈川県と東京都は補完しあいながら、同じ生活圈・通学圏内として成立していることもわかる。

以上の状況から、本学の通学圏内である神奈川県と東京都は、18歳人口の減少の影響は生じるものの、比較的影響は小さい状況が継続すると予測される。そして、現在の進学者の傾向を維持しつつ、入学定員を超

える一定数の志願者数を確保することが可能であると、判断することができる。

②類似する分野への大学進学状況

さらに詳しく分析するため、【資料⑤】「リクルート 入試実態調査」により、学部系統「理学部」「理工学部」「工学部」の10年間の動向を確認していく。全国、一都三県、神奈川県のみにおいても、「理学部」においては多少の減少傾向か横ばいの傾向であるが、志願倍率9倍以上と高い水準になっている。「理工学部」においては、2020年度（令和2年度）には、17倍～18倍の高い志願倍率となっており、「工学部」においては、10年前から志願者数は大幅に増加し、志願倍率も10倍を超える高い水準になっている。

また、【資料⑥】のとおり、情報理工学部情報メディア学科と競合する可能性のある、類似した学部学科の動向をみても、高い志願倍率を維持しており、志願者数の確保を見込むことができる。

③既設の学部における定員充足状況

既存学部等の定員充足状況については、【資料⑦】のとおり、既設学部の情報通信学部情報メディア学科（入学定員80名）の6年間の状況を見ると、志願者数は約1,000名から約1,400名に増加している。

情報理工学部情報メディア学科の入学定員は、100名に増加する計画であるが、志願者数は入学定員を大幅に超えている状況であることに加え、上記①②の傾向から分析しても、入学定員を超える一定数の志願者の確保は可能であると判断することができる。

3) 学生納付金の設定の考え方

納付金については、大学として適切な教育研究環境を構築・維持するのみならず、これからの社会の変化に対応した施設・設備の充実にも対応した、大学経営の根幹に係る財務状況を踏まえるとともに、受益者である学生への説明責任を重視する一方、近隣の他大学の学生納付金の設定状況も勘案した上で、完成年度に収支均衡を図れることを前提に適切に設定した。下表のとおり、【資料⑥】に記載する競合校の学納金と比較しても概ね範囲内に収まっており、適切な納付金であると判断している。

競合する大学 学部学科	入学 定員	入学金	授業料	設備施設費	その他 (諸会計等)	合計
東海大学 情報理工学部 情報メディア学科	100	200,000	1,354,000		59,200	1,613,200
東京電機大学 未来科学部 情報メディア学科	125	250,000	1,401,000		22,160	1,673,160
神奈川工科大学 情報学部 情報メディア学科	165	200,000	1,370,000		48,000	1,618,000
神奈川大学 工学部 情報システム創成学科	120	200,000	980,000	320,000	23,300	1,523,300

注１）本学以外の各大学の情報は、2021年4月時点の公式ウェブサイトにより調査。

注２）各大学の学生納付金の記載方法は、各大学の公表方法に基づく。

（２）学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けて、大学として、全学的・組織的に学生確保に向けた入試広報を行っている。その方針としては、受験生、保護者、高等学校等の教員に対し、本学の学部・学科等の周知活動を行うだけでなく、大学への進路希望者に対して、体験授業や各学問分野別の紹介等、高校生の進路選択のサポート活動を行うことである。

令和２（2020）年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種行事の多くが中止となってしまったが、通常は以下①から⑥のとおりオープンキャンパス等を実施している。中止となってしまった令和２（2020）年度については Web Open Campus と称し、自宅からでも参加できる「360° キャンパスツアー」、「バーチャルキャンパスツアー」等により実際のキャンパス環境についての確認ができるように対応したことに加え、各学科においては、動画にて、学部学科の案内等について、場所・時間に関係なく、「興味を持った受験生がいつでも確認することが出来る環境」を整えている。

また、HPや各種広告媒体等や高校訪問などを通じて、本学への受験、入学者希望者を増やすことを目指すだけではなく、「入試対策講座」の開催や、体験授業等を行い、高校生の進学へのサポート活動も積極的に行っている。

今後の取組としては、コロナ禍により整備されたWeb等の媒体と、オープンキャンパス・体験授業等各種イベント等の対面で行う活動を融合し、周知活動等を進める計画である。

①オープンキャンパス（対面、オンライン）計画

- ・2021年度東海大学開催オープンキャンパス（予定）

対面：6月20日（日）、8月21（土）、8月22日（日）、3月13日（日）

〔学科説明、個別面談、キャンパス見学〕

WEB：7月、8月

- ・入試対策講座（6月、8月、10月）
- ・進学相談会、キャンパス見学会
- ・全国開催進学相談会（約350会場を予定。実施は未定。）

②HP【受験生・高校教員向け】受験生情報サイト・SNSからの情報発信

YouTubeチャンネル（東海大学公式）配信動画

■東海大学ホームページ 受験生情報サイト
(<http://www.tokai-adm.jp/>)

■東海大学「日本まるごと学び改革実行プロジェクト」
(<https://tokai-marugoto.jp/>)

③高校訪問

高校訪問をして、進路・キャリア形成に関する講話を行う。本学への進学についてのPRだけではなく、進路の選び方、入学試験の種類等、高校生の大学進学をサポートを行っていく計画である。

④大学入試説明会（高校教員対象）：5月～6月にWebでの開催を予定。

⑤各種メディアからの情報発信（受験情報サイト、メディア企画）

⑥出願促進プロモーション

S N S 広告、エリアアド、コンビニ広告、
交通広告、出願促進 D M（全国の接触者対象）

以上の説明のとおり、全国的な「受験者数」や、分野別の「志願者の動向」、
既設学部等における「志願者数、志願倍率、入学者数等の実績」に加え、学生
確保に向けて具体的な取組を行うことにより、入学定員を満たすことができ
と確信することができる。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

情報理工学部情報メディア学科の教育研究上の目的は、日々変化していく技術や新しい価値を捉える力を受容し、社会を支えていく人材を社会に排出することを目指し、「超スマート社会実現のために解決が急務の課題を発見する力」「情報メディアに関する幅広い知識を用いてその解決方法を創造する力」「情報メディア技術を駆使して実現、実践する力」を持ち、世界が今後直面するであろう、課題を発見し解決していく力を有する人材を養成することである。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）に記載されている通り、急激に変化していく現代社会において、産業界においても新しい事業開発や国際化の進展により、「高度な専門知識を持ちつつ普遍的な見方のできる能力と具体的な業務の専門化に対応できる専門的なスキル・知識」を持った人材が求められている。情報理工学部情報メディア学科においては、上記のとおり急激な変化に対応し、課題を発見し、解決していく力を身に付けた人材を育成していく計画であり、将来的に必要なとされる人材像と合致している。

情報理工学部情報メディア学科は、情報通信学部情報メディア学科を基礎として設置する計画であり、現状から分析すると、【資料⑧】のとおり、既設学科が育成する人材へのニーズは多岐に渡り、情報通信業を中心に、多様な分野へ卒業生が就職していることが分かる。また、【資料⑨】のとおり、2018年度は95.4%、2019年度は94.3%となっており、実数においても就職率は高い水準となっている。

加えて、本学への求人については、【資料⑩-1】の状況となっており、卒業生の数を大幅に超えて、【資料⑩-2】のとおり、全国から求人が寄せられている状況である。そして、情報理工学部情報メディア学科においても、その教育研究上の目的から、【資料⑧】と同様に、多様な分野への就職を目指していく。そして、様々な分野からのニーズに応え、課題解決を目指して社会で活躍していく人材を、引き続き輩出していくと確信している。以上の状況から、情報理工学部情報メディア学科の教育研究上の目的は、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであると判断される。

以 上

学生確保の見通し等を記載した書類
情報理工学部情報メディア学科

【資料目次】

【資料①-1】令和2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）P. 26）…p. 2

【資料①-2】令和2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）P. 33～34）…p. 2

【資料①-3】「令和2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）令和2年10月）37ページより抜粋。…p. 2

【資料②】リクルート進学総研マーケットリポート Vol. 82 2021年3月号「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向」（2020年度版）6ページより抜粋…p. 3

【資料③】リクルート進学総研マーケットリポート Vol. 86 2021年4月号「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 南関東版」（2020年度版）2ページより抜粋…p. 3

【資料④】リクルート進学総研マーケットリポート Vol. 86 2021年4月号「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 南関東版」（2020年度版）15ページより抜粋…p. 4

【資料⑤】「リクルート入試実態調査」による統計…p. 5

【資料⑥】リクルート「入試実態調査」より集計…p. 6

【資料⑦】既設学科の学生確保の状況…p. 6

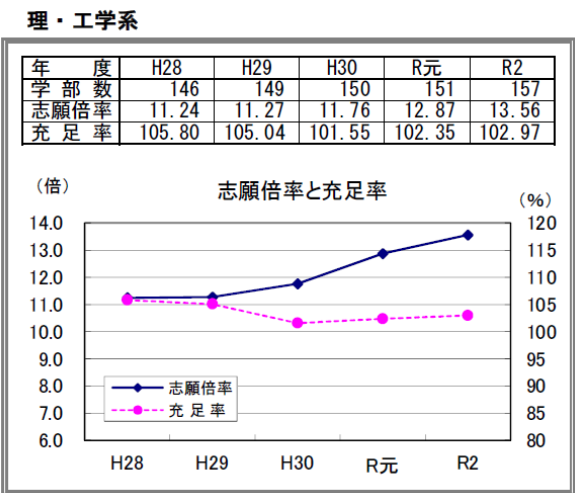
【資料⑧】既設学科の就職先…p. 7

【資料⑨】既設学科の就職決定率…p. 7

【資料⑩-1】東海大学産業別求人会社数…p. 8

【資料⑩-2】東海大学地域別求人会社数…p. 8

【資料①-1】



「令和2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）P.26）

【資料①-2】

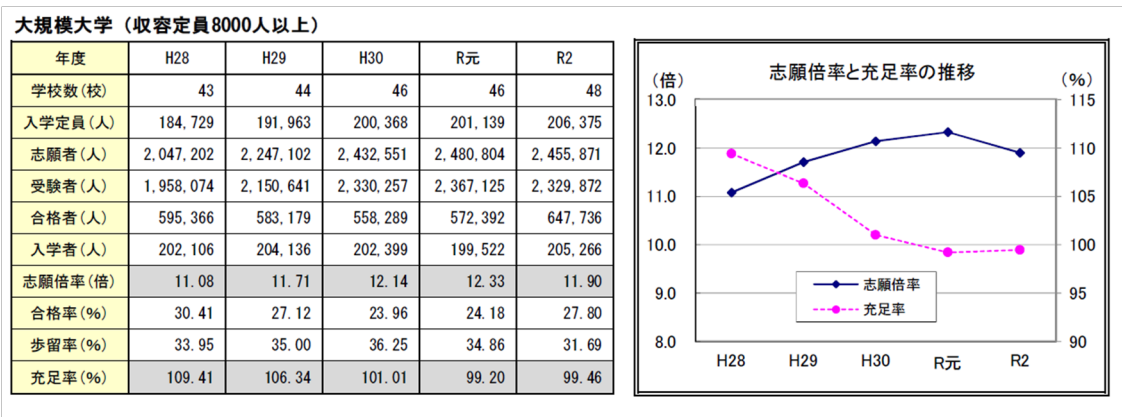
5. 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

学部名称の表記は、集計数3以上の学部とし、集計数2以下は「その他」とした。

系 統 区 分	学 部 名	集計学部数			入学定員(人)			志願者(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
		R元年度	R2年度	増減	R元年度	R2年度	増減	R元年度	R2年度	増減	R元年度	R2年度	増減	R元年度	R2年度	増減
情報系	情報科学部	4	4	0	1,046	1,046	0	26,130	27,781	1,651	1,126	1,136	10	107.65	108.60	0.95
	メディア学部	3	3	0	790	790	0	4,759	5,295	536	814	865	51	103.04	109.49	6.45
	情報メディア学部	3	3	0	370	370	0	883	1,188	305	430	391	△ 39	116.22	105.68	△ 10.54
	現代人間学部	3	3	0	595	595	0	2,088	3,369	1,281	606	661	55	101.85	111.09	9.24
	現代教養学部	3	3	0	1,480	1,480	0	13,326	11,522	△ 1,804	1,587	1,562	△ 25	107.23	105.54	△ 1.69
	危機管理学部	3	3	0	690	690	0	2,295	3,871	1,576	541	643	102	78.41	93.19	14.78
	情報理工学部	3	3	0	835	835	0	12,776	14,833	2,057	792	808	16	94.85	96.77	1.92

「令和2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）P.33～34）

【資料①-3】



「令和2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」

（日本私立学校振興・共済事業団）令和2年10月）37ページより抜粋。

【資料②】

		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
全体 計	人数	1,167,348	1,141,140	1,121,285	1,097,416	1,062,870	1,089,970	1,092,118	1,086,573	1,070,466	1,068,289	1,049,877	1,034,548	1,023,963
	指数	100.0	97.8	96.1	94.0	91.0	93.4	93.6	93.1	91.7	91.5	89.9	88.6	87.7
北海道	人数	45,674	45,007	44,276	42,489	41,028	41,853	41,256	41,087	40,148	40,064	39,321	38,302	37,985
	指数	100.0	98.5	96.9	93.0	89.8	91.6	90.3	90.0	87.9	87.7	86.1	83.9	83.2
東北	人数	83,524	80,269	78,146	75,379	71,809	73,104	72,063	71,026	69,024	68,469	66,592	65,270	65,431
	指数	100.0	96.1	93.6	90.2	86.0	87.5	86.3	85.0	82.6	82.0	79.7	78.1	78.3
北関東	人数	66,380	64,677	63,720	61,863	59,667	60,662	60,090	59,374	58,555	57,023	55,612	54,815	53,543
	指数	100.0	97.4	96.0	93.2	89.9	91.4	90.5	89.4	88.2	85.9	83.8	82.6	80.7
南関東	人数	305,457	301,999	299,356	294,497	286,935	296,205	298,790	297,810	295,937	295,254	289,575	289,332	288,670
	指数	100.0	98.9	98.0	96.4	93.9	97.0	97.8	97.5	96.9	96.7	94.8	94.7	94.5
甲信越	人数	49,897	47,817	46,907	45,536	44,033	44,794	44,084	43,684	42,239	42,396	41,412	40,210	39,726
	指数	100.0	95.8	94.0	91.3	88.2	89.8	88.4	87.5	84.7	85.0	83.0	80.6	79.6
北陸	人数	29,004	27,814	27,545	26,692	26,008	26,219	26,256	25,852	25,177	24,413	24,515	23,760	23,613
	指数	100.0	95.9	95.0	92.0	89.7	90.4	90.5	89.1	86.8	84.2	84.5	81.9	81.4
東海	人数	145,478	143,651	140,510	138,309	133,550	137,154	137,505	136,524	134,543	134,593	132,524	129,893	127,045
	指数	100.0	98.7	96.6	95.1	91.8	94.3	94.5	93.8	92.5	92.5	91.1	89.3	87.3
近畿	人数	195,001	190,286	185,626	181,639	175,501	179,248	179,159	178,700	174,848	174,490	171,960	168,797	165,603
	指数	100.0	97.6	95.2	93.1	90.0	91.9	91.6	91.6	89.7	89.7	88.2	86.6	84.9
中国	人数	70,193	67,945	66,821	65,318	63,247	64,858	65,130	64,245	64,060	64,197	63,134	62,001	61,205
	指数	100.0	96.8	95.2	93.1	90.1	92.4	92.8	91.5	91.3	91.5	89.9	88.3	87.2
四国	人数	35,553	34,558	33,841	32,825	31,434	32,184	31,780	31,824	31,182	30,990	30,785	30,031	29,505
	指数	100.0	97.2	95.2	92.3	88.4	89.4	89.5	89.5	87.7	87.2	86.6	84.5	83.0
九州沖縄	人数	141,187	137,117	134,537	132,869	129,658	133,689	136,005	136,447	134,753	136,400	134,447	132,137	131,637
	指数	100.0	97.1	95.3	94.1	91.8	94.7	96.3	96.6	95.4	96.6	95.2	93.6	93.2

リクルート進学総研マーケットリポート Vol.82 2021年3月号

「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向」(2020年度版)6ページより抜粋

【資料③】

		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
南関東	人数	305,457	301,999	299,356	294,497	286,935	296,205	298,790	297,810	295,937	295,254	289,575	289,332	288,670
	指数	100.0	98.9	98.0	96.4	93.9	97.0	97.8	97.5	96.9	96.7	94.8	94.7	94.5
埼玉	人数	65,634	64,508	63,542	62,543	61,183	62,797	62,864	62,858	62,493	61,849	60,036	59,723	59,587
	指数	100.0	98.3	96.8	95.3	93.2	95.7	95.8	95.8	95.2	94.2	91.5	91.0	90.8
千葉	人数	55,220	54,908	53,904	53,438	51,411	52,883	52,926	53,796	52,669	52,233	51,260	50,271	49,742
	指数	100.0	99.4	97.6	96.8	93.1	95.8	95.8	97.4	95.4	94.6	92.8	91.0	90.1
東京	人数	105,200	104,150	104,018	102,330	100,133	104,347	106,120	103,176	103,784	104,068	103,144	104,317	105,791
	指数	100.0	99.0	98.9	97.3	95.2	99.2	100.9	98.1	98.7	98.9	98.0	99.2	100.6
神奈川	人数	79,403	78,433	77,892	76,186	74,208	76,178	76,880	77,980	76,991	77,104	75,135	75,021	73,550
	指数	100.0	98.8	98.1	95.9	93.5	95.9	96.8	98.2	97.0	97.1	94.6	94.5	92.6
全国	人数	1,167,348	1,141,140	1,121,285	1,097,416	1,062,870	1,089,970	1,092,118	1,086,573	1,070,466	1,068,289	1,049,877	1,034,548	1,023,963
	指数	100.0	97.8	96.1	94.0	91.0	93.4	93.6	93.1	91.7	91.5	89.9	88.6	87.7

リクルート進学総研マーケットリポート Vol.86 2021年4月号

「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 南関東版」(2020年度版)2ページより抜粋

神奈川県



学校数

大学 : 31 (国立 2・公立 2・私立 27)
 短期大学 : 14 (公立 1・私立 13)
 専門学校 : 101 (公立 5・私立 96)

卒業生数

2011年60,814人→2020年66,293人 (5,479人増加)

進学者数

大学 : 2011年33,604人→2020年38,113人 (4,509人増加)
 短期大学 : 2011年 3,312人→2020年 2,295人 (1,017人減少)
 専門学校 : 2011年 8,694人→2020年11,737人 (3,043人増加)

進学率(現役)

大学 : 2011年55.3%→2020年57.5% (2.2ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年 5.4%→2020年 3.5% (1.9ポイント低下)
 専門学校 : 2011年14.3%→2020年17.7% (3.4ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年43.9%→2020年38.9% (5.0ポイント低下)
 短期大学 : 2011年65.7%→2020年69.2% (3.5ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位東京 (10,133人)、2位静岡 (2,104人)、3位千葉 (2,101人)
 短期大学 : 1位東京 (265人)、2位静岡 (172人)、3位長野 (36人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位東京 (17,035人)、2位千葉 (912人)、3位埼玉 (909人)
 短期大学 : 1位東京 (605人)、2位北海道 (57人)、3位静岡 (30人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2020年学校基本調査より)
- ・卒業生数 : 高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校※2)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学者のうち、自県以外の高校出身者が大学・短期大学に入学者したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学者のうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学者のこと(浪人含)

リクルート進学総研マーケットリポート Vol186 2021年4月号

「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 南関東版」(2020年度版) 15ページより抜粋

「リクルート 入試実態調査」による統計

*各年度で志願者数非公表の大学があります

*分野系統は調査に協力いただきました大学の指定分野になります。

*下記のエリアは本部設置所在エリアになります

<全国>

理学部	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
募集人員	7,972	8,435	8,456	8,648	8,755	8,823	9,288	9,244	9,500	9,443
志願者数	99,089	104,621	112,059	115,566	108,542	103,865	102,602	103,646	111,174	112,682
志願倍率	12.4	12.4	13.3	13.4	12.4	11.8	11.0	11.2	11.7	11.9
理工学部	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
募集人員	15,883	16,469	16,000	16,305	16,598	17,296	17,976	18,601	18,493	19,260
志願者数	228,332	239,953	261,791	279,319	284,812	296,929	304,397	317,034	334,414	363,942
志願倍率	14.4	14.6	16.4	17.1	17.2	17.2	16.9	17.0	18.1	18.9
工学部	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
募集人員	33,436	34,156	32,657	32,552	33,175	31,472	32,427	32,217	32,341	31,492
志願者数	251,173	269,923	302,133	326,672	343,195	339,033	360,223	380,879	431,255	455,944
志願倍率	7.5	7.9	9.3	10.0	10.3	10.8	11.1	11.8	13.3	14.5

<一都三県>

理学部	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
募集人員	5,460	5,550	5,720	5,791	5,870	6,034	6,235	6,212	6,349	6,302
志願者数	70,447	73,968	78,365	79,924	76,556	72,350	71,462	71,220	74,699	74,412
志願倍率	12.9	13.3	13.7	13.8	13.0	12.0	11.5	11.5	11.8	11.8
理工学部	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
募集人員	8,922	8,969	9,228	9,562	9,979	10,294	10,585	10,779	10,869	11,442
志願者数	127,978	135,131	152,173	156,800	159,463	173,594	174,058	182,761	189,860	207,976
志願倍率	14.3	15.1	16.5	16.4	16.0	16.9	16.4	17.0	17.5	18.2
工学部	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
募集人員	16,413	16,886	16,134	15,688	16,103	15,367	15,694	15,791	15,608	14,983
志願者数	154,434	171,244	184,788	198,621	207,653	207,306	215,552	234,344	262,769	269,763
志願倍率	9.4	10.1	11.5	12.7	12.9	13.5	13.7	14.8	16.8	18.0

<神奈川のみ>

理学部	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
募集人員	520	566	566	535	535	537	912	907	907	904
志願者数	4,679	5,751	5,998	5,896	5,573	5,230	8,349	8,963	9,485	9,301
志願倍率	9.0	10.2	10.6	11.0	10.4	9.7	9.2	9.9	10.5	10.3
理工学部	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
募集人員			359	359	364	370	754	754	733	733
志願者数			2,821	3,158	3,563	3,340	7,580	8,487	11,489	12,896
志願倍率			7.9	8.8	9.8	9.0	10.1	11.3	15.7	17.6
工学部	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
募集人員	2,588	2,487	2,056	2,001	2,101	2,133	3,368	3,401	3,417	3,286
志願者数	11,478	13,706	12,269	13,334	14,290	13,473	22,272	23,209	30,168	33,071
志願倍率	4.4	5.5	6.0	6.7	6.8	6.3	6.6	6.8	8.8	10.1

株式会社リクルートマーケティングパートナーズより情報提供

【資料⑥】

学部・学科	大学	都道府県	学部	学科		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
情報理工学部 情報メディア学科	東京電機大学	東京	未来科学部	情報メディア学科	募集人員	85	85	85	100	125	100	90	90	95	95
					志願者数(合計)	1,883	2,096	2,192	2,099	1,979	2,206	1,688	2,051	2,695	3,167
					志願倍率	22.2	24.7	25.8	21.0	15.8	22.1	18.8	22.8	28.4	33.3
	神奈川工科大学	神奈川	情報学部	情報メディア学科	募集人員	150	170	140	140	158	119	145	165	165	165
					志願者数(合計)	574	698	659	638	728	699	777	1,085	1,230	1,422
					志願倍率	3.8	4.1	4.7	4.6	4.6	5.9	5.4	6.6	7.5	8.6
	神奈川大学	神奈川	工学部	情報システム創成学科	募集人員	180	0	90	90	90	90	90	90	90	90
					志願者数(合計)	812	597	627	643	744	699	682	811	995	987
					志願倍率	4.5		7.0	7.1	8.3	7.8	7.6	9.0	11.1	11.0

リクルート「入試実態調査」より集計／データは株式会社リクルートマーケティングパートナーズより提供

【資料⑦】

既設学部等の学生確保の状況

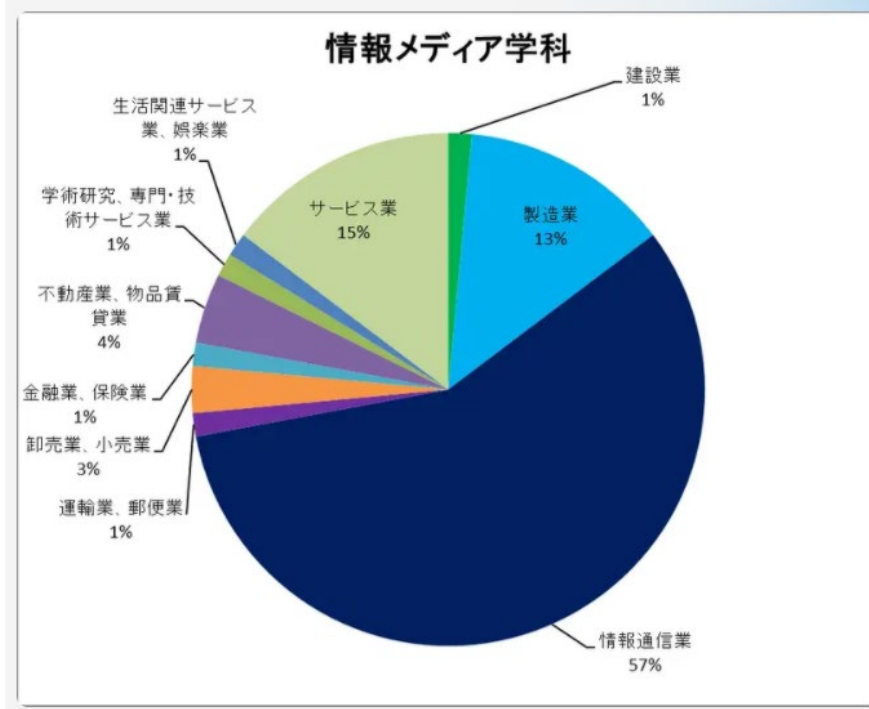
情報通信学部 情報メディア学科（入学定員80名）

	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率	定員充足率
2016年度	1,007	929	201	82	10.1	1.02
2017年度	1,058	989	211	86	10.6	1.07
2018年度	1,372	1,286	161	78	13.7	0.97
2019年度	1,620	1,528	190	84	16.2	1.05
2020年度	1,648	1,540	191	75	16.5	0.93
2021年度	1,408	1,293	215	80	14.1	1.00

主な就職先

協和エクシオ/共同印刷/トーエル/東邦システムサイエンス/ソーバル/
テレコムエンジニアリング/アイスタイル/日立情報通信エンジニアリン
グ/東海旅客鉄道/東日本旅客鉄道/東芝テック/イトーヨーカ堂/メッ
ライフ生命保険/トラスト・テック/総合警備保障/江東区役所

※ 2019年度



東海大学 HP より抜粋

2) 学部

【資料⑨】

2020年5月15日現在

<就職決定率の算出方法>

※就職決定率 = 調査時点の就職決定者数 / 就職希望者数 × 100

※決定者数 = 「企業・団体等」、「教員」、「公務員」、「専門職」、「自営業」、「自営（フリーランス）」、「起業」、「現職継続（社会人学生等）」、「進学と同時に就職（正規・非正規）」、「臨床研修医」に決定した者

※2018年度決定率は2019年5月21日時点の数値

<就職希望者数の算出方法>

※2019年度就職希望者数 = キャリア支援ナビ進路希望登録で第一希望が「企業・団体等」、「教員」、「公務員」、「専門職」、「自営業」、「自営（フリーランス）」、「起業」、「現職継続（社会人学生等）」、「進学と同時に就職（正規・非正規）」の者 + 就職希望者の内「3月末までに就職の意志あり」、「就職準備」、「パート・アルバイト」に決定した者

学部	学科	専攻・課程等	卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	決定率(%)	2019年度	2018年度
							進学者数	決定率(%)
情報通信学部	情報メディア学科		76	70	66	94.3	3	95.4
	組込みソフトウェア工学科		65	51	51	100.0	11	100.0
	経営システム工学科		75	61	60	98.4	9	100.0
	通信ネットワーク工学科		63	56	55	98.2	4	100.0
	合計		279	238	232	97.5	27	98.9

2019 年度 東海大学産業別求人会社数

産業	2019年度
農業・林業・鉱業・漁業・酪農畜産	66
建設・住宅・不動産	1,624
水産・食品	251
素材・化学	244
医薬品・医療関連・化粧品	95
ゴム・ガラス・セメント・セラミックス	63
鉄鋼・非鉄・金属製品	362
機械・プラントエンジニアリング	434
電子・電機	472
自動車・輸送用機器	329
精密機器・医療用機器	174
印刷・パッケージ	84
OA 機器・家具・スポーツ・玩具・その他	136
小計	4,334
エネルギー	88
銀行	27
信用金庫・労働金庫	75
信販・クレジット・ファイナンス	10
その他金融	29
リース・レンタル	47
保険	66
証券・投信・投資顧問	34
小計	288

産業	2019年度
商社（総合）	93
商社（水産・食品）	117
商社（ファッション関連）	62
商社（素材関連）	52
商社（化学・医薬品・化粧品）	67
商社（エネルギー）	20
商社（精密機器・医療用機器）	156
商社（自動車・輸送用機器）	212
商社（家具・インテリア・日用品）	25
商社（鉄鋼・非鉄・金属製品）	67
その他商社	235
小計	1,106
百貨店	16
コンビニエンス・GMS ストア	94
生活協同組合	26
専門店（ファッション関連）	111
専門店（エンターテインメント）	9
専門店（電器）	18
専門店（家具・インテリア）	4
専門店（フード）	23
専門店（ドラッグストア・調剤薬局）	39
専門店（自動車関連）	112
専門店（動物関連）	3
その他専門店	105
小計	560

産業	2019年度
フードサービス	127
ホテル・旅行	179
その他の教育・学習支援業	91
エンターテインメント	54
調査・コンサルタント	200
人材紹介・人材派遣	107
その他サービス	856
小計	1,614
IT・情報処理	情報処理・ソフトウェア 1,475
情報・インターネットサービス	196
小計	1,671
情報（通信・マスコミ）	通信関連 87
マスコミ	324
小計	411
運輸・倉庫	運輸 241
倉庫	63
小計	304
官公庁・団体	373
教育機関	113
医療・福祉施設	675
専門・技術サービス業	38
合計	11,575

2019 年度卒業生数 6,281 名

